

わが国の慢性透析療法の現況

(2024年12月31日現在)

正木 崇生¹ 花房 規男¹ 阿部 雅紀¹ 常喜 信彦¹
 星野 純一¹ 菊地 勘¹ 後藤 俊介¹ 駒場 大峰¹
 谷口 正智¹ 中井 滋¹ 長沼 俊秀¹ 長谷川 育¹
 福間 真悟¹ 三浦 健一郎¹ 山本 卓¹ 和田 篤志¹
 友 雅司²

¹ 日本透析医学会統計調査委員会 ² 日本透析医学会理事長

〈要旨〉

日本透析医学会統計調査 (JSDT Renal Data Registry: JRDR) の2024年末時点における年次調査は、4,512施設を対象に実施され、施設調査票に関しては4,447施設(98.6%)、患者調査票に関しては4,260施設(94.4%)のほぼ例年通りの回答を得た。わが国の透析患者数は近年増加速度が低下していたが、2024年末の施設調査結果による透析患者数も337,414人と、前年に続き減少した。人口百万人あたりの患者数は2,725.4人であった。患者調査結果による平均年齢は70.27歳で、最も多い原疾患は糖尿病性腎症(39.2%)、次いで慢性糸球体腎炎(23.0%)、第3位は腎硬化症であった(14.5%)。2024年の施設調査結果による透析導入患者数は36,404人であり、2023年から2,360人減少した。患者調査結果による透析導入患者の平均年齢は71.69歳であり、原疾患では糖尿病性腎症が最も多く37.6%、次いで腎硬化症(19.1%)、慢性糸球体腎炎(13.5%)の順であった。2024年の施設調査結果による年間死亡患者数は38,348人であり、前年に比較して275人増加した。年齢調整がされていない年間粗死亡率は、11.3%で前年よりも上昇していた。主要死因は感染症(24.2%)、心不全(19.0%)、悪性腫瘍(7.4%)の順で、2024年も感染症が最も多かった。2012年以降、血液透析濾過(HDF)患者数は急増しており2024年末の施設調査票による患者数は213,721人で、維持透析患者全体の63.3%を占めた。腹膜透析(PD)患者数は10,774人で2017年から増加傾向にある。PD患者のうち21.1%は血液透析(HD)やHDFとの併用療法であり、この比率はほぼ一定していた。2024年末の在宅HD患者数は767人であり、2023年末から32人減少した。2024年は、新規調査として患者調査で降圧薬の種類、利尿薬使用の有無と種類、家庭での血圧測定の有無、脂質関連、肝炎ウイルス関連が調査された。これらのデータはそれぞれの疾患・患者に関する基礎資料となり、その結果から、より治療効果の高い日常臨床パターンの提案が期待される。

2024 Annual Dialysis Data Report, JSDT Renal Data Registry

The annual survey of the Japanese Society for Dialysis Therapy Renal Data Registry (JRDR) was conducted with 4,512 dialysis facilities at the end of 2024, of which 4,447 facilities (98.6%) responded to the facility survey and 4,260 facilities (94.4%) responded to the patient survey. The increase in the number of dialysis patients in Japan has slowed in recent years. The number of dialysis patients at the end of 2024 was 337,414, which was a decrease from the previous year. The prevalence of dialysis patients was 2,725.4 per million population. The prevalent dialysis patients in the patient survey had a mean age of 70.27 years. Among these patients, diabetic nephropathy was the most common primary disease (39.2%), followed by chronic glomerulonephritis (23.0%) and nephrosclerosis (14.5%). The number of incident dialysis patients during 2024 was 36,404, which decreased by 2,360 from 2023. Among incident dialysis patients, the mean age was 71.69 years, and diabetic nephropathy (37.6%) was the most common cause of end-stage kidney disease, followed by nephrosclerosis (19.1%) and chronic glomerulonephritis (13.5%). The crude annual mortality rate was 11.3%, with 38,348 patients dying during 2024; this rate increased by last year. The three major causes of death were infectious disease (24.2%), which surpassed heart failure in 2024, heart failure (19.0%), and malignancy (7.4%). The number of patients treated by hemodiafiltration (HDF) has been rising since 2012, reaching 213,721 by the end of 2024 and accounting for 63.3% of all dialysis patients. The number of peritoneal dialysis (PD) patients was 10,774 in 2024, which has slightly increased since 2017. Combination or hybrid therapy with hemodialysis (HD) or HDF was given to 21.1% of PD patients. Home HD therapy was conducted in 767 patients as of the end of 2024; it decreased by 32 from 2023. In 2024, the patient survey newly included items investigating the types of antihypertensive medications used, the use and types of diuretics, the presence or absence of home blood pressure monitoring, lipid-related factors, and hepatitis virus-related factors. Results obtained for each condition provide a framework to develop more clinically effective practice patterns for these conditions.

I. 2024年日本透析医学会統計調査報告書 総論

緒 言

一般社団法人日本透析医学会は、1968年から毎年、年末時点におけるわが国の慢性透析療法の現況を調査しております（JSRD Renal Data Registry: JRDRと称す），この調査では全国の透析療法施設のほぼすべてが対象施設になっている^{1,2)}。本調査は関係施設の無償の協力で行われているにもかかわらず、ほぼ全数調査とも言える回収率であり、文字通りバイアスのないわが国の慢性透析の現況を表しており、このような調査は世界でも稀である。ここに、ご協力いただいている各施設に心から深謝申し上げたい。

本学会では透析施設に調査協力いただく際に、前年までに登録された施設と患者に関する情報を記載した入力用ExcelファイルをUSBメモリに格納し、記入説明書などの資料とともに施設へ郵送している。2024年調査では調査資料の郵送と並行して、インターネットを通じて各施設の入力用Excelファイルをダウンロード・アップロードするシステムを構築し、利用を開始した。

また、2017年にウェブ上で自ら条件設定を行い、クロス集計を随意に行えるシステム（Web-based Analysis of Dialysis Data Archives system: WADDA system）を稼働させた³⁾。このシステムにより、会員は常に最新のデータを用いた集計を行うことが可能になった。これに伴い現行の「わが国の慢性透析療法の現況 CD-ROM版」の会員施設への配布は、2020年の調査結果報告をもって終了した。会員の皆様には是非ともWADDA systemを活用いただきたい。

2024年調査では例年調査されている内容に加え、施設調査で引き続きバスキュラーアクセス管理におけるエコー使用状況、プローブヘッドの消毒状況、患者調査では新たに降圧薬の種類、利尿薬使用の有無と種類、家庭での血圧測定の有無、脂質関連、肝炎ウイルス関連を調査した。これらのデータはそれぞれの疾患・患者に関する基礎資料となり、その結果から、より治療効果の高い日常臨床パターンの提案が期待される。

日本透析医学会統計調査の倫理的基盤

JRDRは、2014年12月に厚生労働省と文部科学省から発布された「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」⁴⁾と、2023年3月の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」⁵⁾に準拠して行われている。その実施計画書の基本となる倫理的配慮、個人情報保護に対する考え方は、2015年3月の倫理委員会において承認された（日本透析医学会倫理委員会承認番号1）。

2024年の統計調査実施計画における、調査内容の修正等については2024年9月1日に倫理委員会で承認され、UMIN臨床試験登録システム上で公開された（UMIN000018641）⁶⁾。

調査方法

1. 調査票の送付と回収

JRDRには透析ベッド数、患者数、透析液水質管理状況などを調べる施設調査票と、その透析施設の個々の患者の透析条件や検査所見、アウトカム指標などを調べる患者調査票の2種類がある。2024年12月全国の透析施設に対し、前年までに登録された施設と患者に関する情報を記載した入力用ExcelファイルをUSBメモリに格納し、記入説明書などの資料とともに郵送した。2024年調査では調査資料の郵送と並行して、インターネットを通じて各施設の入力用Excelファイルをダウンロード・アップロードするシステムの利用を開始した。各透析施設の担当者は2015年に送付した対応表USBメモリを用い、実名復元を行った上で新規患者の登録を行い、生存死亡、転院などの転帰情報や調査項目に対するデータ入力を行う。すべての患者の入力が終了した時点で、再度対応表USBメモリを用いて匿名化処理を行い、匿名化されたデータを透析医学会事務局に返送する。データの初回締め切りは2025年2月15日に設定したが、その後返送のない施設へ協力依頼の連絡を重ね、6月27日の最終回収をもって2024年末データへの組み入れを終了した。

2. 調査項目

2024年調査では以下の項目が調査された。

◆施設調査

1. 施設概略・規模

- ・施設コード、施設名、透析開始年月
- ・透析能力：ベッドサイドコンソール台数、同時透析能力、最大収容能力、ET フィルター装着コンソール台数
- ・透析従事者数
- ・VA 管理におけるエコー使用状況、エコーガイド下穿刺時のプローブヘッド状況、エコーガイド下穿刺後のプローブ消毒

2. 患者動態

- ・2024年末透析患者数（治療方法別患者数（入院・通院））
- ・2024年透析患者数のうち夜間透析患者数
- ・2024年新規導入患者数（HD(F)で新規導入した患者数、PD で新規導入した患者数）
- ・2024年死亡患者数

3. 透析液水質管理状況

- ・透析液エンドトキシン濃度測定頻度とエンドトキシン濃度
- ・透析液生菌数測定頻度と生菌数
- ・透析用水のための供給水源
- ・残留塩素測定頻度と測定方法
- ・日本透析医学会水質基準（化学的汚染基準）の認知と測定頻度

◆患者調査

1. 患者固有情報

- ・性別、生年月日、導入年月、原疾患、在住都道府県、転入年月、転入前施設コード、転帰区分、（転出・死亡・離脱・移植）年月、転出先施設コード、死因、患者情報変更/訂正区分、治療方法、リクセル使用の有無、PD 経験の有無、レシピエントとしての腎移植の回数、ドナーとしての腎提供の既往、腎提供年月

2. HD/HDF の治療条件

- ・週透析回数、1回あたりの透析時間、血流量
- ・HDF：希釈方法、1セッションあたりの置換液量
- ・身長、透析前後体重、透析前収縮期血圧、透析前拡張期血圧、透析前脈拍

3. 検査所見

- ・透析前後血液尿素窒素濃度（BUN）、透析前後血清クレアチニン濃度、透析前血清アルブミン濃度、透析前血清 C 反応蛋白（CRP）濃度、透析前血清カルシウム濃度、透析前血清リン濃度、血清副甲状腺ホルモン（PTH）値測定方法、PTH 値（intact PTH・whole PTH）、透析前ヘモグロビン濃度、血清総コレステロール濃度（総コレステロール）、血清 HDL- コレステロール濃度（HDL-C）、LDL-C 濃度、中性脂肪

4. アウトカム因子

- ・糖尿病の既往、虚血性心疾患の既往、脳出血の既往、脳梗塞の既往、四肢切断の有無、大腿骨近位部骨折の既往、被囊性腹膜硬化症（EPS）の既往、降圧薬使用の有無、アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬使用の有無、カルシウム拮抗薬使用の有無、レニン・アンジオテンシン系阻害薬使用の有無、ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬使用の有無、 β 遮断薬使用の有無、その他の降圧薬使用の有無、利尿薬使用の有無と種類、喫煙の有無、家庭での血圧測定の有無、スタチン使用の有無、エゼチミブ使用の有無、ペマフィブラート使用の有無、HBs 抗原、HBs 抗体、HBc 抗体、HBV DNA 検査、HCV 抗体、HCV RNA 検査

5. 腹膜透析調査

- ・治療歴：現在施行中の腹膜透析（PD）透析歴、2024年中のPD実施月数
- ・腹膜機能：腹膜平衡試験（PET）施行の有無、PET4時間値における透析液中クレアチニン濃度と血液クレアチニン濃度の比（PET Cr D/P比）
- ・透析処方：イコデキストリン透析液使用の有無、1日のPD透析液使用量（PD液使用量）、残存腎機能（1日尿量）、1日平均除水量（除水量）、残存腎によるKt/V（残腎Kt/V）、PDによるKt/V（PD Kt/V）
- ・透析方法：自動腹膜透析装置（APD）使用の有無、PD透析液交換方法
- ・感染症：2024年中の腹膜炎罹患回数、2024年中の出口部感染罹患回数

3. 調査票回収状況

2024年調査は全国4,512施設を対象に実施され、施設調査票に関しては4,447施設（98.6%）から回答が得られた。施設調査票の回収施設は前年比17施設減、0.4%減であった。患者調査票に関しては4,260施設（94.4%）から回答が得られた。

II. 2024年日本透析医学会統計調査報告書 調査結果と考察

第1章 2024年慢性透析療法の現況

1. 施設動態

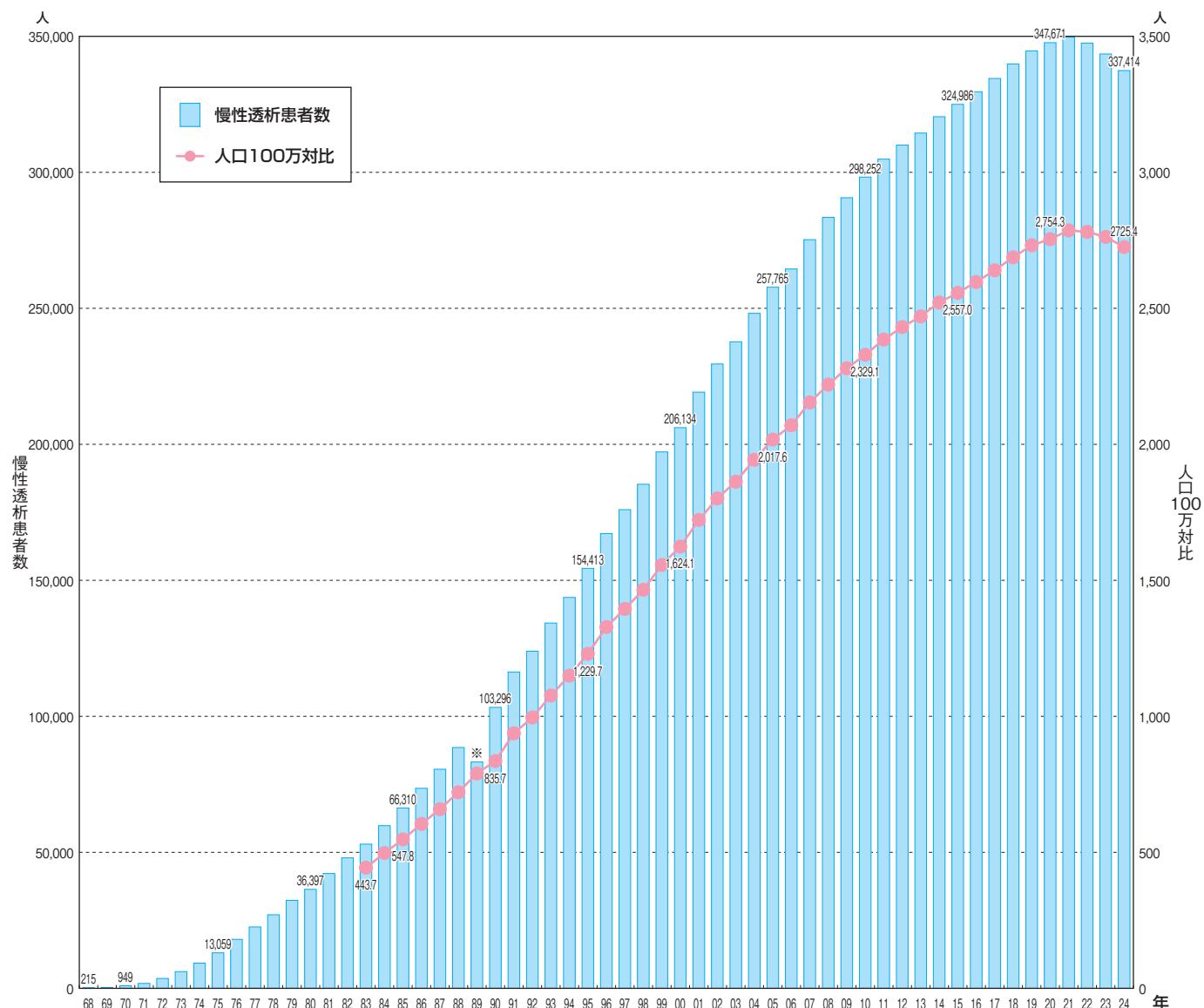
2024年の調査は、全国4,512施設を対象に実施された。施設調査票は4,447施設から回答が得られ、回答率は98.6%と例年とほぼ変わらない数字であったが、前年と比較し23施設減、0.5%減であった（表1）。患者調査票は4,260施設から回答が得られ、回答率は94.4%であった。患者調査票の回答率は2015年調査以降、96%前後から94%前後に低下した。この低下に、2015年に行った匿名化強化と紙媒体調査の廃止が影響した可能性がある。ただその後は95%前後を維持している。

対象施設の透析コンソールは148,339台、同時透析可能人数は146,287人、最大収容能力は482,793人であり、それぞれ2023年末と比較して、1.4%減、0.1%増、0.4%増であった（表1）。透析コンソール台数は、2024年に初めて減少傾向を示した（補足表1）。

表1 わが国の慢性透析療法の要約、2024

調査対象施設数		4,512施設	(17施設減 0.4%減)
回収施設数		4,447施設	(23施設減 0.5%減)
設備	ベッドサイドコンソール台数	148,339台	(2,015台減 1.4%減)
能力	同時透析能力	146,287人	(89人増 0.1%増)
	最大収容能力	482,793人	(1,834人増 0.4%増)
慢性透析患者		337,414人	(6,094人減 1.8%減)
※慢性透析患者の総数は、施設調査票 患者総数欄の合計であり、患者調査票より算出した透析歴別患者数の合計とは必ずしも一致しない。			
人口100万対比		2,725.4人	(37.0人減)
治療方法			
血液透析等	血液透析(HD)	95,047(30.8%)	16,871(58.4%)
	血液透析濾過(HDF)	202,317(65.6%)	11,404(39.5%)
	血液濾過(HF)	139(0.0%)	95(0.3%)
	在宅血液透析	763(0.2%)	4(0.0%)
腹膜透析等	腹膜透析(PD)	8,085(2.6%)	420(1.5%)
	週1回のHD(F)等との併用	1,957(0.6%)	88(0.3%)
	週2回のHD(F)等との併用	122(0.0%)	2(0.0%)
	週3回のHD(F)等との併用	16(0.0%)	6(0.0%)
	上記以外の併用	70(0.0%)	8(0.0%)
	小計	10,250(3.3%)	524(1.8%)
	2024年末透析患者総数	308,516(100.0%)	28,898(100.0%)
2024年末透析患者のうち、夜間透析患者数		29,744人	(200人減)
2024年 新規導入患者総数	HD(F)等で新規導入	33,968人	
	PDで新規導入	2,436人	
	合計	36,404人	(2,360人減 6.9%減)
2024年 透析患者死亡数		38,348人	(275人増 0.7%増)

(施設調査による集計)



※1989年末の患者数の減少は、当該年度にアンケート回収率が86%と例外的に低かったことによる見掛け上の影響である
人口100万対比は回収率86%で補正

図1 慢性透析患者数（1968-2024）と有病率（人口100万対比、1983-2024）の推移

（施設調査による集計）

2. 患者動態

施設調査票に基づく2024年末慢性透析療法を受けている患者総数（有病数、prevalence）は337,414人であった。透析患者数は2021年をピークとして以降は減少傾向を示し、2024年は前年比6,094人の減少と昨年より大きな減少となった（図1、補足表1）。2012年に中井ら⁷⁾により行われた透析患者数の将来予測（2021年の約34万9千人をピークに患者数が減少）に合致する患者数の変化を認めた。人口100万人あたりの透析患者数（有病率、prevalence rate）は、2022年から減少傾向を示し、2024年は人口100万人あたり2,725.4人（前年比37.0人減）であった。国民366.9人に1人が透析患者に相当する（図1、補足表1）。

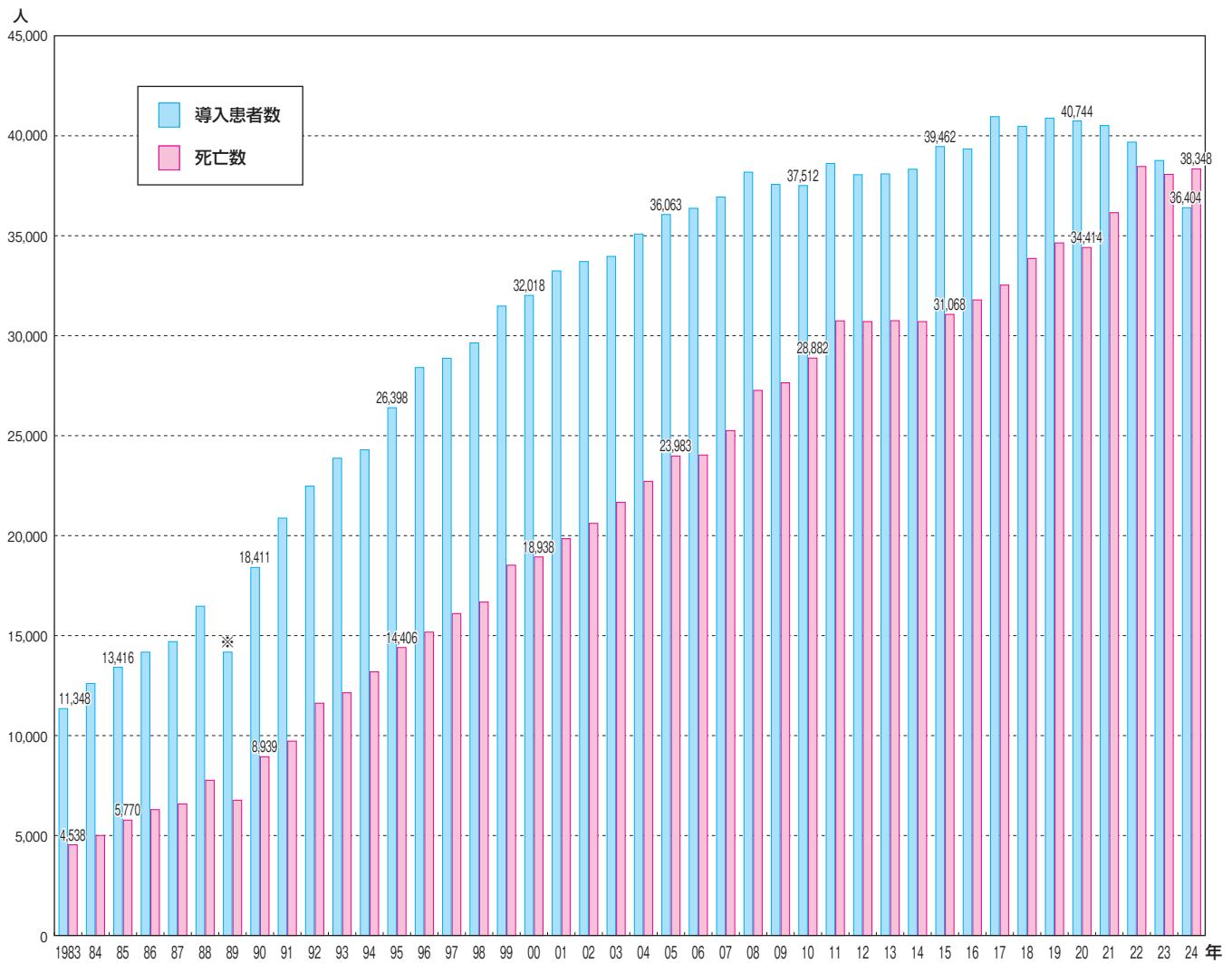


図2 導入患者数および死亡患者数の推移、1983-2024

(施設調査による集計)

新規透析導入患者数（罹病数、incidence）は2008年まで増加傾向であったが、2009年以後は増減を繰り返していた。2017年から2021年までは40,000人を超えていたが、2022年には39,683人へ減少し、2024年は36,404人で、前年より2,360人減（6.9%減）であった（図2、補足表2）。このうちHD（F）等での導入は93.3%，PDでの導入は6.7%であった（表1）。一方、各年の死亡患者数は、2012年から2014年までは横ばいであったが、2015年以降漸増傾向となり、2024年の死亡患者数は38,348人で、前年と比べ275人増（0.7%増）とわずかに增加了（図2、補足表2）。一般的に、前年度の患者数に導入患者を加え、死亡患者を差し引いた数が当該年度の患者数と考えられる。しかし、移植等による透析離脱患者が含まれないことや、導入患者数を過大評価したり死亡患者数を過小評価したりしている可能性があり、計算上の患者数と実際の患者数は一致しない。

都道府県別の透析患者数を表2に示す。表中の都道府県集計は、患者居住地ではなく施設所在地による集計であるため、厳密に都道府県別の患者動態を反映していないことに注意が必要である。有病率（人口100万人あたりの透析患者数）は、地域によりかなり異なる。これらの地域差には非常に多くの因子が複雑に交絡しているため、都道府県の比較は慎重に行われなければならない。

表2 都道府県別の透析患者数および治療形態、2024

都道府県名	調査対象施設数	施設調査票回収施設数	血液透析等				腹膜透析等				計	人口100万あたり患者数	
			血液透析(HD)	血液透析濾過(HDF)	血液濾過(HF)	在宅血液透析	腹膜透析(PD)	週1回のHD(F)等との併用	週2回のHD(F)等との併用	週3回のHD(F)等との併用			
北海道	264	258	4,821	10,206	0	12	546	98	0	0	8	15,691	3,111.4
青森県	39	39	685	2,517	4	3	138	16	5	0	1	3,369	2,891.8
岩手県	43	43	1,622	1,375	0	1	66	10	1	0	2	3,077	2,687.3
宮城県	70	70	2,658	3,214	0	7	156	20	2	0	0	6,057	2,694.4
秋田県	38	38	837	1,153	0	2	35	1	4	0	0	2,032	2,265.3
山形県	35	34	1,149	1,453	0	20	64	11	0	0	1	2,698	2,668.6
福島県	72	70	1,682	3,461	0	1	30	24	8	0	1	5,207	2,987.4
茨城県	92	91	3,952	4,293	0	19	66	16	0	0	0	8,346	2,974.3
栃木県	84	84	2,520	3,906	0	19	67	28	1	0	1	6,542	3,470.6
群馬県	64	62	2,416	3,381	0	13	120	26	2	2	3	5,963	3,155.0
埼玉県	201	197	4,742	13,824	25	105	339	113	7	3	5	19,163	2,613.6
千葉県	162	160	5,572	9,978	0	15	405	92	6	3	0	16,071	2,570.9
東京都	452	448	7,236	23,761	0	110	858	303	20	2	6	32,296	2,277.9
神奈川県	268	261	6,237	14,803	0	31	524	157	4	1	2	21,759	2,358.7
新潟県	51	51	2,584	2,290	0	3	109	17	0	0	1	5,004	2,384.0
富山県	41	41	1,073	1,297	0	4	93	10	3	0	1	2,481	2,488.5
石川県	42	42	989	1,607	0	4	48	13	0	0	0	2,661	2,423.5
福井県	28	28	614	1,108	0	3	55	4	0	0	0	1,784	2,414.1
山梨県	34	34	717	1,531	0	3	20	8	0	0	0	2,279	2,881.2
長野県	71	70	2,348	2,703	0	12	96	18	0	0	0	5,177	2,605.4
岐阜県	72	72	1,882	2,929	0	17	98	34	4	0	0	4,964	2,590.8
静岡県	131	131	2,544	8,290	0	23	145	36	1	0	0	11,039	3,129.9
愛知県	202	200	6,452	11,713	0	37	493	162	4	4	1	18,866	2,529.0
三重県	61	60	1,842	2,432	0	10	64	17	0	0	8	4,373	2,555.8
滋賀県	42	42	1,093	2,035	0	39	148	25	0	0	0	3,340	2,382.3
京都府	82	79	1,900	4,192	193	8	183	66	5	0	2	6,549	2,598.8
大阪府	327	324	5,995	16,641	2	54	580	113	5	1	5	23,396	2,671.7
兵庫県	203	198	4,913	8,757	3	46	203	54	5	1	2	13,984	2,620.2
奈良県	51	51	1,114	2,167	0	9	93	20	0	0	0	3,403	2,648.2
和歌山県	47	46	1,195	1,630	0	28	61	16	0	0	4	2,934	3,334.1
鳥取県	27	26	332	1,136	0	2	57	10	1	0	0	1,538	2,896.4
島根県	29	29	339	1,275	0	5	62	15	0	1	0	1,697	2,643.3
岡山県	67	67	1,695	3,402	0	6	213	40	2	0	0	5,358	2,926.3
広島県	99	97	2,655	4,613	1	15	266	56	22	2	1	7,631	2,811.7
山口県	57	55	1,148	2,313	0	1	89	32	5	0	2	3,590	2,802.5
徳島県	37	37	842	1,691	0	6	157	35	1	0	0	2,732	3,988.3
香川県	48	48	735	1,731	0	4	97	55	0	0	2	2,624	2,861.5
愛媛県	51	50	1,439	2,301	0	1	78	34	1	0	1	3,855	3,021.2
高知県	38	37	430	2,006	0	0	19	8	1	0	1	2,465	3,757.6
福岡県	197	193	5,384	9,037	5	27	743	68	0	0	3	15,267	2,998.2
佐賀県	37	37	1,335	1,090	0	4	78	10	0	0	0	2,517	3,194.2
長崎県	64	64	1,546	2,187	0	25	148	22	3	1	0	3,932	3,140.6
熊本県	92	91	2,953	3,274	0	5	101	24	0	0	3	6,360	3,747.8
大分県	69	69	1,963	1,807	0	3	78	24	0	0	1	3,876	3,572.4
宮崎県	65	63	2,114	1,557	0	0	50	3	0	0	2	3,726	3,607.0
鹿児島県	93	88	1,998	2,875	1	1	222	47	1	1	8	5,154	3,364.2
沖縄県	73	72	1,626	2,779	0	4	144	34	0	0	0	4,587	3,128.9
合計	4,512	4,447	111,918 (33.2)	213,721 (63.3)	234 (0.1)	767 (0.2)	8,505 (2.5)	2,045 (0.6)	124 (0.0)	22 (0.0)	78 (0.0)	337,414 (100.0)	2,725.4

(施設調査による集計)

3. 透析治療形態

施設調査票に基づく2024年の各透析治療形態の割合は、血液透析(hemodialysis: HD)は33.2%，血液透析濾過(hemodiafiltration: HDF)は63.3%，血液濾過(hemofiltration: HF)は0.1%，在宅血液透析(home hemodialysis: HHD)は0.2%，腹膜透析(peritoneal dialysis: PD)はHD併用を含めて3.2%であった(表1)。

2012年の診療報酬の改定以降HDF患者数は急激に増加しており、2024年は213,721人に達した。HDF療法の内訳を患者調査の集計でみると、On-line HDFが67.5%，次いでIHDFが31.3%となっており、IHDFの割合が増加している(図3、補足表3)。

一方、PD患者数は10,774人と昨年の10,585人から増加し、そのうち21.1%がHD(F)との併用療法であった。HHDの患者数は前年799人から767人と軽微な減少を示した。PDとHHDを足したわが国の在宅透析の合計の比率は3.4%であり、これらは先進諸国の中では最も低い。都道府県別の治療形態にもまた地域差を認めたが、医療事情などさまざまな因子による影響を受けると考えられる(表2)。

2024年の夜間透析患者数は29,744人であり前年比200人減であった（表1）。夜間透析患者数は2014年調査までは41,000～42,000人で推移してきたが、2015年は33,370人と急激に減少した。これは2015年調査において、夜間透析患者の定義を「保険で認められる時間帯（午後5時以降開始もしくは午後9時以降終了）の透析です。」と追記したことが影響した可能性がある。2015年以降も全体的には減少傾向を認めている。

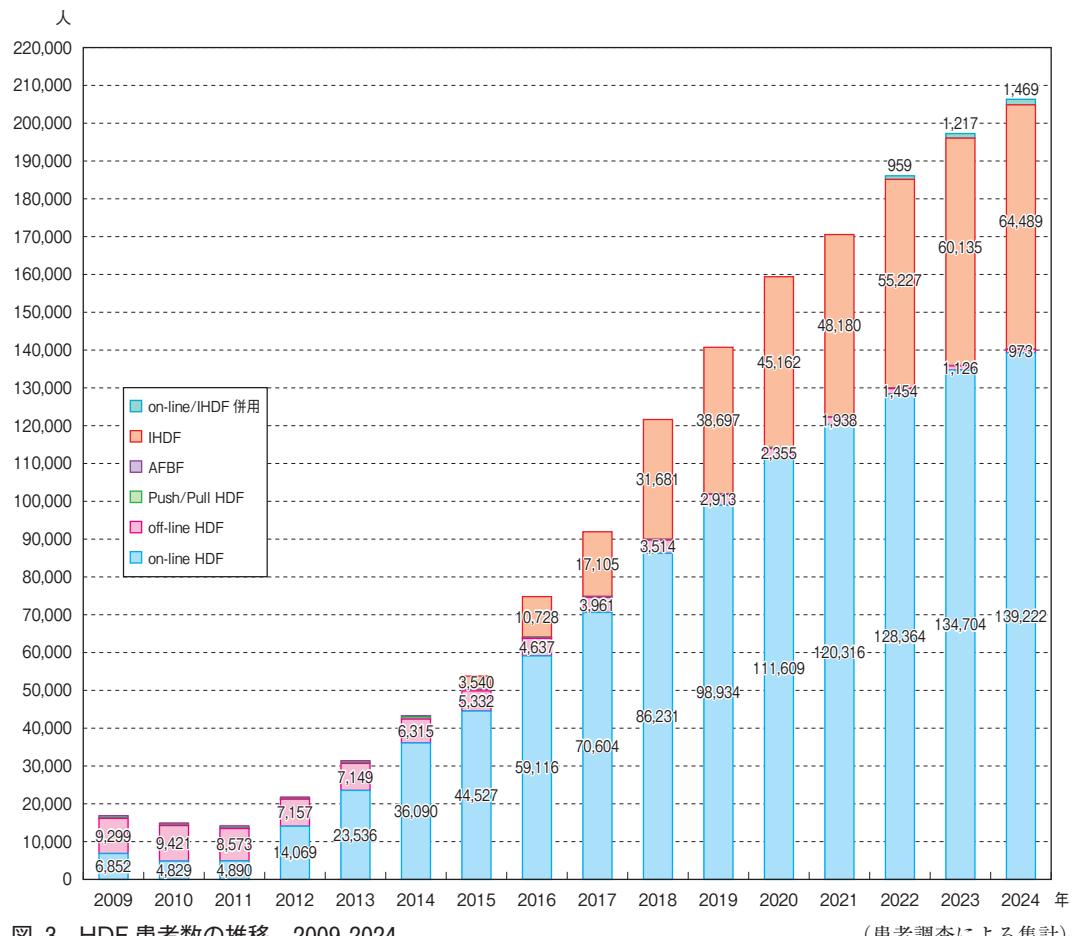


図3 HDF患者数の推移、2009-2024

(患者調査による集計)

第2章 2024年慢性透析患者の動態

1. 臨床背景

2024年の患者調査票において、性別、年齢が記載されていた人数は324,315人であった。このうち男性は217,974人、女性は106,341人で、全体の平均年齢は70.27歳であった（図4、補足表4）。平均年齢は年々増加傾向を示していて（図5、補足表5）、最も割合が高い年齢層は男性・女性ともに75～79歳となり、男性の最も割合が高い年齢層が上昇した。また65歳未満の患者数は2012年から減少し、70歳未満の患者数は2017年から減少傾向である。75歳未満も2021年から減少しており、75歳以上の患者数が増加している（図6、補足表6）。

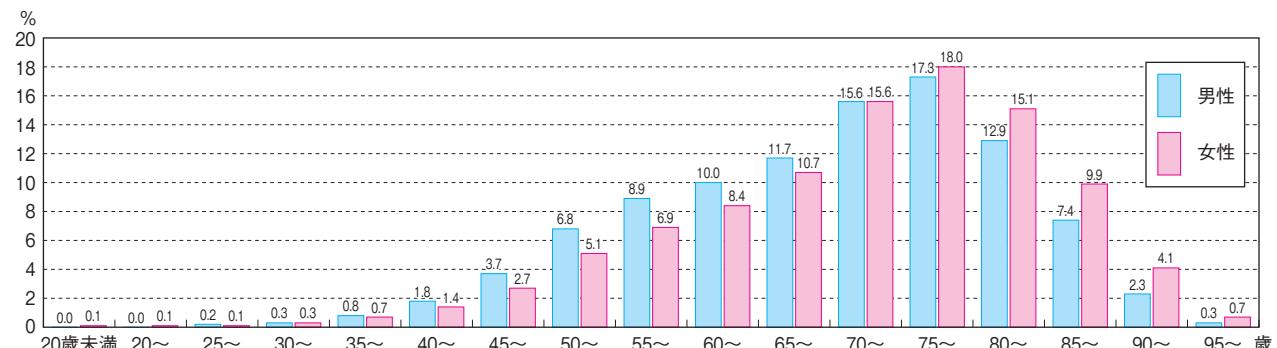


図4 慢性透析患者 年齢と性別、2024

(患者調査による集計)

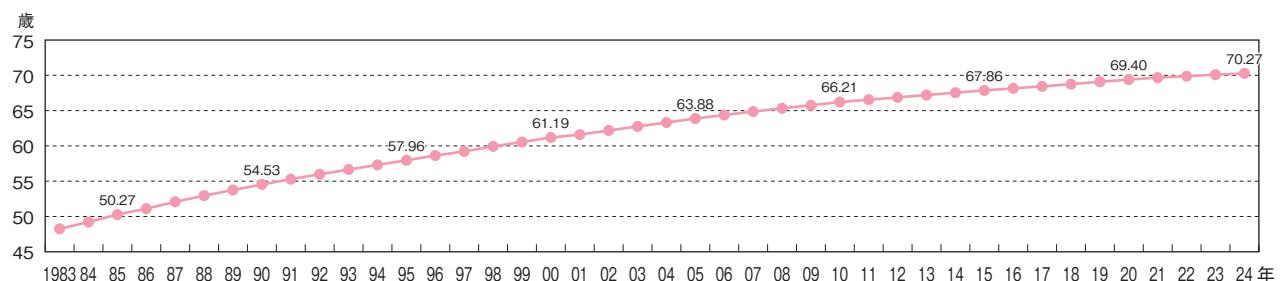


図5 慢性透析患者 平均年齢の推移、1983-2024

(患者調査による集計)

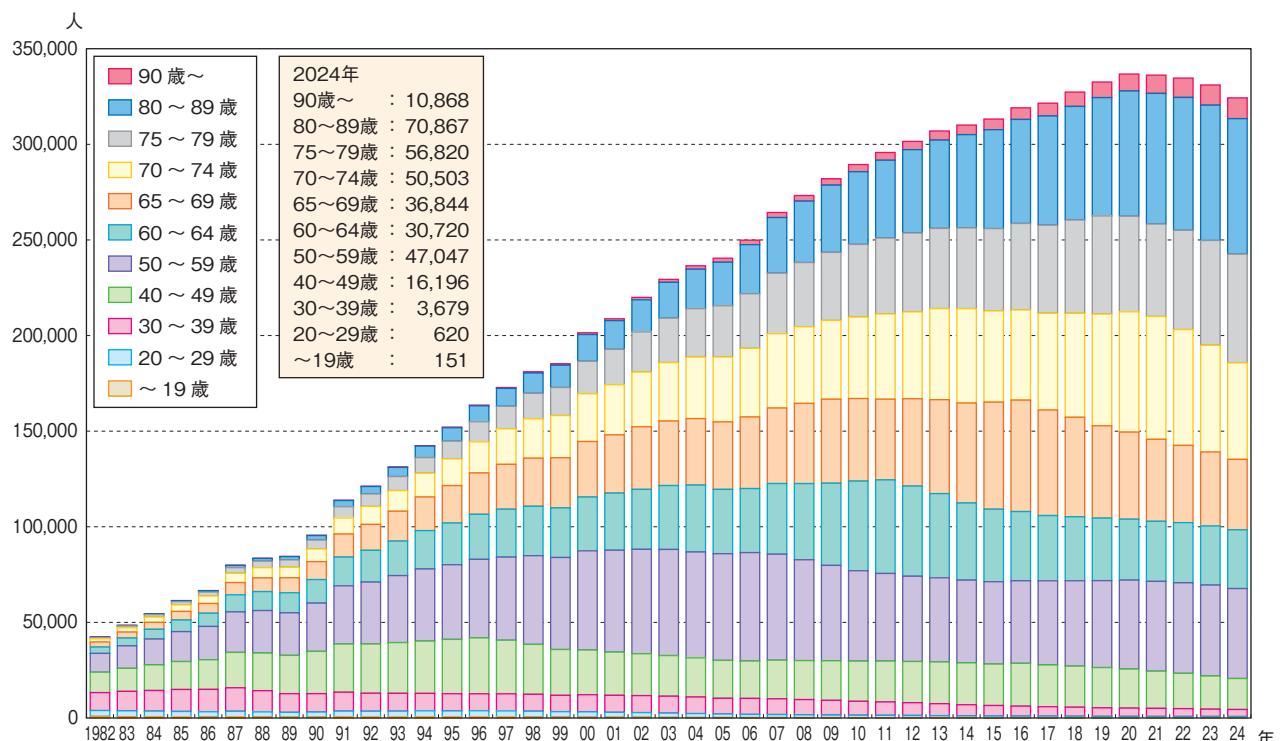


図6 慢性透析患者 年齢分布の推移、1982-2024

(患者調査による集計)

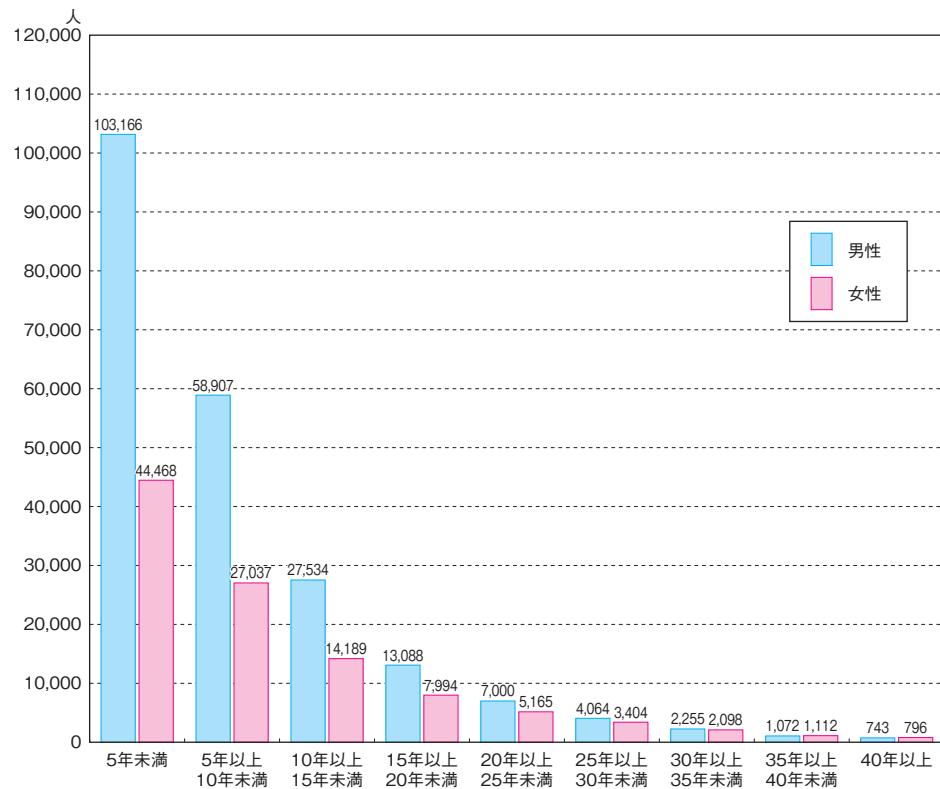


図7 慢性透析患者 透析歴と性別、2024 (患者調査による集計)

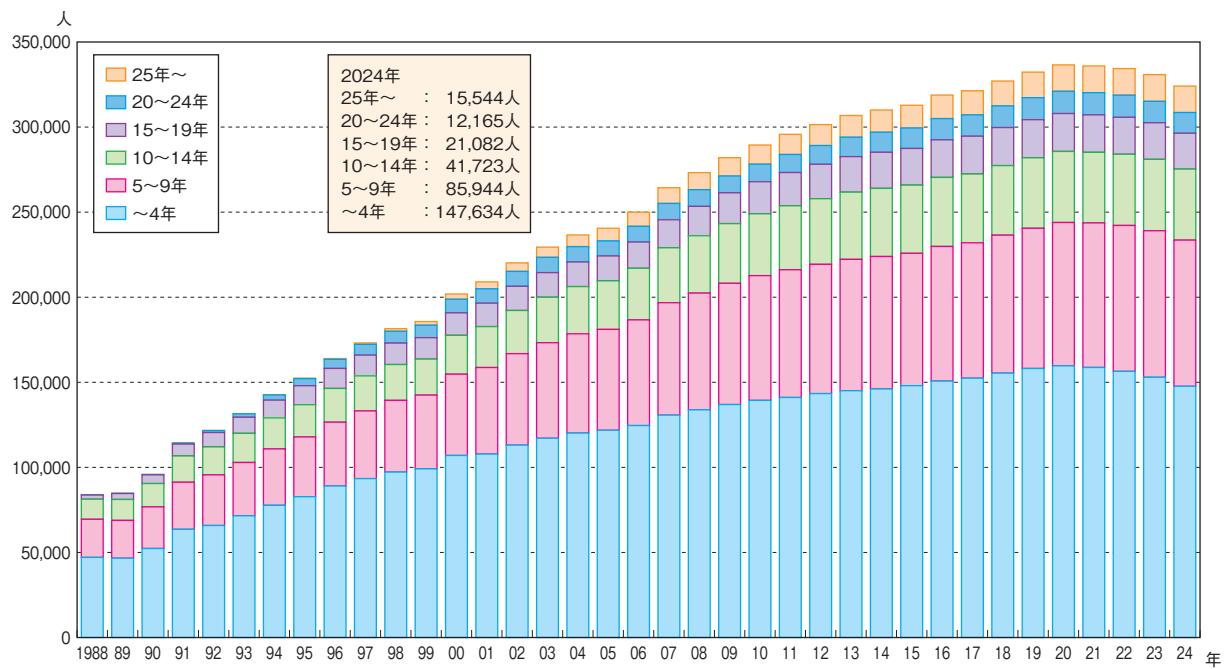


図8 慢性透析患者 透析歴分布の推移、1988-2024

(患者調査による集計)

2024年末時点の慢性透析患者の平均透析歴は男性7.03年、女性8.59年、全体で7.54年であり、いずれも昨年より増加した。透析歴5年未満が全体の45.6%を占め、透析歴20年以上は8.5%、30年以上が2.5%、40年以上が0.5%であった（図7、補足表7）。最長透析歴は54年1ヵ月であった。透析歴の長い患者は増加傾向であったが、ここ数年は横ばいであり、1992年末には1%に満たなかった透析歴20年以上の患者は、2023年が8.6%、2024年が8.5%と同程度であった（図8、補足表8）。

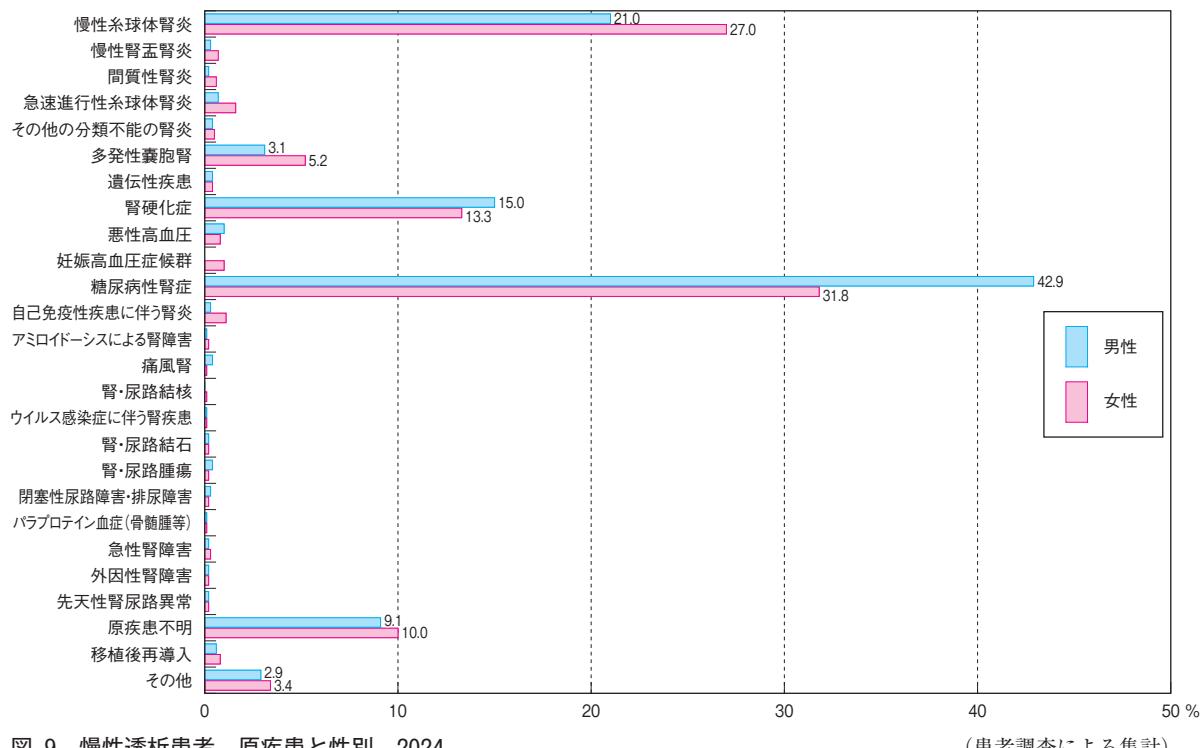


図9 慢性透析患者 原疾患と性別、2024

(患者調査による集計)

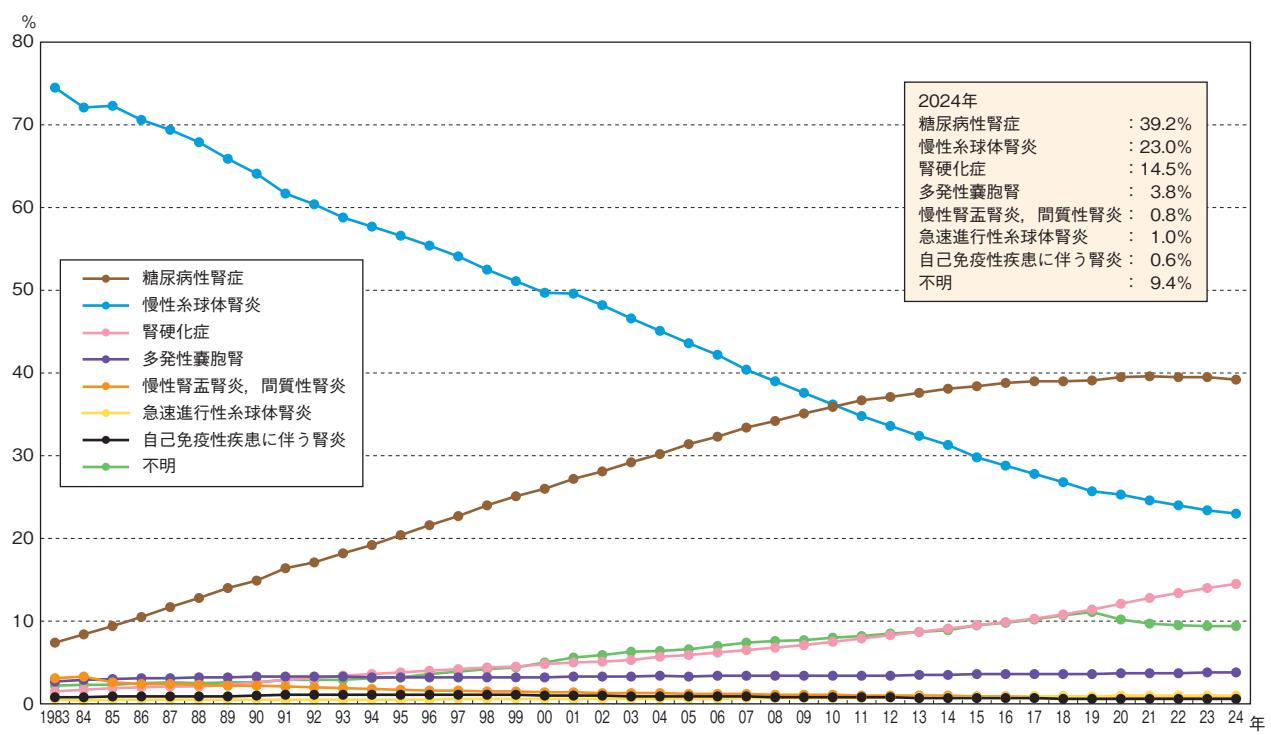


図10 慢性透析患者 原疾患割合の推移、1983-2024

(患者調査による集計)

2024年末時点の慢性透析患者の原疾患で最も多いのは糖尿病性腎症の39.2%で、次いで慢性糸球体腎炎が23.0%、腎硬化症が14.5%であった（図9、補足表9）。糖尿病性腎症の割合は、2011年に慢性糸球体腎炎に代わって原疾患第1位になって以降も持続的に上昇しているが、近年は横ばいを推移している。慢性糸球体腎炎は直線的に減少し、腎硬化症は持続的に上昇している（図10、補足表10）。なお、原疾患コードは2017年末調査で一部変更しており注意が必要である。

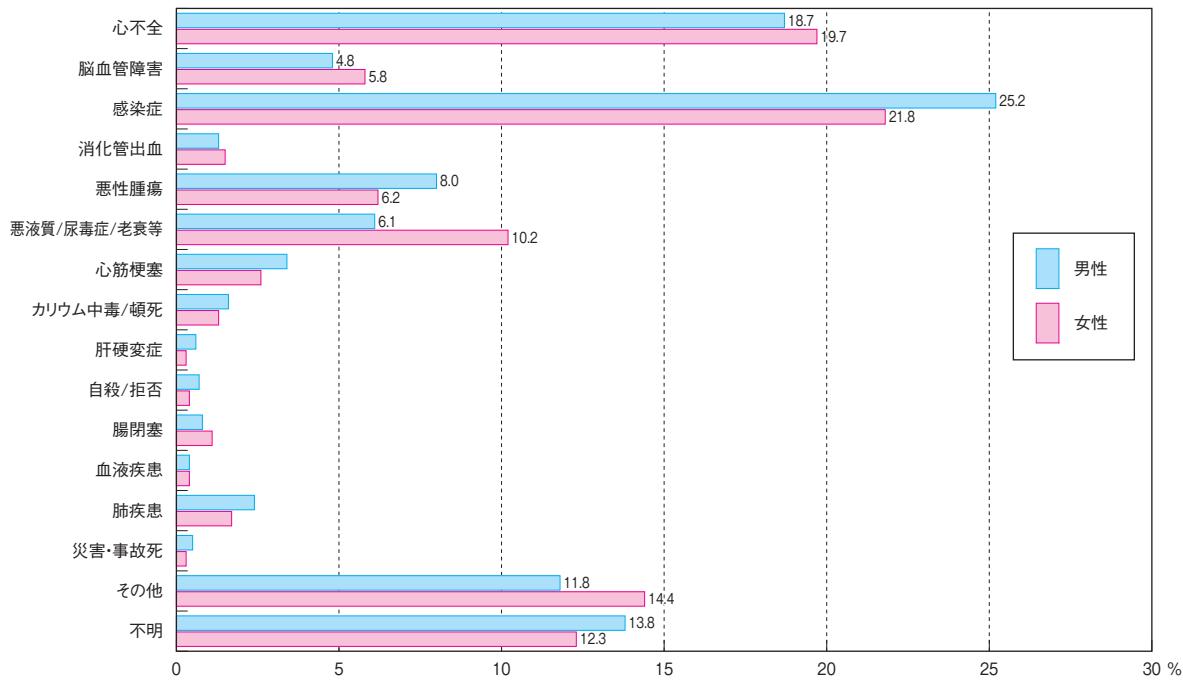


図11 慢性透析患者 死亡原因と性別、2024

(患者調査による集計)

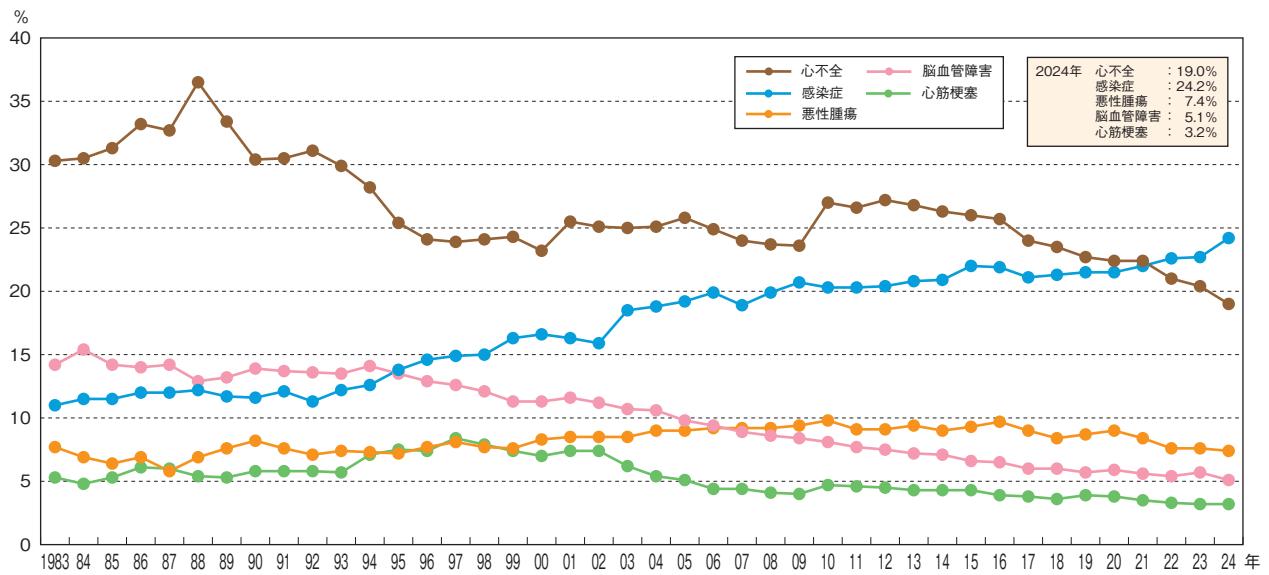


図12 慢性透析患者 死亡原因割合の推移、1983-2024

(患者調査による集計)

2. 死亡原因

2024年の施設調査票では、38,348人の死亡が報告されていたが、患者調査票において死亡原因と性別が記載された患者数は36,390人であった。最も多い死亡原因是、2023年と同様、感染症であった。多い順から感染症、心不全、悪液質/尿毒症/老衰等、悪性腫瘍、脳血管障害で、それぞれ全体の24.2%、19.0%、7.4%、7.4%、5.1%であり、感染症および悪液質/尿毒症/老衰等が増加傾向であった。心不全、脳血管障害、心筋梗塞を併せた「心血管死」の割合は、27.3%であり減少傾向である（図11、補足表11）。

死亡原因の年次推移では、1983年から心不全による死亡が最も多く、1995年以降、25%前後で推移していたが2013年以降漸減傾向にある。一方、感染症による死亡は1993年以降徐々に増加傾向を示し、2022年に死亡原因第1位となり、現在も増加傾向である。脳血管障害は1995年以降漸減傾向にある。心筋梗塞による死亡も、1997年の8.4%をピークに漸減傾向である。悪性腫瘍死は1990～2000年代は増加傾向であったが2010年の9.8%をピークに少しずつ減少傾向に転じ、2024年は7.4%であった。前述した心血管死の割合は、1988年には54.8%であったが一貫して減少し、2024年には27.3%であった（図12、補足表12）。なお、本調査における死亡原因分類コードは、2003年末、2010年末、2017年末調査の3回改訂されていることに注意が必要である⁸⁾。

3. 粗死亡率

施設調査における患者動態から年間粗死亡率を計算した。

$$\text{粗死亡率} = \left\{ \frac{\text{死亡数}}{(\text{前年患者数} + \text{調査年患者数}) \div 2} \right\} \times 100 (\%)$$

粗死亡率は、アンケート回収率が低かった1989年の7.9%が最低値を示したが、その後は緩徐に増加傾向を示し、2024年は11.3%であった（図13、補足表13）。

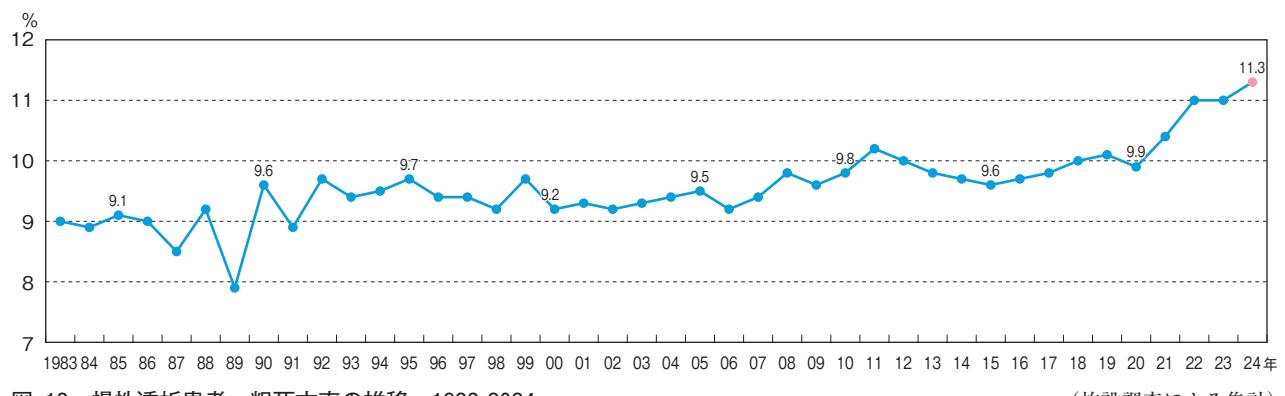


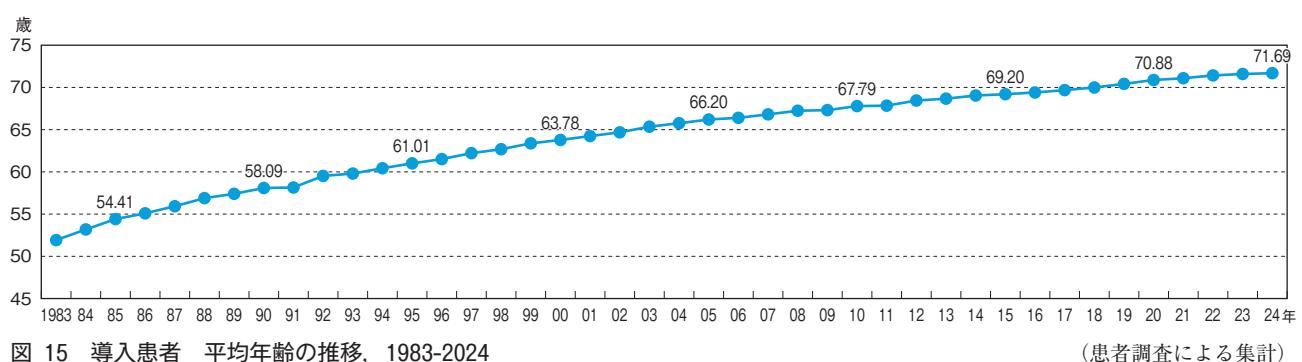
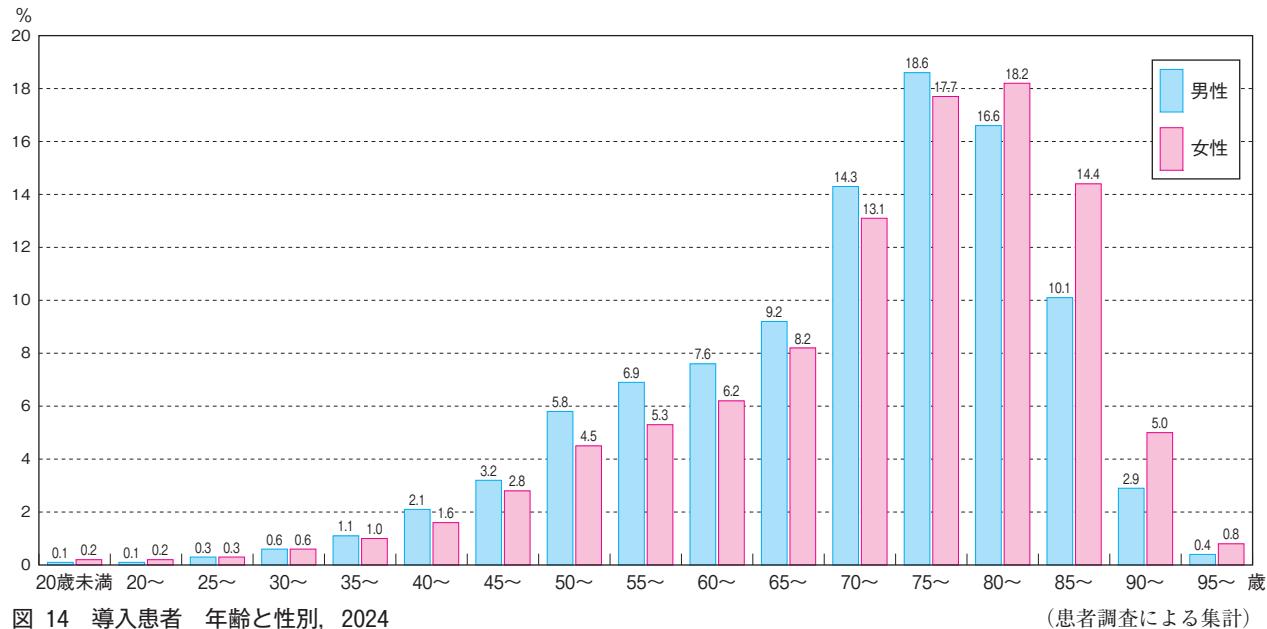
図13 慢性透析患者 粗死亡率の推移、1983-2024

（施設調査による集計）

第3章 2024年透析導入患者の動態

1. 臨床背景

2024年の患者調査票において、年齢と性別の記載が確認された導入患者数は33,888人であった。男性は23,763人、女性は10,125人で、導入患者の平均年齢は全体が71.69歳、男性が71.03歳、女性が73.26歳であった（図14、補足表14）。導入患者の平均年齢も慢性透析患者と同様、年々高齢化している（図15、補足表15）。最も割合が高い年齢層は、男性が75～79歳で、女性は80～84歳であった。



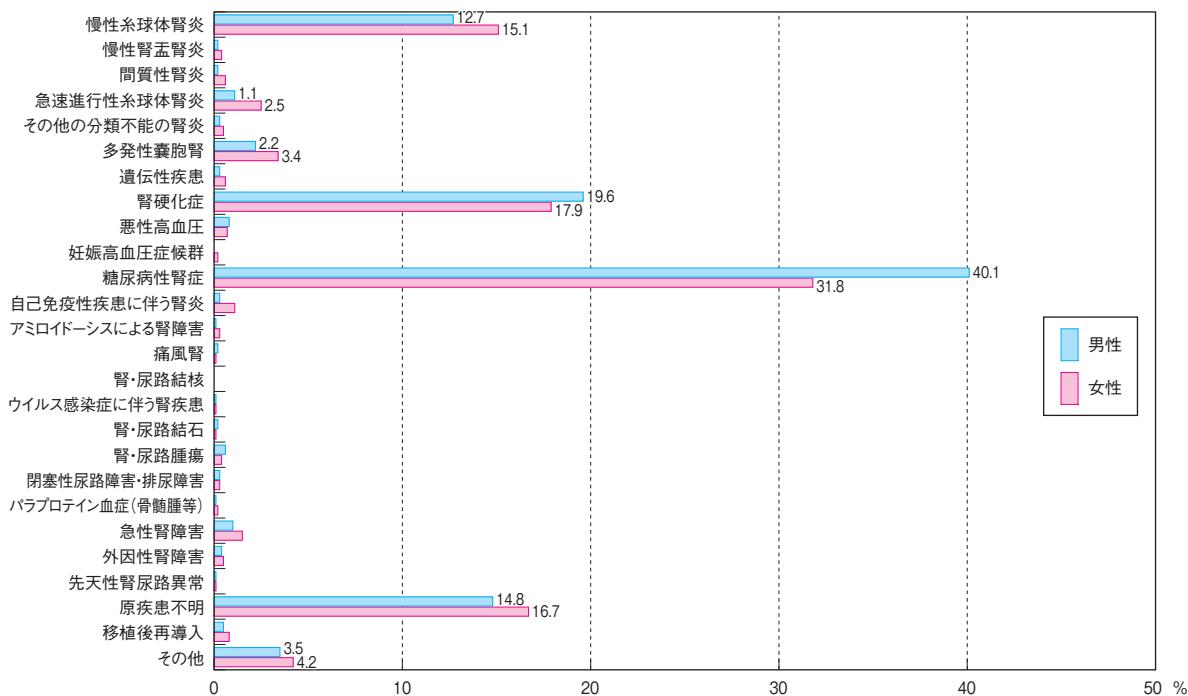


図16 導入患者 原疾患と性別、2024

(患者調査による集計)

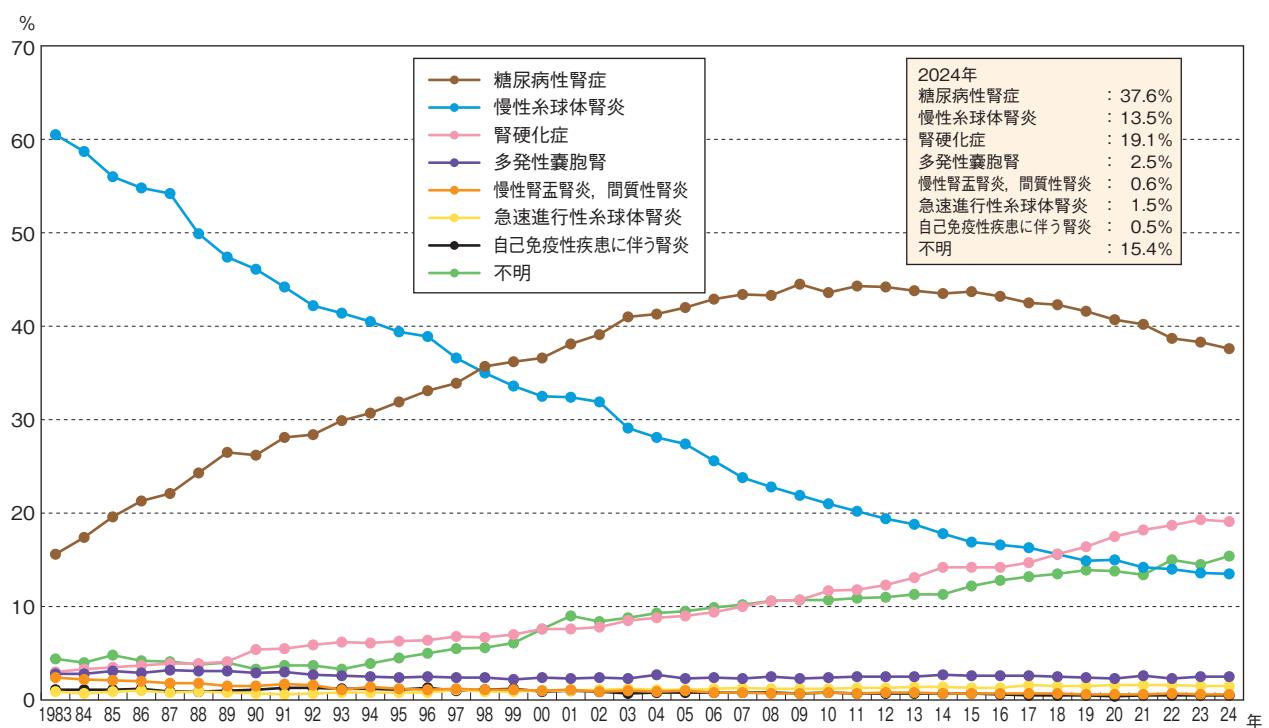


図17 導入患者 原疾患割合の推移、1983-2024

(患者調査による集計)

2024年導入患者の原疾患で最も多いのは糖尿病性腎症で37.6%，次いで腎硬化症の19.1%，慢性糸球体腎炎の13.5%であり、2019年に腎硬化症が慢性糸球体腎炎に代わって第2位となって以降も、腎硬化症の持続的な増加が目立つ（図16、補足表16）。導入患者の原疾患は、1998年に慢性糸球体腎炎に代わって糖尿病性腎症が原疾患の第1位になって以来、一貫して増加していたが、近年は慢性糸球体腎炎と同様に減少傾向が続いている（図17、補足表17）。

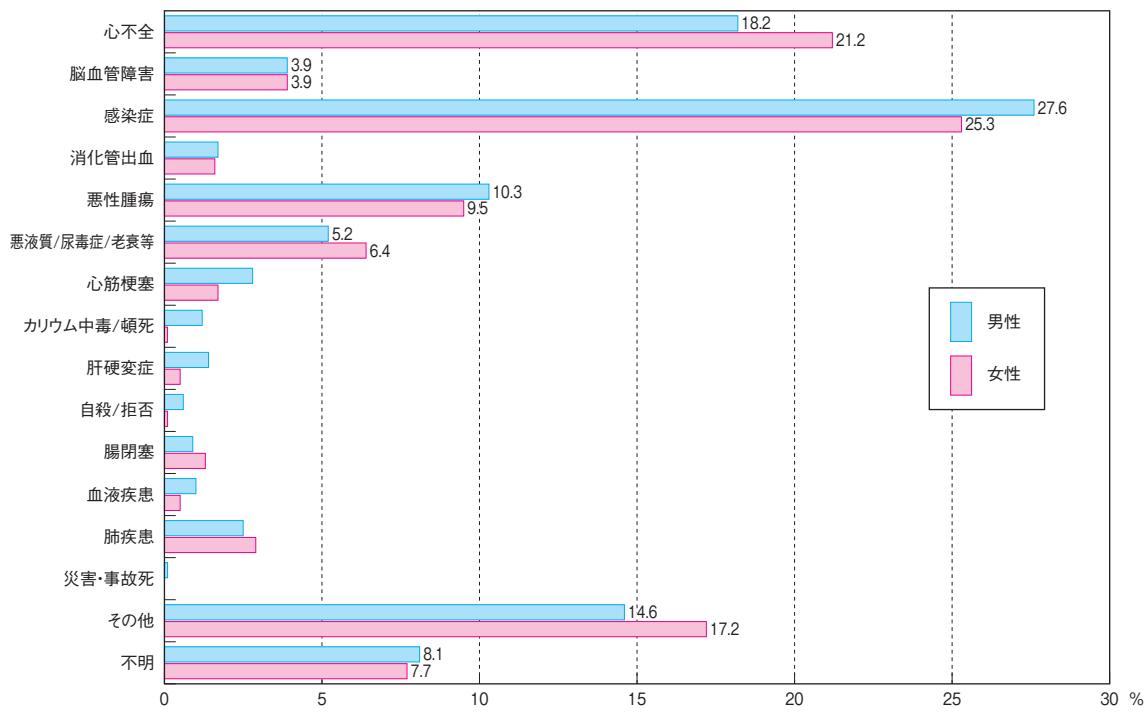


図 18 導入患者 死亡原因と性別、2024

(患者調査による集計)

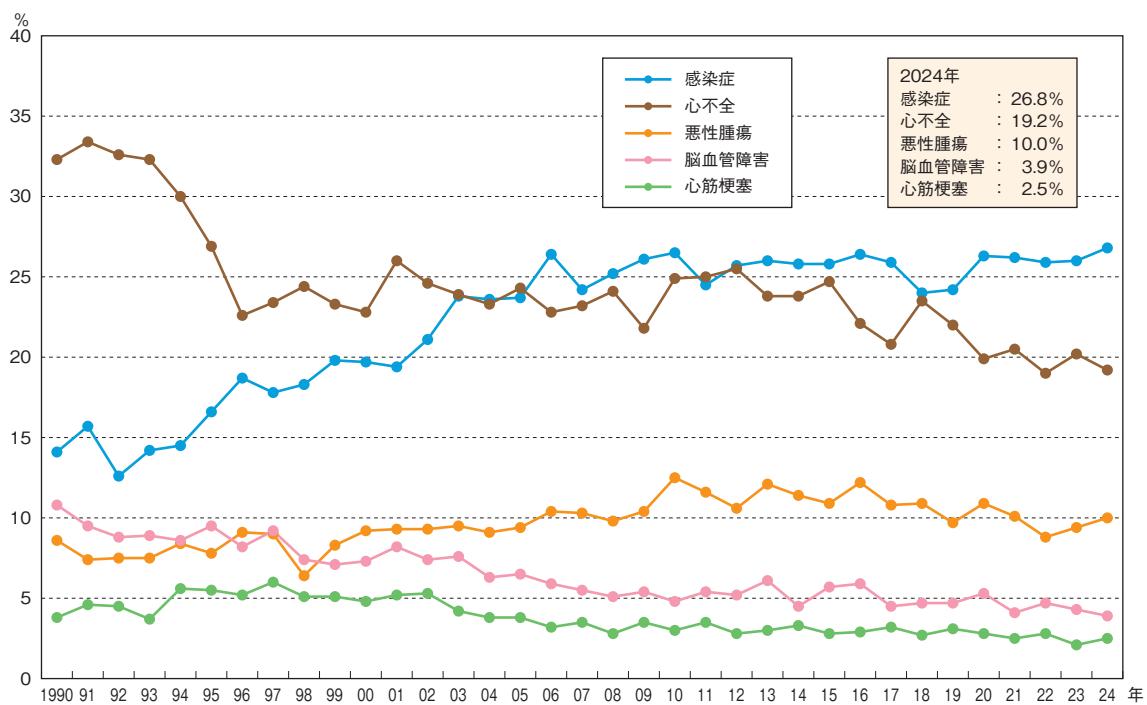


図 19 導入患者 死亡原因割合の推移、1990-2024

(患者調査による集計)

2. 死亡原因

2024年導入患者の導入年内の死亡原因是、全体では感染症が26.8%と最も多く、次いで心不全が19.2%、悪性腫瘍が10.0%、悪液質/尿毒症/老衰等が5.6%、脳血管障害が3.9%であった。心血管死の合計は25.5%であり減少傾向である（図18、補足表18）。透析導入年内の死亡原因の推移をみると、1990年代は心不全が最も多い死因だったが、感染症が徐々に増加し、2006年頃から感染症が最も多い死因となった。脳血管障害による死亡は本年初めて4.0%を割り込んだ（図19、補足表19）。

第4章 透析液水質管理

1. 背景および対象

透析液の細菌学的水質とその管理状況については2006年から調査を開始した。その調査結果をもとに、2008年に透析液の細菌学的水質基準を改定し⁹⁾、さらに2016年に化学的汚染基準が追加された¹⁰⁾。これらの基準では透析液の細菌学的水質をエンドトキシン（endotoxin: ET）濃度と生菌数の両者で評価するとしている。両者とも最低月1回以上の頻度で行い、透析コンソールは月最低1台以上で、全コンソールを最低年1回以上は検査するよう定めている。透析治療に用いる必要最低限の水質を「標準透析液」として規定し、透析液ET濃度0.05 EU/mL未満かつ生菌数100 cfu/mL未満と定めた。さらに「超純粹透析液（ultrapure dialysis fluid: UPD）」を透析液ET濃度0.001 EU/mL未満（測定感度未満）かつ生菌数0.1 cfu/mL未満で定義し、すべての透析治療にUPDの使用を推奨している。

また2017年調査から、透析液の生物学的汚染に加えて、化学的汚染とその対策についても調査している。

本章の透析液水質管理に関する調査は透析コンソールを1台以上保有する施設を対象に行われ、2024年の調査対象施設数は4,436施設であった。

2. 透析液ET検査

透析液ET測定頻度は、調査対象のうち4,421施設から有効回答が得られた。水質基準の規定である月1回以上を満たす施設は3,752施設、全体の84.9%であった（図20a、補足表20）。透析液ET検査を月1回以上行っている施設の割合は、水質基準が示された2008年には33.1%であったが、水質管理加算が新設された2010年には70.6%に急増し、2018年からは85%前後を推移している（図21、補足表21）。

透析液ET濃度に関しては4,385施設から回答が得られ、そのうちUPDの基準である0.001 EU/mL未満を達成している施設は4,005施設で全体の91.3%、標準透析液の基準である0.05 EU/mL未満の施設数は4,319施設で全体の98.5%であった（図20b、補足表20）。標準透析液の基準を満たす施設の割合は、本年もほぼ変わらず高かった（図22、補足表22）。なお、透析液ET濃度について2008年の値が欠損しているのは、この年の調査において透析液ET濃度の表記を国際的ルールに合わせてEU/LからEU/mLに変更したことによる誤記入が多いと判断されたためである。

3. 透析液生菌数検査

透析液生菌数の測定頻度に関しては4,416施設から回答が得られ、そのうち水質基準の規定である月1回以上を満たす施設は3,692施設で、全体の83.6%であった（図23a、補足表23）。生菌数の測定頻度はET測定と同様に2010年以降経年的に増加し、高水準を維持している（図24、補足表24）。

透析液生菌数については4,329施設から回答が得られ、UPDの基準である0.1 cfu/mL未満は3,791施設で全体の87.6%、標準透析液の基準である100 cfu/mL未満は4,312施設、99.6%達成されていた（図23b、補足表23）。UPDの基準を満たす施設の割合は高水準を維持している（図25、補足表25）。

わが国の慢性透析療法の現況（2024年12月31日現在）

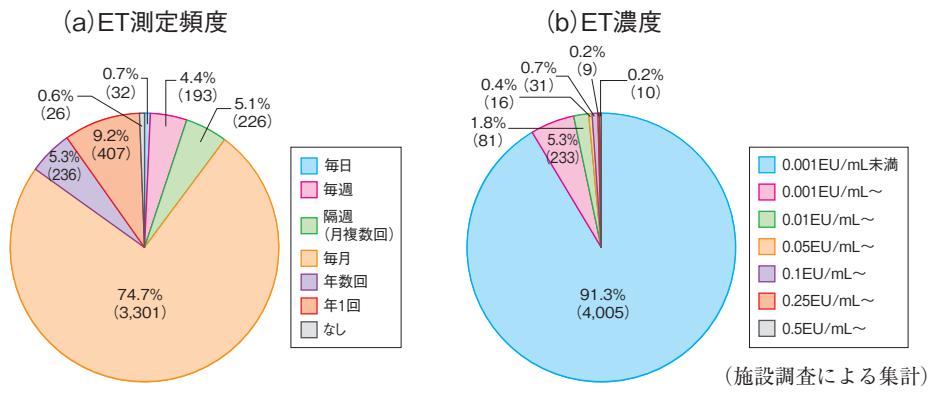


図 20 透析施設における(a)透析液ET測定頻度と(b)ET濃度、2024

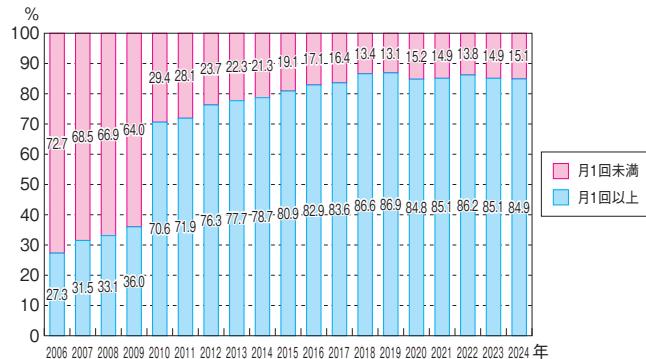
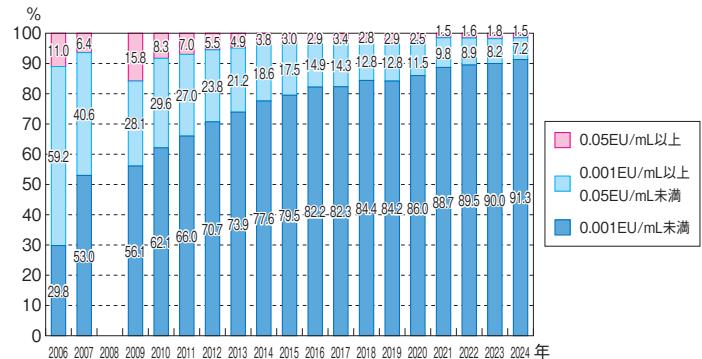
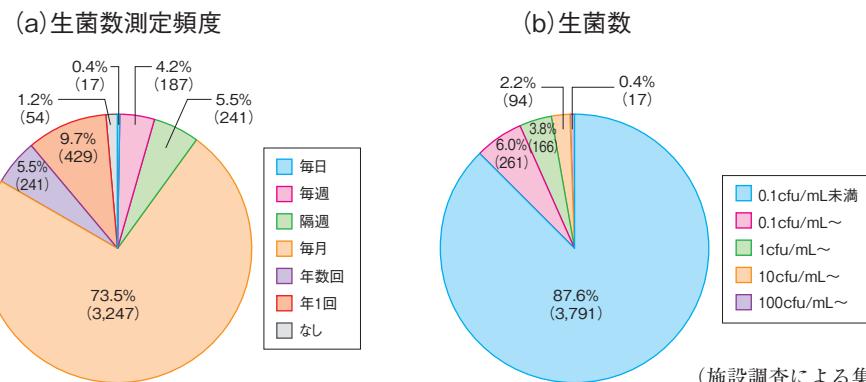
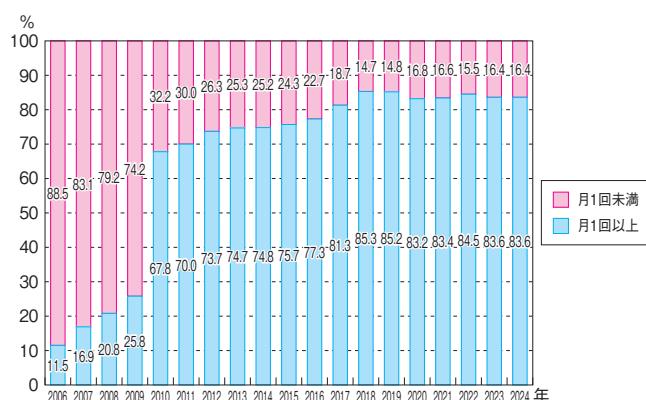
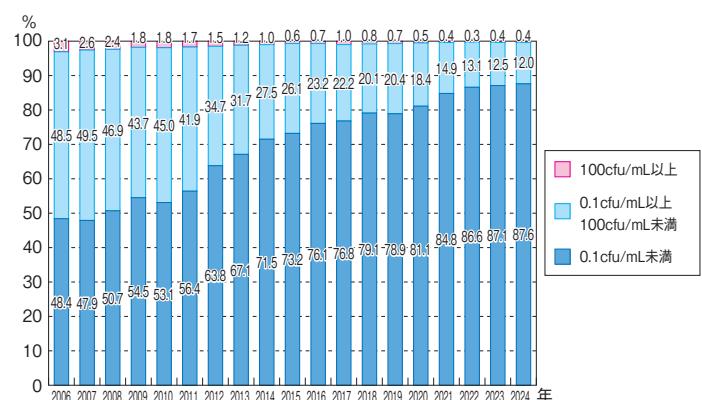
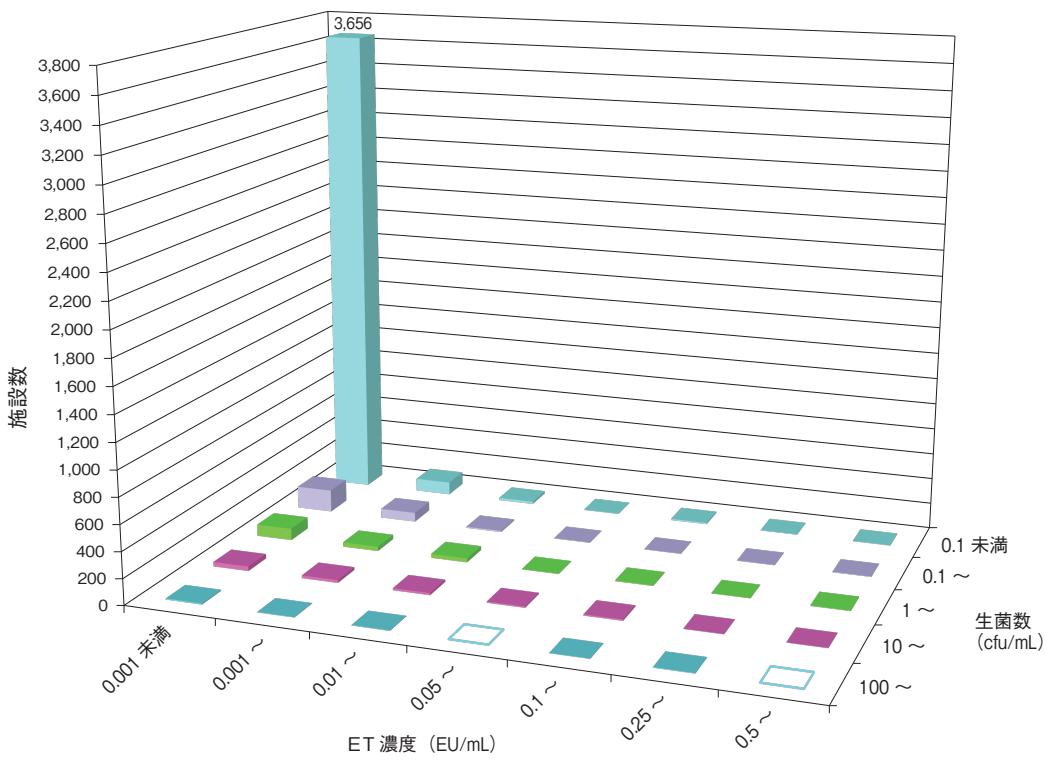
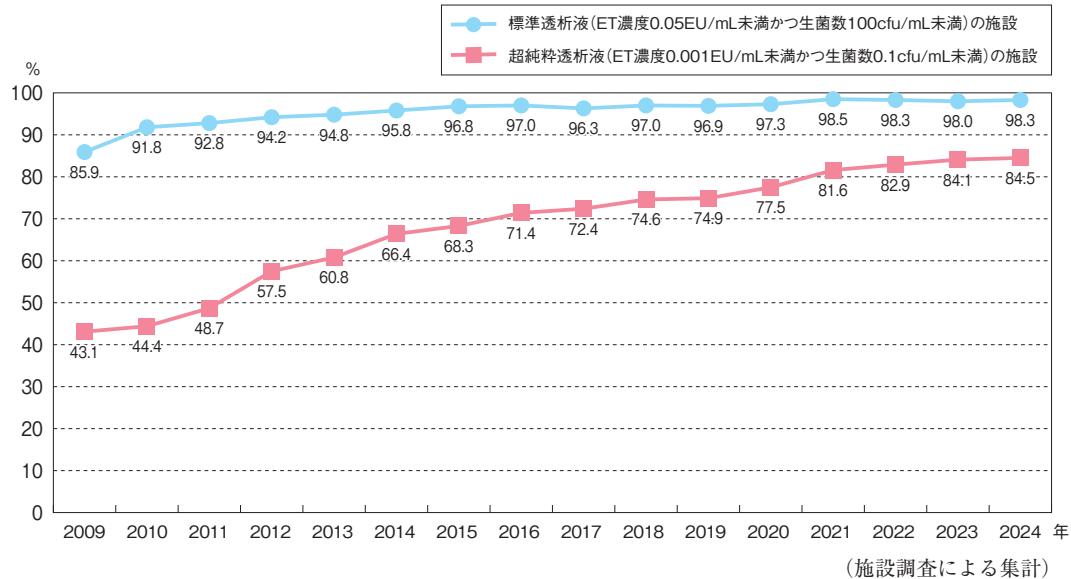
図 21 透析施設における透析液ET測定頻度の推移、
2006-2024
(施設調査による集計)図 22 透析施設における透析液ET濃度の推移、2006-2024
(施設調査による集計)

図 23 透析施設における(a)透析液生菌数の測定頻度と(b)生菌数、2024

図 24 透析施設における透析液生菌数の測定頻度の推移、
2006-2024
(施設調査による集計)図 25 透析施設における透析液生菌数の推移、2006-2024
(施設調査による集計)

図 26 透析施設における透析液 ET 濃度と生菌数、2024
(施設調査による集計)図 27 透析施設における超純粹透析液および標準透析液達成率の推移、2009-2024
(施設調査による集計)

4. UPD および標準透析液の達成率

日本透析医学会水質基準では、透析液の細菌学的水質は透析液 ET 濃度と生菌数の双方の数値で同時に規定される^{10,11)}。透析液 ET 濃度と生菌数の双方に回答があった施設数は、4,325 施設であった。このうち透析液 ET 濃度 0.001 EU/mL 未満かつ生菌数 0.1 cfu/mL 未満という UPD の基準を満たす施設は 3,656 施設で全体の 84.5%，透析液 ET 濃度 0.050 EU/mL 未満かつ生菌数 100 cfu/mL 未満という標準透析液の基準を満たす施設は 4,251 施設で全体の 98.3% であった（図 26、補足表 26）。この UPD と標準透析液の達成率は経年的に高い値を維持している（図 27、補足表 27）。

5. 透析用水の供給水源および化学的汚染対策について

透析用水の供給水源については4,416施設から回答が得られた。水道水が最多の3,682施設(83.4%)、次いで地下水が394施設(8.9%)、ブレンドが326施設(7.4%)であった(図28、補足表28)。

残留塩素の測定頻度については4,386施設から回答があり、毎日測定している施設が70.4%、週1回が19.3%、月1回が3.6%であった(図29、補足表29)。毎日測定している施設が経年に増加した。また残留塩素を測定していない施設は年々減少し、3.1%であった。残留塩素の測定方法については4,227施設から回答があり、遊離塩素と総塩素を測定している施設が43.1%で最多となり、次いで遊離塩素のみが33.2%であった(図30、補足表30)。

日本透析医学会の化学的汚染基準¹¹⁾の認知度については4,346施設から回答があり、“よく知っている”、“知っている”が全体の85.1%であった(図31、補足表31)。また水質基準に定められた化学的汚染物質の測定頻度に関して4,179施設から回答があり、年1回以上が62.6%に増加した一方、未測定施設は21.3%に減少した(図32、補足表32)。

透析液の化学的汚染基準についてまとめると、塩素の測定頻度、測定方法について改善が見られ、化学汚染物質の測定をしていない施設が減っていた。認知度については前年度と同等であり、今後も継続的な調査によりコンプライアンスが向上することが期待される。

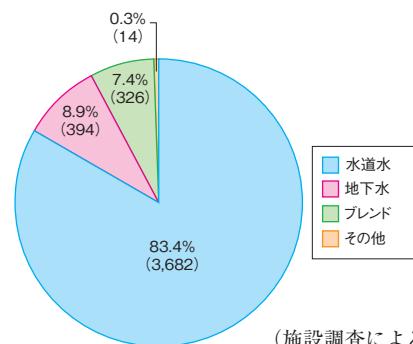


図28 透析施設における透析用水の供給水源、2024

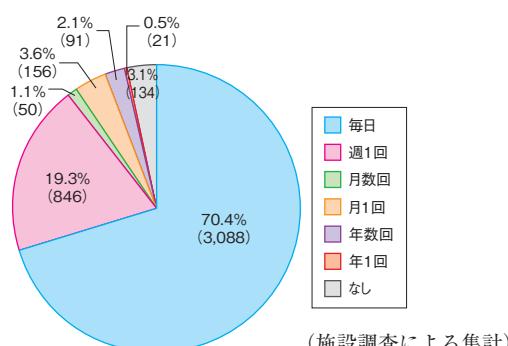


図29 透析施設における残留塩素の測定頻度、2024

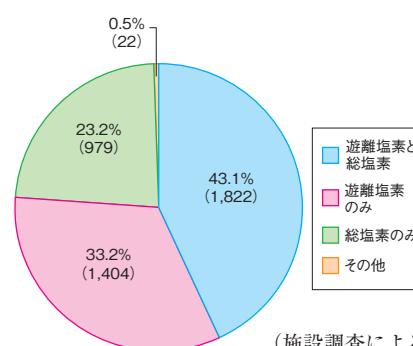


図30 透析施設における残留塩素の測定方法、2024

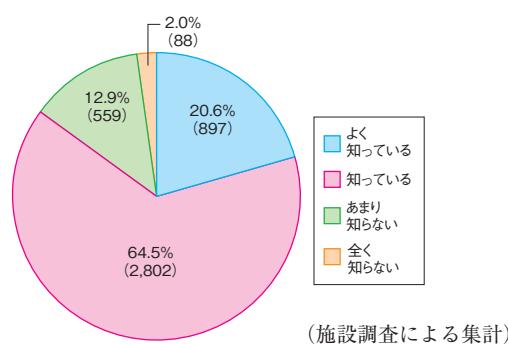


図31 日本透析医学会 化学的汚染基準の認知度、2024

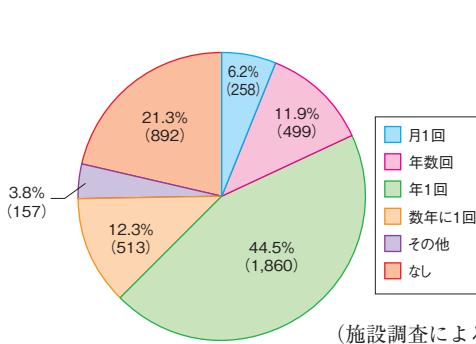


図32 日本透析医学会 化学的汚染基準の測定頻度、2024

第5章 バスキュラーアクセス管理におけるエコー使用状況

2024年は前年同様、バスキュラーアクセス（vascular access: VA）管理におけるエコー使用状況について調査を行い、透析コンソールを1台以上保有する4,436施設を集計対象とした。

穿刺での使用の有無について回答があった4,424施設のうちVA穿刺時にエコーを使用している施設は2,694施設（60.9%）で前年より増加した（図33、補足表33）。VAの機能や形態評価でのエコー使用については4,414施設から回答があり、エコーを使用している施設は78.0%（3,445施設）であった（図34、補足表34）。

VA穿刺時にエコーを使用している施設2,694施設のうち、プローブヘッドカバーの使用状況については2,679施設から回答があった。未滅菌カバー使用の施設が1,351施設（50.4%）と最多を占め、続いてカバーなしが855施設（31.9%）、滅菌カバー使用が473施設（17.7%）であった（図35、補足表35）。エコープローブの消毒状況については2,674施設から回答があり、アルコール系消毒薬が34.5%と最多で、続いてペルオキソ硫酸水素カリウム配合剤が18.3%，第四級アンモニウム化合物が12.1%，次亜塩素酸ナトリウムが8.2%であった。消毒未施行施設は昨年の12.7%から4.6%に減少した（図36、補足表36）。

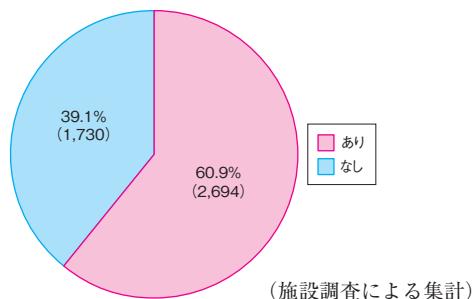


図33 穿刺での使用の有無、2024

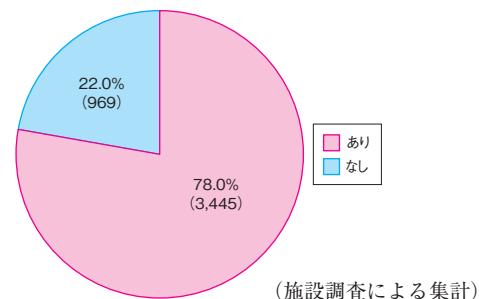


図34 VAの機能や形態評価での使用の有無、2024

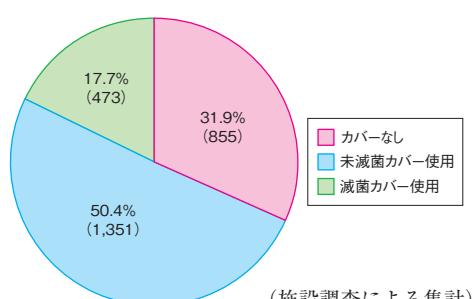


図35 エコーガイド下穿刺時のプローブヘッドカバー、2024

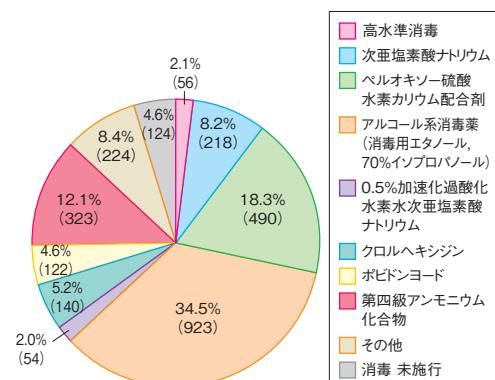


図36 エコーガイド下穿刺後のプローブ消毒、2024
(施設調査による集計)

第6章 血圧管理

1. 調査の背景

血圧に関する詳細な調査は2005年が最終となる。2011年に公開された「血液透析患者における心血管合併症の評価と治療に関するガイドライン」に掲載された「血圧異常」の項は、2005年のデータを参考に構成されている。今回、「透析患者の血圧管理に関する診療指針策定委員会」が発足したことを機に、わが国のデータを用いた解析結果から導かれる診療指針の策定に向けて、調査を実施することとなった。例年行われている血液透析前後血圧に加えて、家庭血圧の測定の有無、各種降圧薬の具体的な使用状況、利尿薬の使用状況について調査を行った。

2. 家庭血圧

透析室で測定される血液透析前血圧、透析後血圧は、予後との関連は示されているものの、管理目標とする計測ポイントとしては適さないことが示唆されている。日本高血圧学会より「高血圧管理・治療ガイドライン2025」では、血圧管理に家庭血圧の重要性が強調されている。そこで今回、家庭での血圧測定の有無について調査を行った。

家庭での血圧測定の有無については243,896人から回答があり、測定ありは180,800人（74.1%）であった。家庭での治療が主体となる腹膜透析（単独）、在宅血液透析では、それぞれ90.5%、86.9%の患者で家庭血圧の測定が行われており、施設血液透析では、71.6%にとどまった（図37、補足表37）。

血液透析患者および血液透析濾過患者において、家庭血圧測定の有無による透析前血圧の差は認められず、収縮期血圧/拡張期血圧はともに約152/79mmHgであった（補足表38、39）。なお、今回の調査では家庭血圧測定の有無のみを問うており、家庭での測定値を血圧管理の指標として用いていることについては言及していないことを共有しておく。

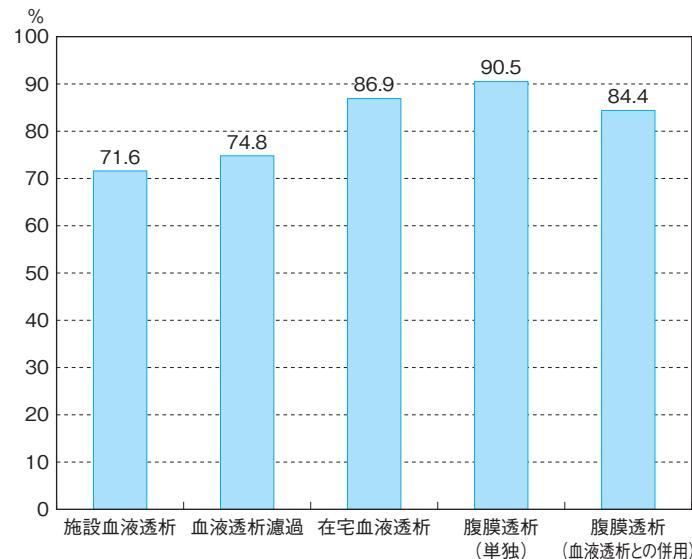


図37 治療方法と家庭での血圧測定実施率、2024
(患者調査による集計)

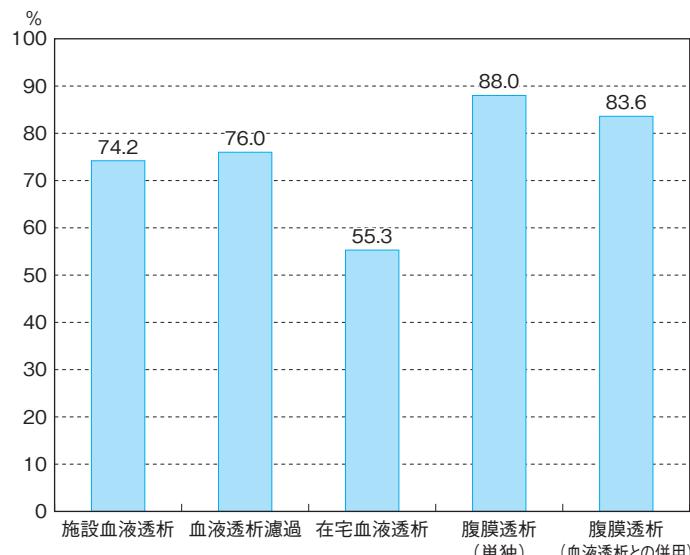


図 38 治療方法と降圧薬使用率、2024 (患者調査による集計)

表 3 治療方法と各種降圧薬使用率、2024

各種降圧薬の使用率 (%) [*]	透析患者 全体	施設 血液透析	血液 透析濾過	在宅 血液透析	腹膜透析 (単独)	腹膜透析 (血液透析 との併用)
カルシウム拮抗薬	52.3	51.3	52.3	30.5	67.0	61.7
レニン・アンジオテンシン系阻害薬	28.3	27.0	28.8	18.5	31.9	29.7
アンジオテンシン受容体ネブリライシン阻害薬	12.6	11.5	12.5	6.9	30.3	29.4
ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬	1.4	1.4	1.1	1.1	8.7	5.8
β遮断薬	28.8	27.1	29.7	23.5	28.2	39.7
その他の降圧薬	14.2	13.5	14.3	12.2	19.5	20.5

*上記の表は、それぞれの降圧薬に対する使用率です。使用率の合計は100%ではありません。

(患者調査による集計)

3. 降圧薬使用の有無

降圧薬の使用の有無については、274,504人から回答があり、使用ありは207,584人(75.6%)であった。透析療法の違いにより差が認められ、施設血液透析、血液透析濾過患者では約75%で使用していたが、在宅血液透析患者では55.3%にとどまった。腹膜透析(単独)患者では88.0%が降圧薬を使用していた(図38、補足表40)。

透析治療法別の各種降圧薬の使用割合は表3のとおりである。

全降圧薬の中でカルシウム拮抗薬の使用率が最も高い傾向が認められた。いずれの降圧薬も腹膜透析患者において使用頻度が高く、在宅血液透析患者において低い傾向が確認できる。また、他の治療法に比して、腹膜透析患者においてミネラルコルチコイド受容体拮抗薬の使用頻度が高い傾向がある(表3)。75.6%の患者が何らかの降圧薬を使用している背景を考慮すると、2剤以上の降圧薬を併用している可能性がうかがえる。

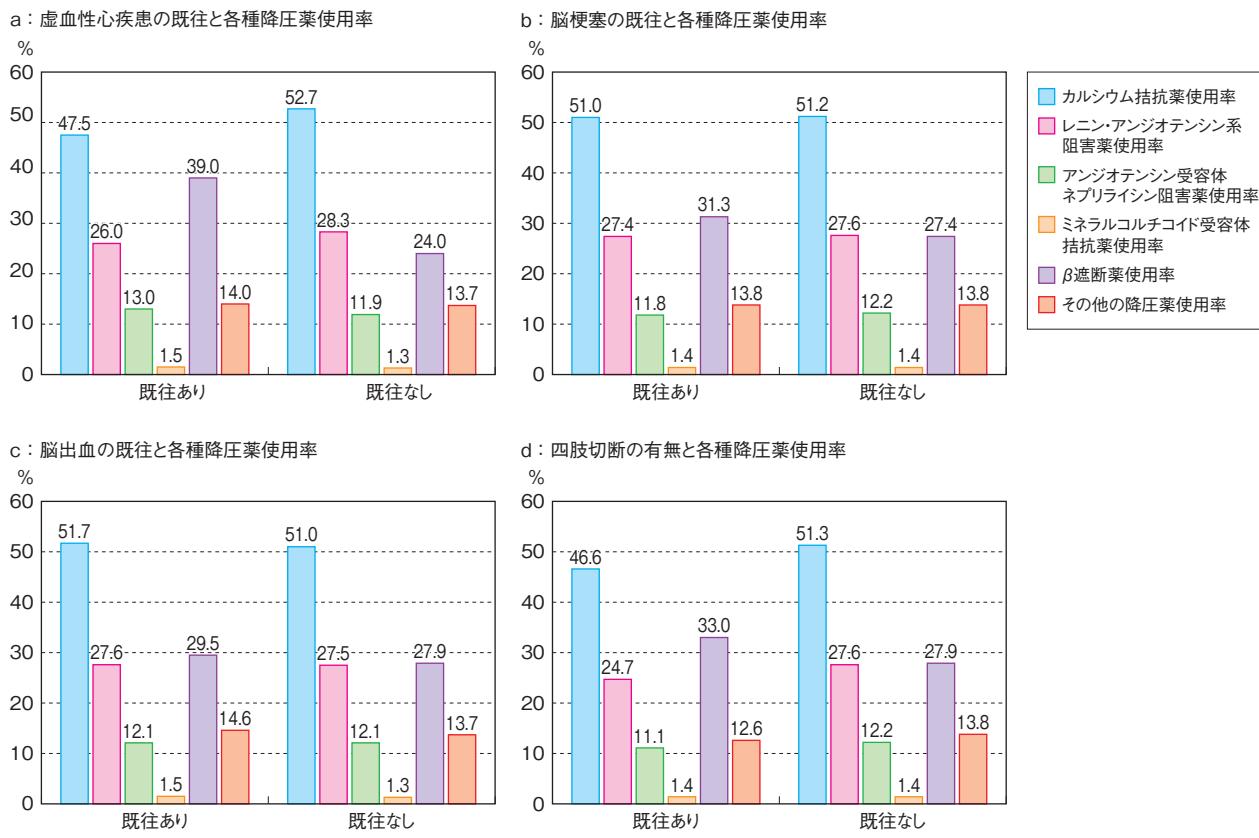


図 39 心血管疾患等の既往と各種降圧薬使用率、2024

(患者調査による集計)

4. 背景疾患別の各種降圧薬の使用頻度

心血管疾患等の既往別各種降圧薬使用頻度について示す（図39、補足表41）。

・虚血性心疾患

他の合併疾患に比し、虚血性心疾患ありの患者のβ遮断薬（39.0%）の使用頻度が高く、カルシウム拮抗薬（47.5%）の使用頻度が低めであることが特徴である。β遮断薬の心臓保護作用を期待しているものと思われる。レニン・アンジオテンシン系阻害薬は26.0%と、他の疾患に比し高いわけではないが、アンジオテンシン受容体ネブリライシン阻害薬の使用頻度が若干高いことも、心臓保護作用を期待している可能性がある。

・脳血管障害（脳梗塞・脳出血）

脳梗塞の既往あり患者、脳出血の既往あり患者、ともにカルシウム拮抗薬（それぞれ51.0%・51.7%）が最も高い使用頻度となっている。しかしながら、脳血管障害の合併の有無により、各種降圧剤の使用頻度には大きな差はなく、脳血管障害を意識した降圧薬の選択の傾向は認められない。

・四肢切断

四肢切断の既往がある患者の特徴は、他の疾患と比較し各種降圧剤の使用頻度が低い傾向を示していることがある。フレイル、低栄養が背景にあり、血圧がそれ程高くない可能性、あるいは、透析中の過降圧による末梢循環不全を予防することに念頭が置かれている可能性も否定できない。

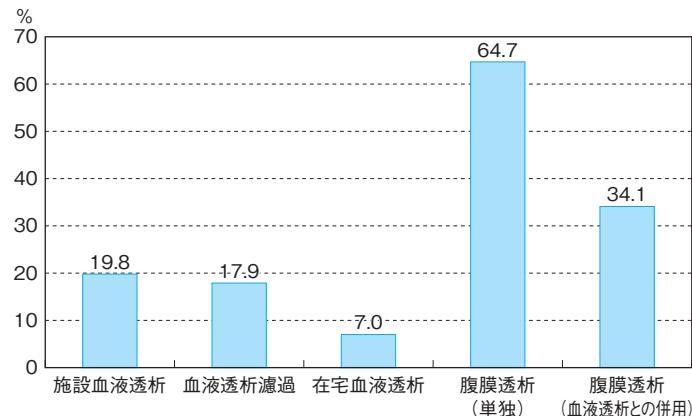


図40 治療方法と利尿薬使用率、2024 (患者調査による集計)

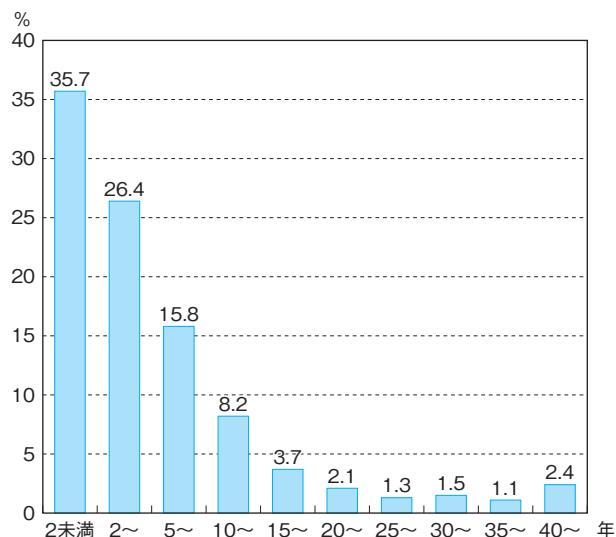


図41 透析歴と利尿薬使用率、2024 (患者調査による集計)

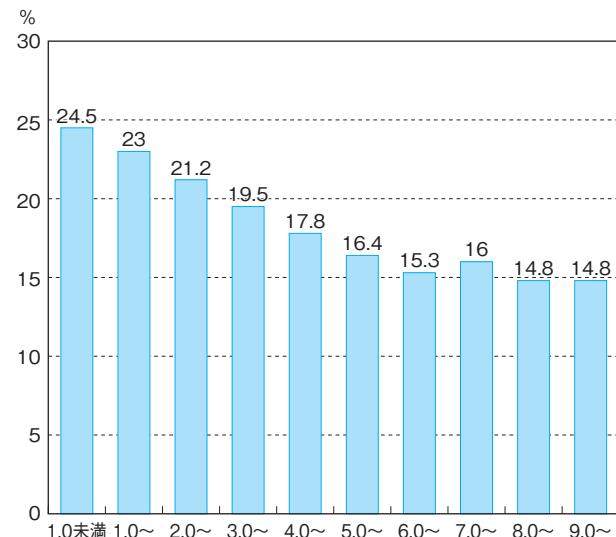


図42 体重減少率と利尿薬使用率 (血液透析/血液透析濾過患者)、2024 (患者調査による集計)

5. 利尿薬の使用の有無

利尿薬使用の有無と種類については、260,688人から回答があり、使用ありは50,894人(19.5%)であった。施設血液透析と血液透析濾過の20%弱に利尿薬が使用され、その多くがループ利尿薬であった。腹膜透析では約65%に利尿薬が使用され、ループ利尿薬が最も使用頻度が高いものの、ループ利尿薬とバソプレシンV₂受容体拮抗薬やサイアザイド系利尿薬との併用も散見される結果であった(図40、補足表42)。

透析患者全体の透析歴と利尿薬の使用頻度では、2年未満で35.7%と最も高く、その後透析歴が長くなるほど使用頻度は減少し、40年以上で2.4%となる。自尿が確認されるうちは積極的に利尿剤を使用し、自尿量の減少に伴い処方頻度も下がることを反映しているのかもしれない(図41、補足表43)。

6. 体重減少率と利尿薬使用の有無

集計対象を血液透析と血液透析濾過患者とし、透析間の体重増加を反映していると考えられる体重の減少率と利尿薬使用の有無を示す(図42、補足表44)。体重減少率が多いほど、利尿薬の使用頻度が少ない傾向であった。

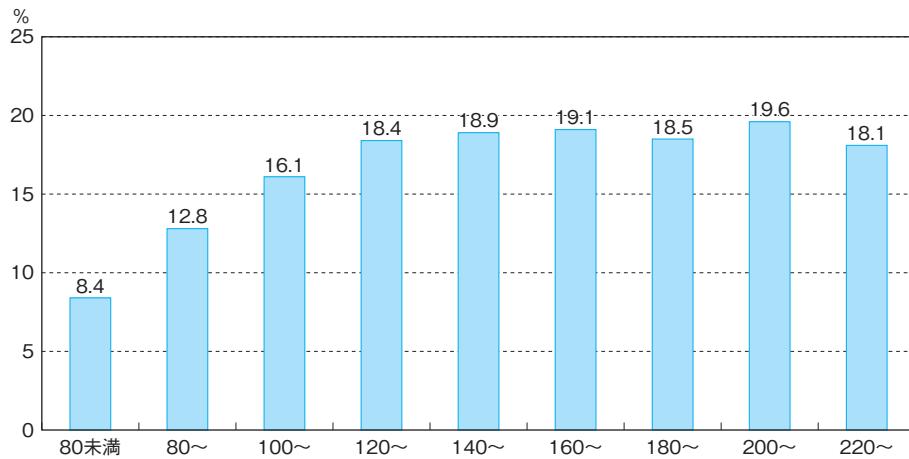


図 43 透析前収縮期血圧と利尿薬使用率（血液透析/血液透析濾過患者），2024
(患者調査による集計)

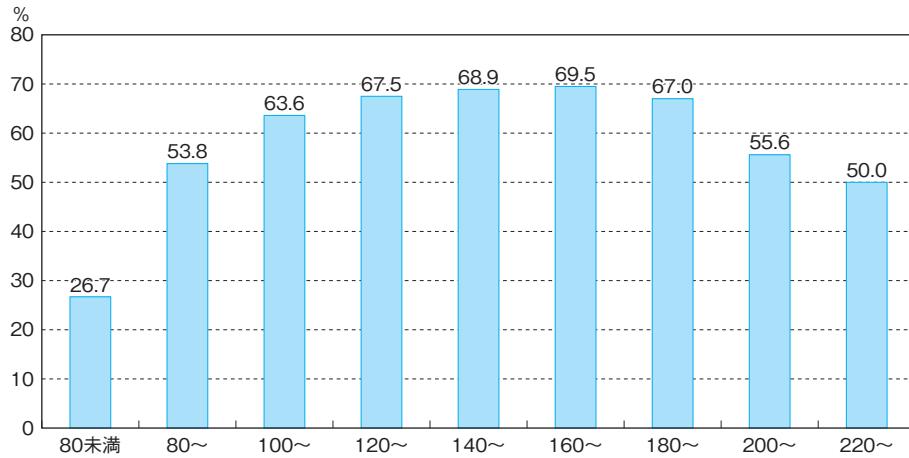


図 44 透析前収縮期血圧と利尿薬使用率（腹膜透析患者），2024 (患者調査による集計)

7. 収縮期血圧と利尿薬使用の有無

血液透析と血液透析濾過患者における透析前収縮期血圧と利尿薬使用の有無について示す（図43、補足表45）。症例数の少ない、収縮期血圧80 mmHg未満を1つのグループとして見てみると、収縮期血圧が120～140 mmHgより高い群では、使用率が19%前後で推移する一方で、120～140 mmHgより低くなるほど、使用率も少なくなる傾向が認められる。

腹膜透析単独患者においては、収縮期血圧80 mmHg未満では使用率が30%未満と少ないものの、それ以外の血圧群においては50～70%と高い使用率であった（図44、補足表46）。

第7章 脂質関連

1. 調査の背景

透析患者の総コレステロール (TC) およびHDLコレステロール (HDL-C) 値の調査は2015年以降、毎年行われている。しかし、中性脂肪 (TG) 値の調査は2003年以降実施されておらず、脂質異常症治療薬の調査は2011年以降実施されていなかった。これまでフィブリート製剤は透析患者には禁忌とされていたが、近年ではペマフィブリートが透析患者にも使用可能となった。

2011年に発刊された「血液透析患者における心血管合併症の評価と治療に関するガイドライン」では、透析患者においても、脂質異常症は心血管疾患、とくに心筋梗塞発症の独立した危険因子であり、ルーチン評価には、透析前（隨時採血）のLDLコレステロール (LDL-C), Non-HDL-C (=TCマイナスHDL-C), HDL-C, TGを測定することが推奨されている¹²⁾。また、管理目標値は、虚血性心疾患の一次予防では、LDL-C 120 mg/dL未満、あるいはNon-HDL-C 150 mg/dL未満、二次予防ではLDL-C 100 mg/dL未満、あるいはNon-HDL-C 130 mg/dL未満とすることが推奨されている。Non-HDL-Cは、LDLとTG-richリポ蛋白のもつコレステロールを合計した値であり、非絶食時でも評価可能であり、LDL-Cよりも透析医療に適した指標と考えられている。

透析患者における観察コホート研究では、TCが低いほど、総死亡あるいは心血管死亡のリスクが高く、一般住民の疫学データと逆転している¹³⁾。透析患者を栄養障害・炎症の有無で層別解析すると、この逆転は栄養障害・炎症のある群で生じているが、栄養障害・炎症のない群ではTCと心血管死亡のリスクは正相関している。2003年の本学会統計調査において、45,390例の血液透析患者のデータを解析した報告によると、心筋梗塞発症リスクはNon-HDL-C高値、HDL-C低値で高く、一方、心血管イベント（心筋梗塞・脳梗塞・脳出血）発症後の死亡リスクは低BMI状態、高CRPが高い¹⁴⁾。虚血性心疾患リスクを低下させる目的で、LDL-CやNon-HDL-Cの高い透析患者にスタチンを投与開始することには、一定の根拠があると考えられる。また、透析導入期あるいは維持透析期にスタチン投与を受けている患者は、そうでない群に比較して、死亡率が低いとの観察研究もあり、すでに投与中のスタチンを中止する医学的根拠も乏しいとされていた¹⁵⁾。

近年では透析患者の高齢化により、栄養障害を合併している患者割合が増加していることが想定される。そこで、透析患者の脂質異常症について詳細な調査を実施することになった。

2. 脂質関連

脂質関連の割合分布を図45～49に示す。透析患者全体の総コレステロールの平均と標準偏差は 150.7 ± 36.5 mg/dLであった（補足表47）。LDL-Cは 78.1 ± 28.0 mg/dL（補足表48）、Non-HDL-Cは 101.2 ± 33.0 mg/dL（補足表49）、HDL-Cは 49.5 ± 16.6 mg/dLであった（補足表50）。一次予防の目標値であるLDL-C 120 mg/dL未満は92.1%、Non-HDL-C 150 mg/dL未満は91.8%と高率であった。

一方で、スタチンが使用されている割合は34.0%（図50、補足表52）、エゼチミブが使用されている割合は5.4%と低率であった（図51、補足表53）。中性脂肪の平均と標準偏差は 108.6 ± 70.2 mg/dLであり（補足表51）、ペマフィブリートの使用割合は1.0%と低率であった（図52、補足表54）。

わが国の透析患者は高齢化が進行しており、低脂血症を呈している可能性が高いと考えられる。そのため、栄養状態の評価と対策を考慮すべき結果となった。今回の調査により、わが国の透析患者のLDL-C, Non-HDL-CやTGと生命予後との関連が明らかとなることで、透析患者の予後改善につながる可能性が期待できるものと考えられる。

わが国の慢性透析療法の現況（2024年12月31日現在）

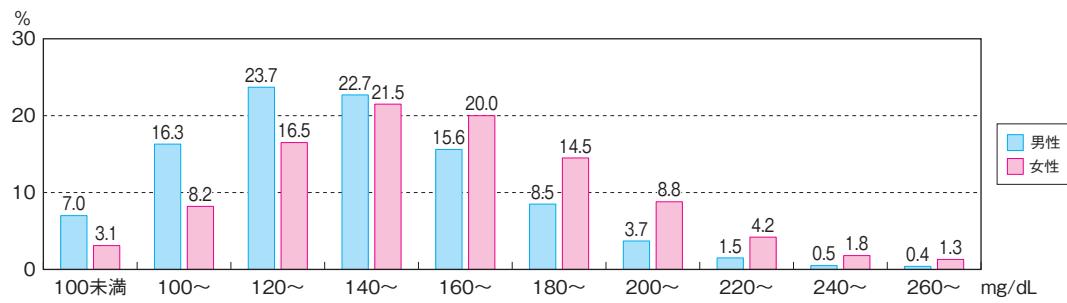


図 45 総コレステロール濃度の分布、2024

(患者調査による集計)

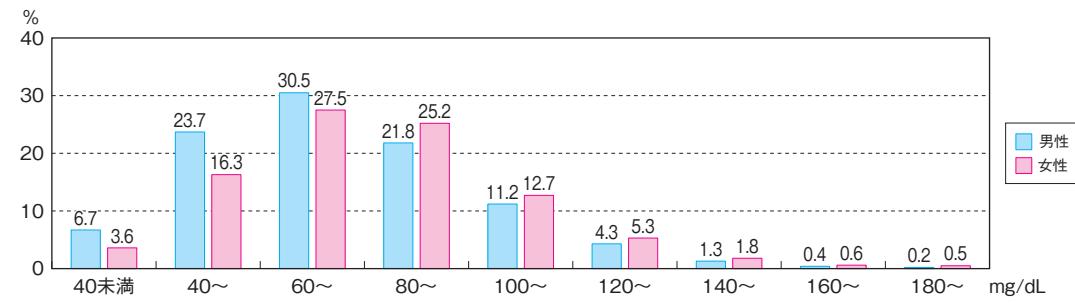


図 46 LDL-C 濃度の分布、2024

(患者調査による集計)

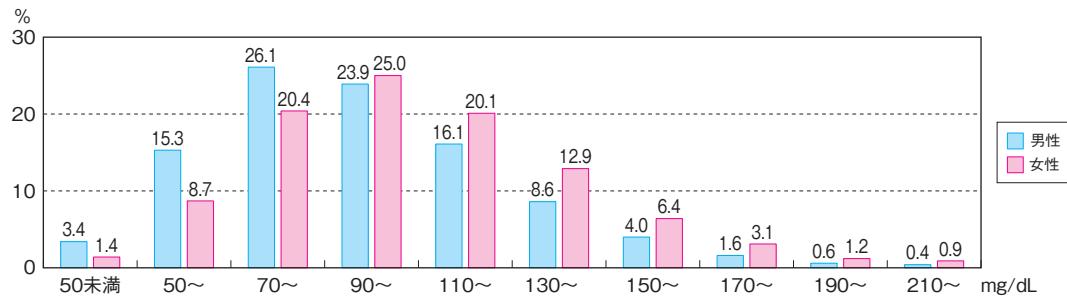


図 47 Non-HDL-C 濃度の分布、2024

(患者調査による集計)

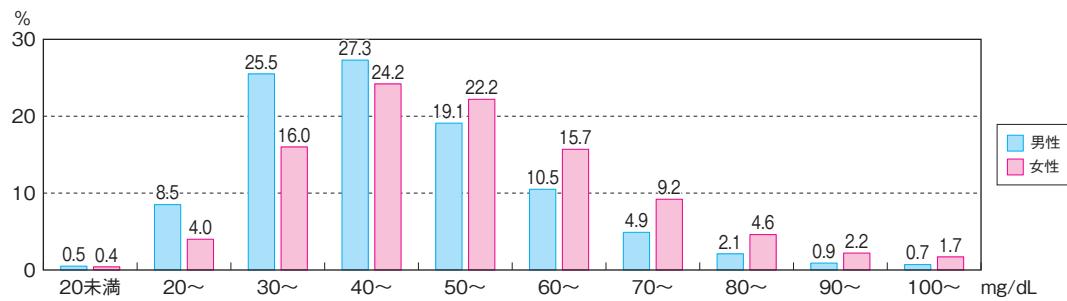


図 48 HDL-C 濃度の分布、2024

(患者調査による集計)

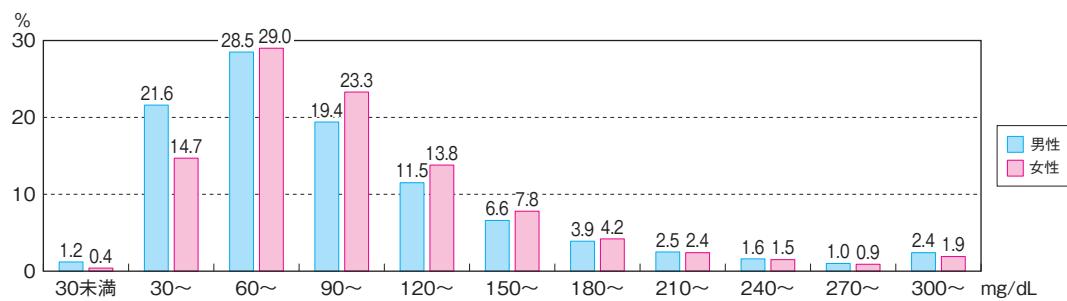
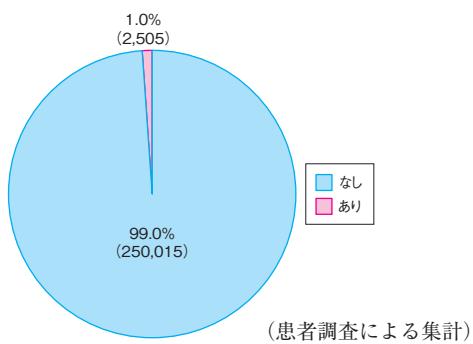
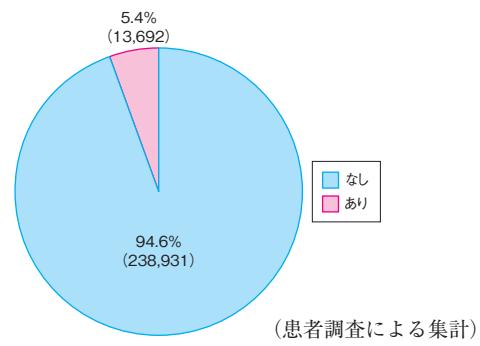
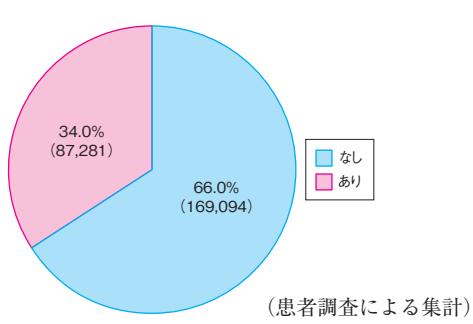


図 49 中性脂肪の分布、2024

(患者調査による集計)



第8章 肝炎

1. 調査の背景

世界保健機関（World Health Organization: WHO）は、2030年までにウイルス性肝炎を世界から撲滅することを目指しておらず、わが国の透析施設においても、この目標達成に向けたウイルス性肝炎撲滅への積極的な取り組みが求められている。

透析患者では、B型肝炎ウイルス（hepatitis B virus: HBV）およびC型肝炎ウイルス（hepatitis C virus: HCV）の有病率が高いことが知られているが、2018年末調査を最後に、肝炎ウイルスに関する全国的な実態調査は実施されていない。そこで、2024年は肝炎ウイルス関連調査を実施し、透析患者における肝炎ウイルスの有病率を明らかにすることを目的とした。

また、2023年には国内の透析施設において、HCVの新規感染者が5名発生するアウトブレイク事例が報告されている¹⁶⁾。新規感染の発生を防止することは極めて重要であり、その実態を把握することが今後の感染対策に不可欠である。このため、2024年末および2025年末の2年連続で本調査を行い、肝炎ウイルスの陽性転化率を明らかにすることを目的としている。この結果は、今後の感染対策や治療方針、さらにはガイドライン改訂の基礎資料として活用する予定である。

2. HBV

1) HBVの背景

調査結果を理解するためには、検査方法の意味やHBVの歴史を理解する必要がある。

一般人口におけるHBVキャリア（持続感染者）は、約99～103万人と推定されている。わが国の総人口から計算すると、HBVキャリアは約0.8%となる。

HBVキャリアの診断にはHBs抗原検査が重要であり、HBs抗原陽性であれば現在HBVに感染していることを示す。また、HBc抗体検査が陽性であることは、過去にHBV感染したことがあるか（既往感染）、現在もHBVに感染しているか（キャリア）のどちらかである。したがって、HBs抗原陰性でHBc抗体陽性の場合は、HBVの既往感染であることを示す。HBVキャリアは、出生時または乳幼児期の感染によって成立し、成人期初感染では、免疫不全状態を除けば持続感染化することは稀である。

HBV感染の予防は感染経路を遮断することであり、輸血製剤のウイルス検査、およびワクチン接種が有効な手段である。B型肝炎の原因となるHBVは、1964年にオーストラリア抗原として発見され、1972年に供血者のHBs抗原によるスクリーニングが開始された。1989年には供血者のHBc抗体によるスクリーニングが追加、1999年には供血者の核酸増幅検査（nucleic acid amplification test: NAT）によるスクリーニングが開始され、輸血によるHBV感染は減少した。

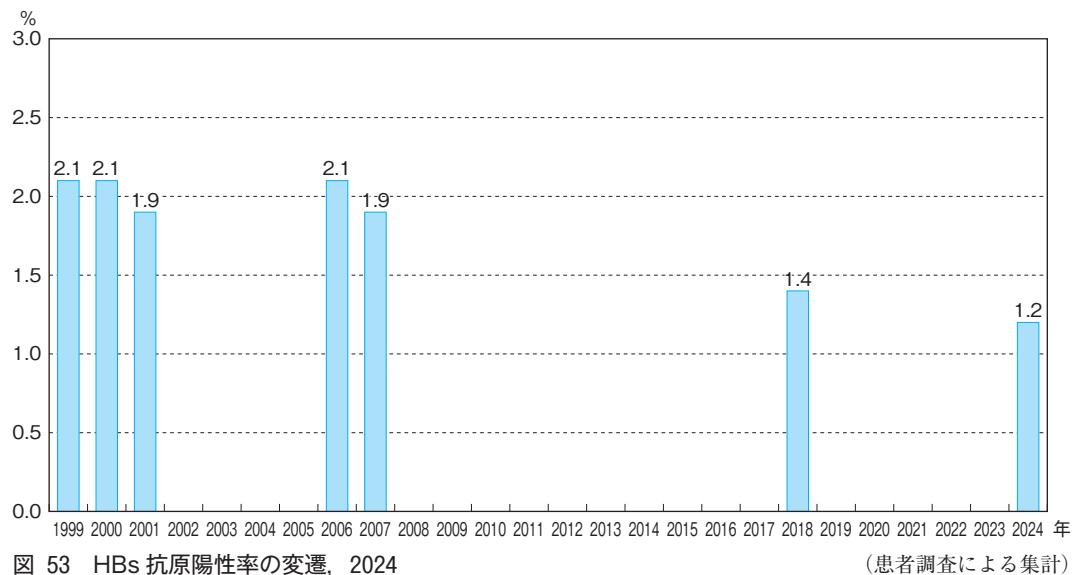
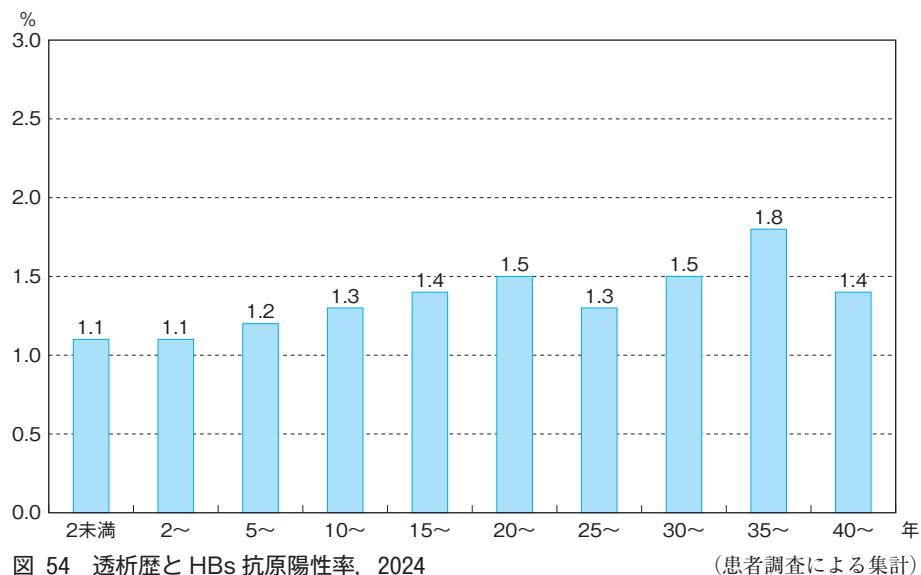
また、わが国では、B型肝炎ワクチンが1985年に認可され、医療従事者などのハイリスクグループへの接種が開始された。1986年からはワクチンとグロブリン製剤の併用による、HBVの母子感染防止事業が開始され、母子感染の減少および有病率の低下に寄与した。2016年よりB型肝炎ワクチンはユニバーサルワクチネーションとなり、乳児の定期接種となった。ユニバーサルワクチネーションは、接種対象となる小児のHBV感染を防ぐだけでなく、小児から大人への感染を防ぐ効果も期待できる。これによりB型急性肝炎数の減少や将来の有病率の低下が期待される。

わが国におけるHBVキャリアの数は年々減少傾向にあり、とくに若年でのキャリア率が非常に低くなっている。

2) HBV関連検査の陽性率

HBs抗原については269,988人から回答があり、陽性者は3,217人で陽性率は1.2%（補足表55）。HBs抗体は155,318人から回答があり、陽性者は23,131人で陽性率は14.9%（補足表56）。HBc抗体は89,098人から回答があり、陽性者は13,434人で陽性率は15.1%であった（補足表57）。

「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン（六訂版）」では、すべての透析患者に6か月に1回のHBs抗原、HBs抗体、HBc抗体の測定を推奨しているが、HBs抗原に比べてHBs抗体、HBc抗体の順に測定数が少なくなっている。

図 53 HBs 抗原陽性率の変遷、2024
(患者調査による集計)図 54 透析歴と HBs 抗原陽性率、2024
(患者調査による集計)

3) HBs 抗原陽性率の変遷

1999年から2024年まで、調査年のHBs抗原陽性率の変遷を示した（図53）。2007年までは2.0%前後で推移していたが、2018年に1.4%、2024年には1.2%まで低下している。透析患者におけるHBs抗原陽性率の変遷で示した陽性率の減少は、一般人口でのHBVキャリア減少と同様である。

4) 透析歴とHBs抗原陽性率

2024年調査のHBs抗原陽性率は、透析導入から2年未満、5年未満では1.1%，その後は徐々に陽性率は上昇している（図54、補足表55）。導入期は一般人口のキャリア数、とくに導入平均年齢である70歳前後のHBs抗原陽性率の影響を受けている。その後、透析歴が長い集団では約1.5%程度まで陽性率は上昇するが、導入期であった年代の陽性率の高さを反映している。

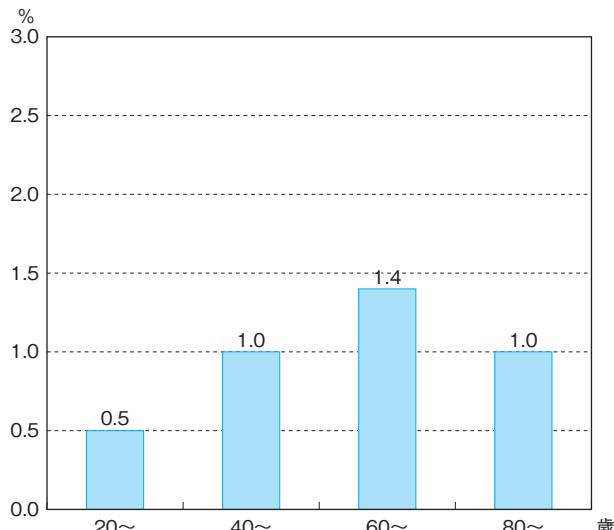


図 55 年齢と HBs 抗原陽性率, 2024
(患者調査による集計)

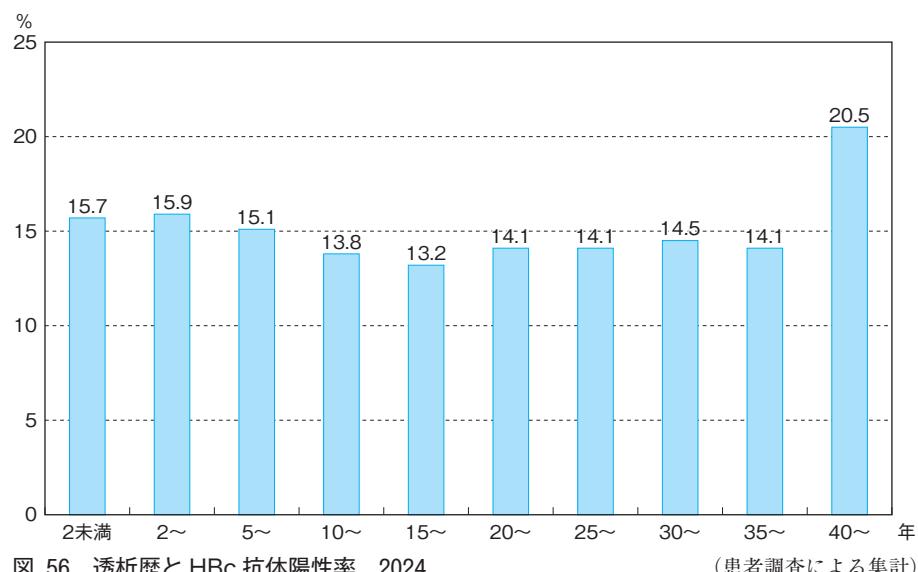


図 56 透析歴と HBc 抗体陽性率, 2024
(患者調査による集計)

5) 年齢と HBs 抗原陽性率

20歳未満は症例数が少ないとから除外し、20歳以上での陽性率を示した。HBs抗原陽性率は、年齢20歳以上40歳未満では0.5%と低く、60歳以上80歳未満で1.4%まで上昇、80歳以上1.0%であった（図55、補足表58）。これは一般人口の若年層キャリアが少ないことを反映している。現在、透析患者のHBs抗原陽性率は一般人口に近づいてきている。

6) 透析歴と HBc 抗体陽性率

HBc抗体陽性率は、透析歴40年以上で高率であるが、それ以外の透析歴では13~16%程度で推移している（図56、補足表57）。前述のように、HBVの輸血製剤のスクリーニングは1972年より開始されており、それ以前に透析を施行していた透析歴50年以上の患者が、透析歴40年以上の群に含まれているためである。また、透析歴が短い患者でのHBc抗体陽性率が高率である原因は、導入患者の年齢が高齢化しており、60歳以上のHBc抗体陽性率を反映していると考えられた。

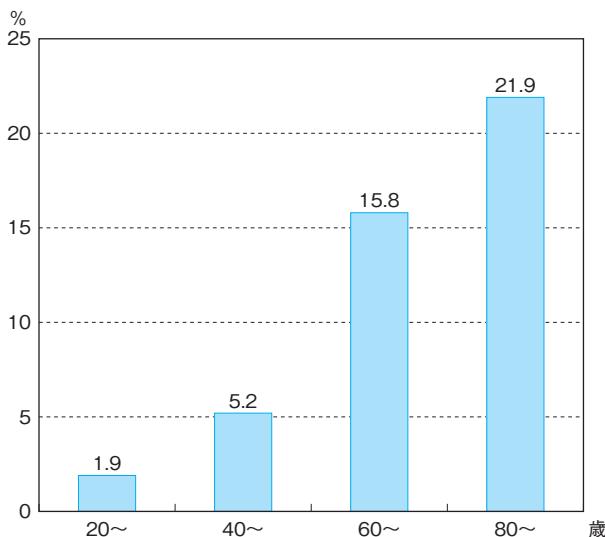


図 57 年齢と HBc 抗体陽性率、2024
(患者調査による集計)

7) 年齢と HBc 抗体陽性率

20歳未満は症例数が少ないとから除外し、20歳以上でのHBc抗体の陽性率を示した。40歳未満では1.9%と陽性率は低く、年代とともに陽性率は上昇、80歳以上では21.9%と高率であった（図57、補足表59）。

一般人口と同様に20歳以上40歳未満での陽性率は低率であるが、60歳以上（1964年のHBVが発見される以前）、52歳以上（1972年の輸血製剤のスクリーニング開始以前）が含まれる年代では、陽性率は高率となっている。

3. HCV

1) HCVの背景

調査結果を理解するためには、検査方法の意味やHCVの歴史を理解する必要がある。

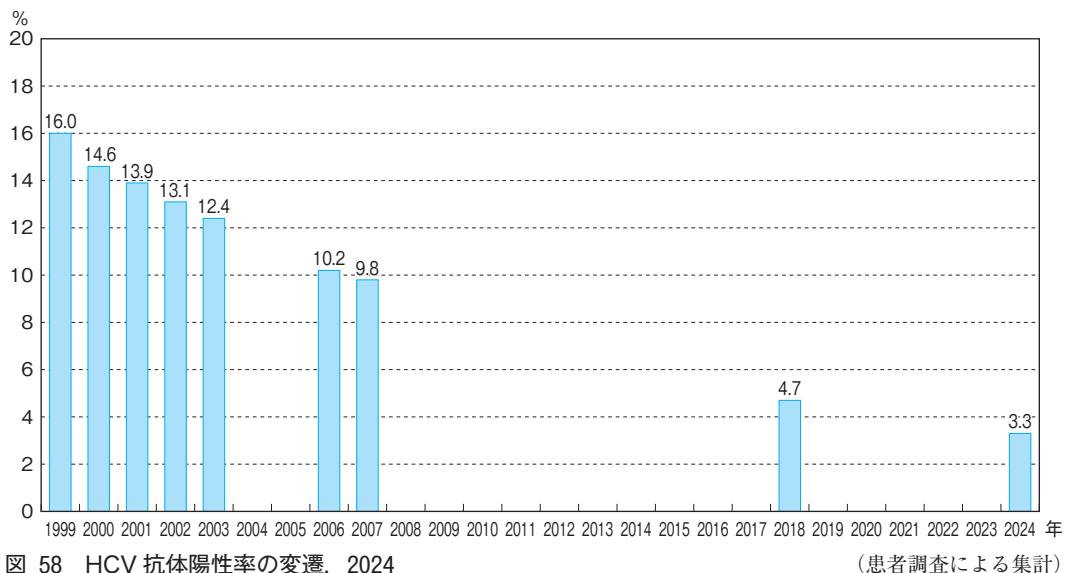
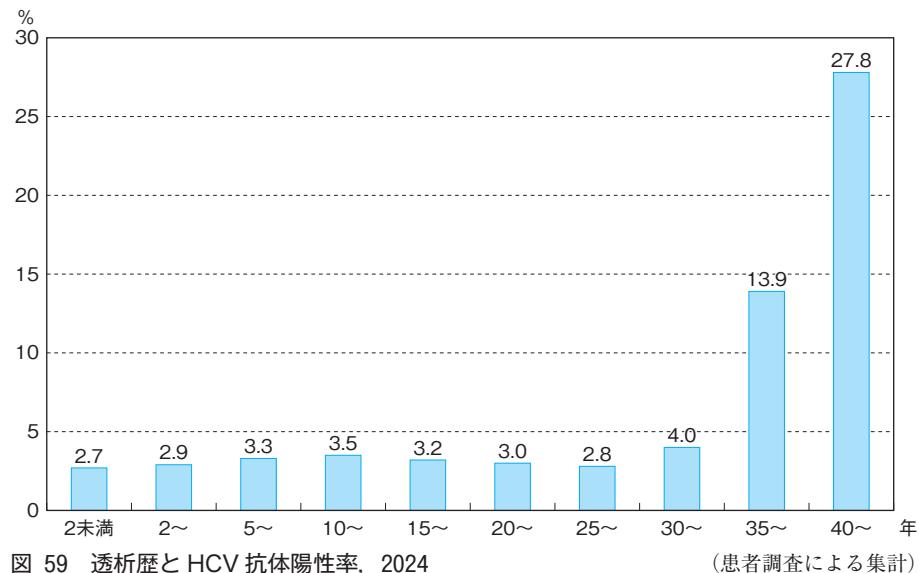
一般人口におけるHCVキャリア（持続感染者）は、約40～100万人と推定されている。わが国の総人口から計算すると、HCVキャリアは0.3～0.8%となる。

HCV抗体が陽性であれば、過去にHCVに感染したことがあることを意味する。ただし、HCV抗体陽性であるからといってキャリア（持続感染）というわけではない。透析患者でも、HCV感染後に20～30%の患者は自然治癒し、70～80%の患者がHCVキャリアに移行する。HCV抗体陽性患者には、HCV RNA検査を行いウイルスの有無を確認する必要がある。そして、HCV RNA検査が陽性であれば、現在HCVに感染しているキャリアと診断する。

1989年にHCVが発見され、輸血製剤の抗体検査によるスクリーニングが可能となり、輸血によるHCVの新規感染は激減した。また、1990年にエリスロポエチン製剤が保険適用となり、腎性貧血に対して輸血を施行する機会はほとんどなくなった。このことから、輸血後肝炎としてのHCVはほぼなくなり、透析患者のHCV抗体陽性率は経年的に減少している。

わが国では1992年にC型慢性肝炎に対して従来型インターフェロン(interferon: IFN)が保険適用となり、2001年にIFN+リバビリン併用療法、2003年にペグインターフェロン(Peg-IFN)単独療法、2004年にPeg-IFN+リバビリン併用療法が保険適用となり、治癒率は向上した。しかし、透析患者ではリバビリンの使用が禁忌であったため、治療にはPeg-IFN単独療法が施行されていた。

2014年より、IFNを必要とせず、大きな副作用なく、経口薬のみで治療が可能な、直接作用型抗ウイルス薬(direct acting antiviral: DAA)が保険適用となったことから、HCV感染しているすべての透析患者が治療可能となり、透析患者でも治癒を目指せるようになった。

図 58 HCV 抗体陽性率の変遷, 2024
(患者調査による集計)図 59 透析歴と HCV 抗体陽性率, 2024
(患者調査による集計)

2) HCV 抗体陽性率の変遷

1999年から2024年まで、調査年のHCV抗体陽性率の変遷を示した(図58)。2024年調査のHCV抗体は266,716人から回答があり、陽性者は8,746人で陽性率は3.3%と年々減少傾向であった(補足表60)。

3) 透析歴と HCV 抗体陽性率

透析歴とHCV抗体陽性率では、透析導入2年未満から25年まで、全体の平均と同程度の3%前後で経過し、35年以上で急激に高率となる(図59、補足表60)。透析歴35年以上の患者では、輸血製剤のスクリーニングやエリスロポエチン製剤が保険適用になる前から透析を開始していることから、当時の貧血治療としての輸血による輸血後肝炎の影響で、抗体陽性率が非常に高いと考えられる。ただし、透析導入から2年未満でも抗体陽性率は2.7%と高率であり、導入前であるCKD期のHCV抗体陽性率が高い可能性、導入平均年齢である70歳前後のHCV抗体陽性率が高いことなどが原因と考えられる。

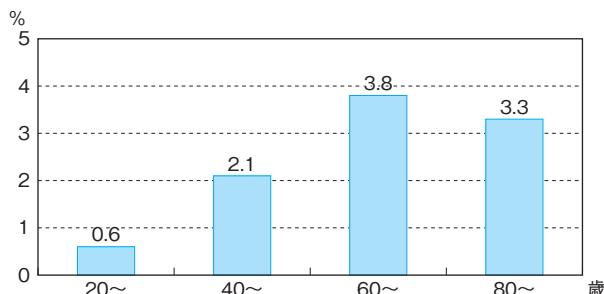


図 60 年齢と HCV 抗体陽性率、2024
(患者調査による集計)

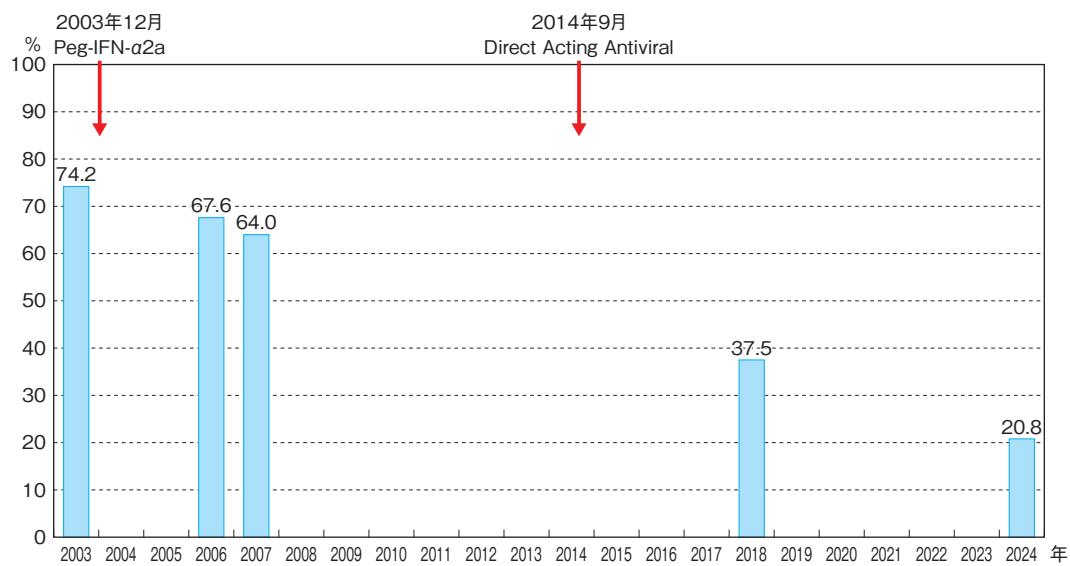


図 61 HCV 抗体陽性患者における HCV RNA 陽性率の変遷、2024
(患者調査による集計)

4) 年齢と HCV 抗体陽性率

20歳未満は症例数が少ないとから除外し、20歳以上での陽性率を示した。HCV 抗体陽性率は、一般人口では年齢とともに上昇するが、透析患者においても、20歳以上40歳未満のHCV 抗体陽性率は0.6%と低率で、その後、年齢とともに上昇傾向にあった（図60、補足表61）。

5) HCV 抗体陽性者における HCV RNA 陽性率の変遷

HCV 抗体陽性者における HCV RNA 陽性率は、HCV 抗体と HCV RNA をともに測定している患者を対象として、HCV RNA 陽性者/HCV 抗体陽性者 × 100 (%) で計算した。以下、HCV RNA/HCV 抗体と記載する（図61、補足表62）。

HCV 抗体陽性者における HCV RNA 陽性率から、透析患者に対する抗ウイルス療法の施行状況を推定できる。透析患者が無治療である場合、HCV RNA/HCV 抗体は75%程度となる。2003年のPeg-IFN 単独療法が登場するまで、HCV 感染透析患者の治療はあまり施行されていなかった。このため、2003年のHCV RNA/HCV 抗体は74.2%であったが、2007年には64.0%まで低下した。しかし、Peg-IFN は週1回の皮下注射を48週間実行する必要があること、副作用が多いことから、透析患者への治療は限定的であった。2014年に経口薬のみで治療が可能なDAA が保険適用となり、通院回数減少、治療期間短縮（最短8週間）、副作用が軽微となったことから、HCV 感染透析患者への治療が著しく普及した。2024年のHCV RNA/HCV 抗体は20.8%まで低下しており、透析患者におけるHCV の撲滅は近づいている。

総 括

2024年のJRDR年次調査結果を総括すると、わが国の慢性透析患者数は337,414人で前年より6,094人減少し、3年続けて減少した。近年透析患者数増加速度が鈍化していたが、2024年も導入患者数が前年に比較して2,360人減少した一方、死亡患者数は38,348人と前年より275人増加し、初めて死亡患者数が導入患者数を上回った。粗死亡率も11.3%と上昇していることからも、COVID-19感染およびそれに伴う医療環境の変化のほか、透析患者の高齢化が影響した可能性がある。実際、透析患者の高齢化はさらに進行し、導入患者の平均年齢は70歳を超え71.69歳、年末患者の平均年齢も70.27歳であった。

原疾患においても従来の結果と同様であった。導入患者の原疾患は糖尿病が第1位、2019年以降腎硬化症が第2位となっている。腎硬化症は導入患者・年末患者とも原疾患の割合の中で増加している。一方、導入患者に占める糖尿病性腎症の割合は近年持続的に減少している。

粗死亡率は今回も11.3%と1983年の患者調査開始以来最も高率であった。死因別では、透析患者全体において今回も感染症が最も多い死因であった。

わが国の透析液の生物学的水質は非常に高く、本学会基準の遵守度も高い水準を維持している。2017年から調査が開始された化学的汚染基準については、化学的汚染物質の測定、残留塩素の測定頻度など本学会の水質基準の遵守率が徐々に向上している。

透析モダリティについてはHDF療法の持続的な増加、PDの増加など、多様化が進んでいる。わが国の特色であるPDの併用療法の比率は約20%であり、ここ数年変わりはない。

2024年調査では前年に続き、施設調査でバスキュラーアクセス管理におけるエコー使用状況、プローブヘッドの消毒状況、患者調査では新規調査として降圧薬の種類、利尿薬使用の有無と種類、家庭での血圧測定の有無、脂質関連、肝炎ウイルス関連を調査した。

施設調査において、VA穿刺時にエコーを使用する施設は60.9%ある一方で、そのうちエコーのカバーを使用しない施設が31.9%、エコープローブ消毒未施行が4.6%あり、感染対策の再確認が必要である。

患者調査において、降圧薬の使用率は腹膜透析(単独)で最も多く、次いで腹膜透析(血液透析との併用)、血液透析濾過、施設血液透析、在宅血液透析であった。割合はそれぞれ88.0%・83.6%・76.0%・74.2%・55.3%であった。降圧薬の種類については、カルシウム拮抗薬の使用率が最も多く、次いでβ遮断薬、レニン・アンジオテンシン系阻害薬、他の降圧薬、アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬、ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬であった。虚血性心疾患の既往患者においてとくにβ遮断薬の使用率が高かった。利尿薬の使用率は19.5%で、腹膜透析(単独)で最も多く、次いで腹膜透析(血液透析との併用)、施設血液透析、血液透析濾過、在宅血液透析であった。割合はそれぞれ64.7%・34.1%・19.8%・17.9%・7.0%であった。また透析歴2年未満で35.7%と最も高く、その後透析歴が長くなるほど使用頻度は減少し、40年以上で2.4%となる。家庭での血圧測定の有無について測定あるいは74.1%であった。家庭での治療が主体となる腹膜透析(単独)、在宅血液透析では、それぞれ90.5%、86.9%の患者で家庭血圧の測定が行われており、施設血液透析では71.6%にとどまった。

脂質関連について、透析患者全体の総コレステロール値の平均と標準偏差は 150.7 ± 36.5 mg/dLであった。LDL-Cは 78.1 ± 28.0 mg/dL、Non-HDL-Cは 101.2 ± 33.0 mg/dL、HDL-Cは 49.5 ± 16.6 mg/dLであった。目標値であるLDL-C120mg/dL未満は92.1%、Non-HDL-C150mg/dL未満は91.8%であった。スタチンが使用されている割合は34.0%、エゼチミブが使用されている割合は5.4%であった。中性脂肪の平均と標準偏差は 108.6 ± 70.2 mg/dLであり、ペマフィブリートの使用割合は1.0%であった。

肝炎ウイルス関連について、HBs抗原の陽性率は1.2%。HBs抗体の陽性率は14.9%。HBc抗体の陽性率は15.1%であった。HBs抗原に比べてHBs、HBc抗体の順に測定数が少なかった。HBs抗原陽性の変遷について、2007年までは2.0%前後で推移していたが、2018年に1.4%、2024年には1.2%まで低下している。透析患者におけるHBs抗原陽性率の変遷で示した陽性率の減少は、一般人口でのHBVキャリア減少と同様である。2024年調査のHBs抗原陽性率は、透析導入から2年未満、5年未満では1.1%，その後は徐々に上昇している。導入期は一般人口のキャリア数、とくに導入平均年齢である70歳前後のHBs抗原陽性率の影響を受けている。その後、透析歴が長い集団では約1.5%程度まで陽性率は上昇するが、導入期であった年代の陽性率の高さを反映している。HBs抗原は、年

齢20歳以上40歳未満では陽性率は0.5%と低く、60歳以上80歳未満で1.4%まで上昇、80歳以上1.0%であった。HBc抗体陽性率は、透析歴40年以上で高率であるが、それ以外の透析歴では13~16%程度で推移している。HBs抗体陽性率は、20歳以上40歳未満では1.9%と陽性率は低く、年代とともに陽性率は上昇し、40歳以上60歳未満で5.2%、60歳以上80歳未満で15.8%、80歳以上では21.9%と高率であった。2024年調査のHCV抗体は陽性率3.3%であり、年々減少傾向であった。透析歴とHCV抗体陽性率では、透析導入2年未満から25年以上30年未満の層では全体の平均と同程度の3%前後であるが、35年以上で急激に高率となる。HCV抗体陽性患者におけるHCV RNA陽性率は、2024年調査で20.8%まで低下していた。

今回、記載した新規調査項目の結果は、いずれも横断的検討であり、患者背景因子の調整による、より詳細な検討から、透析患者におけるこれらの疾患・病態の特徴が明確化されることが期待される。

最後に、日常診療で大変な負担があるなか、例年にもまして詳細なご回答をいただいたことに対して、各ご施設の担当者の方々に深くお礼を申し上げたい。

■地域協力員（敬称略）

(北海道) 前野七門、(北海道) 西尾妙織、(青森) 大山 力、(岩手) 阿部貴弥、(宮城) 佐藤壽伸、(秋田) 鈴木丈博、(山形) 伊東 稔、(福島) 風間順一郎、(茨城) 斎藤知栄、(栃木) 長田太助、(群馬) 安藤哲郎、(埼玉) 小川智也、(埼玉) 熊谷裕生、(千葉) 鈴木 仁、(千葉) 淩沼克彦、(東京) 安藤亮一、(東京) 阿部雅紀、(東京) 柏木哲也、(東京) 濱田千江子、(神奈川) 柴垣有吾、(神奈川) 平和伸仁、(新潟) 島田久基、(富山) 石田陽一、(石川) 横山 仁、(福井) 糸井健司、(山梨) 中島 歩、(長野) 上條祐司、(岐阜) 松岡哲平、(静岡) 加藤明彦、(静岡) 長井幸二郎、(愛知) 伊藤恭彦、(愛知) 春日弘毅、(三重) 小藪助成、(滋賀) 有村徹朗、(京都) 瀬田公一、(大阪) 林 晃正、(大阪) 山川智之、(大阪) 長沼俊秀、(兵庫) 西 慎一、(兵庫) 藤森 明、(奈良) 米田龍生、(和歌山) 山本脩人、(鳥取) 中岡明久、(島根) 神田武志、(岡山) 田邊克幸、(広島) 川合 徹、(山口) 新田 豊、(徳島) 岡田一義、(香川) 山中正人、(愛媛) 菅 政治、(高知) 大田和道、(福岡) 田村雅仁、(福岡) 満生浩司、(佐賀) 宮園素明、(長崎) 錦戸雅春、(熊本) 安達政隆、(大分) 友 雅司、(宮崎) 佐藤祐二、(鹿児島) 野崎 剛、(沖縄) 大城吉則

文献

- 1) 中井滋. 日本透析医学会統計調査の歴史. 透析会誌 2010; 43: 119-52.
- 2) 政金生人. 透析療法の動向～統計調査から見えてくるもの～. 透析会誌 2016; 49: 211-8.
- 3) 和田篤志、新田孝作、花房規男、他. WADDA system の使用法と有効活用. 透析会誌 2019; 52: 673-8.
- 4) 厚生労働省、文部科学省. 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/0000153339.pdf> (2024.11.25 最終アクセス)
- 5) 文部科学省、厚生労働省、経済産業省. 「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和4年3月10日一部改正）」
<https://www.mhlw.go.jp/content/000909926.pdf> (2024.11.25 最終アクセス)
- 6) https://center6.umin.ac.jp/cgi-open-bin/ctr/ctr_view.cgi?recptno=R000021578 (2024.11.25 最終アクセス)
- 7) 中井滋、若井建志、山縣邦弘、井関邦敏、椿原美治. わが国の慢性維持透析人口将来推計の試み. 透析会誌 2012; 45: 599-613.
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/0000153339.pdf> (2024.11.25 最終アクセス)
- 8) 新田孝作、政金生人、花房規男、他. わが国の慢性透析療法の現況（2017年12月31日現在）. 透析会誌 2018; 51: 699-766.
- 9) 秋葉隆、川西秀樹、峰島三千男、他. 透析液水質基準と血液浄化器性能評価基準 2008. 透析会誌 2008; 41: 159-67.
- 10) 峰島三千男、川西秀樹、阿瀬智暢、川崎忠行、友雅司、中元秀友. 2016年版透析液水質基準. 透析会誌 2016; 49: 697-725.
- 11) 内田啓子、南学正臣、阿部雅紀、他. 日本腎臓学会HIF-PH阻害薬適正使用に関するrecommendation. 日腎会誌 2020; 62: 711-6.
- 12) 社団法人日本透析医学会. 血液透析患者における心血管合併症の評価と治療に関するガイドライン. 透析会誌 2011; 44: 337-425.
- 13) Iseki K, Yamazato M, Tozawa M, Takishita S. Hypocholesterolemia is a significant predictor of death in a cohort of chronic hemodialysis patients. Kidney Int 2002; 61: 1887-93.
- 14) Shoji T, Masakane I, Watanabe Y, Iseki K, Tsubakihara Y; Committee of Renal Data Registry, Japanese Society for

Dialysis Therapy. Elevated non-high-density lipoprotein cholesterol (non-HDL-C) predicts atherosclerotic cardiovascular events in hemodialysis patients. Clin J Am Soc Nephrol 2011; 6: 1112-20.

- 15) Mason NA, Bailie GR, Satayathum S, et al. HMG-coenzyme a reductase inhibitor use is associated with mortality reduction in hemodialysis patients. Am J Kidney Dis 2005; 45: 119-26.
- 16) <https://www.jsdt.or.jp/info/4109.html> (2025.12.8 最終アクセス)

補足表

補足表1 慢性透析患者数（1968-2024）と有病率（人口100万対比、1983-2024）および透析コンソール台数（1966-2024）の推移

※4月 ★8月

年	1966 /12	1968	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	
透析コンソール台数	48	105★	206★	606	1,575	3,022	4,986	5,515	7,246	9,204	10,545	12,569	16,519	18,963	21,032	22,939	
慢性透析患者数	-	215*	301*	949	1,826	3,631	6,148	9,245	13,059	18,010	22,579	27,048	32,331	36,397	42,223	47,978	
年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999
透析コンソール台数	24,474	26,558	28,715	30,846	33,527	36,447	34,099	40,723	45,682	49,650	53,262	58,561	59,715	63,742	66,880	69,733	75,448
慢性透析患者数	53,017	59,811	66,310	73,537	80,553	88,534	83,221	103,296	116,303	123,926	134,298	143,709	154,413	167,192	175,988	185,322	197,213
人口100万人対患者数	443.7	497.5	547.8	604.4	658.8	721.1	790.0	835.7	937.6	995.8	1,076.4	1,149.4	1,229.7	1,328.4	1,394.9	1,465.2	1,556.7
年	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
透析コンソール台数	79,709	83,914	89,070	92,710	97,366	100,552	104,382	108,583	111,998	114,979	118,622	121,863	125,003	128,150	131,555	133,538	135,211
慢性透析患者数	206,134	219,183	229,538	237,710	248,166	257,765	264,473	275,242	283,421	290,661	298,252	304,856	310,007	314,438	320,448	324,986	329,609
人口100万人対患者数	1,624.1	1,721.9	1,801.2	1,862.7	1,943.5	2,017.6	2,069.9	2,154.2	2,219.6	2,279.5	2,329.1	2,385.4	2,431.1	2,470.1	2,521.6	2,557.0	2,596.7
年	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024									
透析コンソール台数	137,248	139,887	141,520	143,772	145,821	147,358	150,354	148,339									
慢性透析患者数	334,505	339,841	344,640	347,671	349,700	347,474	343,508	337,414									
人口100万人対患者数	2,640.0	2,687.7	2,731.6	2,754.3	2,786.4	2,781.0	2,762.4	2,725.4									

(施設調査による集計)

補足表2 導入患者数と死亡患者数および慢性透析患者数の推移、1983-2024

年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999
年間導入患者数	11,348	12,606	13,416	14,175	14,699	16,470	14,174	18,411	20,877	22,475	23,874	24,296	26,398	28,409	28,870	29,641	31,483
年間死亡者数	4,538	5,000	5,770	6,296	6,581	7,765	6,766	8,939	9,722	11,621	12,143	13,187	14,406	15,174	16,102	16,687	18,524
慢性透析患者数	53,017	59,811	66,310	73,537	80,553	88,534	83,221	103,296	116,303	123,926	134,298	143,709	154,413	167,192	175,988	185,322	197,213
年	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
年間導入患者数	32,018	33,243	33,710	33,966	35,084	36,063	36,373	36,934	38,180	37,566	37,512	38,613	38,055	38,095	38,327	39,462	39,344
年間死亡者数	18,938	19,850	20,614	21,672	22,715	23,983	24,034	25,253	27,266	27,646	28,882	30,743	30,710	30,751	30,707	31,068	31,790
慢性透析患者数	206,134	219,183	229,538	237,710	248,166	257,765	264,473	275,242	283,421	290,661	298,252	304,856	310,007	314,438	320,448	324,986	329,609
年	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024									
年間導入患者数	40,959	40,468	40,885	40,744	40,511	39,683	38,764	36,404									
年間死亡者数	32,532	33,863	34,642	34,414	36,156	38,464	38,073	38,348									
慢性透析患者数	334,505	339,841	344,640	347,671	349,700	347,474	343,508	337,414									

(施設調査による集計)

補足表3 HD・HDF患者数の推移、2009-2024

治療方法	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
施設血液透析	253,807	262,973	270,072	268,275	264,211	255,641	248,725	233,704	218,760	194,479	180,111	165,336	153,564	137,546	122,763	106,897
On-line HDF (%)	6,852 (40.7)	4,829 (32.5)	4,890 (34.6)	14,069 (64.8)	23,536 (75.0)	36,090 (83.4)	44,527 (82.8)	59,116 (79.0)	70,604 (76.8)	86,231 (70.9)	98,934 (70.3)	111,609 (70.0)	120,316 (70.5)	128,364 (69.0)	134,704 (68.3)	139,222 (67.5)
Off-line HDF (%)	9,299 (55.2)	9,421 (63.4)	8,573 (60.7)	7,157 (32.9)	7,149 (22.8)	6,315 (14.6)	5,332 (9.9)	4,637 (6.2)	3,961 (4.3)	3,514 (2.9)	2,913 (2.1)	2,355 (1.5)	1,938 (1.1)	1,454 (0.8)	1,126 (0.6)	973 (0.5)
Push/Pull HDF (%)	237 (1.4)	159 (1.1)	145 (1.0)	109 (0.5)	263 (0.8)	537 (1.2)	110 (0.2)	66 (0.1)	36 (0.0)	45 (0.0)	36 (0.0)	138 (0.1)	16 (0.0)	7 (0.0)	8 (0.0)	106 (0.1)
AFBF (%)	465 (2.8)	458 (3.1)	507 (3.6)	390 (1.8)	423 (1.3)	341 (0.8)	267 (0.5)	252 (0.3)	242 (0.3)	163 (0.1)	150 (0.1)	133 (0.1)	107 (0.1)	84 (0.0)	77 (0.0)	65 (0.0)
IHDF (%)																
On-line HDFとIHDFの併用 (%)																
HDF合計 (%)	16,853 (100.0)	14,867 (100.0)	14,115 (100.0)	21,725 (100.0)	31,371 (100.0)	43,283 (100.0)	53,776 (100.0)	74,799 (100.0)	91,948 (100.0)	121,634 (100.0)	140,730 (100.0)	159,397 (100.0)	170,557 (100.0)	186,095 (100.0)	197,267 (100.0)	206,324 (100.0)
HD・HDF合計	270,660	277,840	284,187	290,000	295,582	298,924	302,501	308,503	310,708	316,113	320,841	324,733	324,121	323,641	320,030	313,221

※治療方法について 2015年～「IHDF」、2022年～「On-line HDFとIHDFの併用」の選択肢が追加された。

(患者調査による集計)

補足表4 慢性透析患者 年齢と性別、2024

年齢	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)	記載なし	総計 (%)
5歳未満	27 (0.0)	23 (0.0)	50 (0.0)	0	50 (0.0)
5歳～	12 (0.0)	15 (0.0)	27 (0.0)	0	27 (0.0)
10歳～	16 (0.0)	9 (0.0)	25 (0.0)	0	25 (0.0)
15歳～	30 (0.0)	19 (0.0)	49 (0.0)	0	49 (0.0)
20歳～	92 (0.0)	55 (0.1)	147 (0.0)	0	147 (0.0)
25歳～	331 (0.2)	142 (0.1)	473 (0.1)	0	473 (0.1)
30歳～	739 (0.3)	356 (0.3)	1,095 (0.3)	0	1,095 (0.3)
35歳～	1,839 (0.8)	745 (0.7)	2,584 (0.8)	0	2,584 (0.8)
40歳～	3,863 (1.8)	1,467 (1.4)	5,330 (1.6)	0	5,330 (1.6)
45歳～	7,977 (3.7)	2,889 (2.7)	10,866 (3.4)	0	10,866 (3.4)
50歳～	14,856 (6.8)	5,465 (5.1)	20,321 (6.3)	0	20,321 (6.3)
55歳～	19,381 (8.9)	7,345 (6.9)	26,726 (8.2)	0	26,726 (8.2)
60歳～	21,823 (10.0)	8,897 (8.4)	30,720 (9.5)	0	30,720 (9.5)
65歳～	25,447 (11.7)	11,397 (10.7)	36,844 (11.4)	0	36,844 (11.4)
70歳～	33,930 (15.6)	16,573 (15.6)	50,503 (15.6)	0	50,503 (15.6)
75歳～	37,627 (17.3)	19,193 (18.0)	56,820 (17.5)	0	56,820 (17.5)
80歳～	28,152 (12.9)	16,095 (15.1)	44,247 (13.6)	0	44,247 (13.6)
85歳～	16,066 (7.4)	10,554 (9.9)	26,620 (8.2)	0	26,620 (8.2)
90歳～	5,108 (2.3)	4,374 (4.1)	9,482 (2.9)	0	9,482 (2.9)
95歳～	658 (0.3)	728 (0.7)	1,386 (0.4)	0	1,386 (0.4)
合計	217,974 (100.0)	106,341 (100.0)	324,315 (100.0)	0	324,315 (100.0)
不明	0	0	0	0	0
記載なし	0	0	0	0	0
総計	217,974	106,341	324,315	0	324,315
平均	69.51	71.84	70.27		70.27
標準偏差	12.55	12.56	12.60		12.60

(患者調査による集計)

補足表5 慢性透析患者 平均年齢の推移、1983-2024

年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999
慢性透析患者 平均年齢	48.25	49.22	50.27	51.11	52.08	52.95	53.75	54.53	55.29	55.98	56.65	57.31	57.96	58.63	59.23	59.93	60.55
年	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
慢性透析患者 平均年齢	61.19	61.60	62.19	62.75	63.32	63.88	64.38	64.87	65.33	65.76	66.21	66.55	66.87	67.21	67.54	67.86	68.15
年	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024									
慢性透析患者 平均年齢	68.43	68.75	69.09	69.40	69.67	69.87	70.09	70.27									

(患者調査による集計)

補足表6 慢性透析患者 年齢分布の推移、1982-2024

年齢	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	
~19歳	849	683	628	527	517	587	505	438	470	606	580	576	596	579	555	546	516	473	417	388	389	
20~29歳	3,050	3,060	2,972	2,900	2,758	2,927	2,703	2,512	2,656	2,985	2,947	3,001	3,153	3,125	3,240	3,177	3,028	2,846	2,809	2,572	2,427	
30~39歳	9,378	10,191	10,790	11,490	11,695	12,285	11,089	9,782	9,611	9,913	9,426	9,340	9,123	8,984	8,842	8,934	8,857	8,541	8,953	8,910	8,896	
40~49歳	10,668	12,030	13,399	14,609	15,493	18,495	19,671	20,011	22,088	25,169	25,751	26,510	27,355	28,420	29,267	28,019	26,087	23,958	23,371	22,601	21,895	
50~59歳	9,835	11,783	13,512	15,648	17,418	21,196	22,221	22,254	25,259	30,444	32,392	35,043	37,711	39,047	41,068	43,463	46,401	48,113	51,868	53,261	54,600	
60~64歳	3,346	4,101	5,086	6,094	6,931	8,943	9,922	10,496	12,296	15,045	16,596	18,069	20,056	21,817	23,550	25,052	25,838	25,965	28,155	29,890	31,358	
65~69歳	2,633	3,107	3,628	4,469	5,066	6,382	7,177	7,837	9,388	12,060	13,566	15,612	17,600	19,572	21,635	23,484	25,160	26,208	29,022	30,473	32,733	
70~74歳	1,657	2,232	2,788	3,437	3,975	4,899	5,339	5,497	6,669	8,370	9,371	10,756	12,450	14,016	16,277	18,597	20,607	22,066	25,001	26,212	28,638	
75~79歳	668	955	1,258	1,662	2,021	2,896	3,377	3,853	4,608	5,891	6,550	7,350	8,126	9,200	10,471	11,738	13,282	14,657	16,953	18,466	20,961	
80~89歳	180	256	369	541	725	1,179	1,430	1,730	2,384	3,252	3,872	4,787	6,003	7,052	8,366	9,344	10,650	11,679	13,978	15,034	16,785	
90歳~	2	4	10	12	14	43	52	62	68	92	124	181	219	313	354	473	599	724	933	984	1,284	
年齢	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
~19歳	308	274	253	227	232	215	215	179	183	215	210	226	207	188	171	156	155	143	154	170	152	151
20~29歳	2,246	2,039	1,842	1,653	1,571	1,454	1,346	1,260	1,221	1,119	1,027	928	866	816	834	777	716	705	668	649	647	620
30~39歳	8,860	8,681	8,228	8,371	8,235	7,960	7,687	7,312	7,009	6,674	6,251	5,789	5,459	5,206	4,891	4,721	4,458	4,352	4,235	4,079	3,835	3,679
40~49歳	21,227	20,454	19,798	19,530	20,203	20,385	20,690	20,999	21,360	21,534	21,837	21,901	21,674	22,365	21,842	21,459	21,034	20,384	19,437	18,444	17,331	16,196
50~59歳	55,504	55,390	55,779	56,711	55,424	52,730	49,874	47,261	45,802	44,593	43,933	43,263	43,064	43,195	44,003	44,661	45,472	46,539	46,953	47,366	47,566	47,047
60~64歳	33,417	34,975	33,666	33,492	36,939	39,849	42,982	46,894	48,955	47,162	44,032	40,352	37,925	36,197	34,129	33,453	32,708	31,840	31,427	31,459	30,905	30,720
65~69歳	33,747	34,759	35,290	37,469	39,521	41,922	43,932	43,160	42,203	45,664	49,118	52,259	55,981	58,289	55,199	52,064	48,274	45,558	42,883	40,395	38,703	36,844
70~74歳	30,564	32,198	33,966	35,862	38,861	40,096	41,173	42,638	44,581	45,430	47,622	49,367	47,728	47,143	50,604	54,318	58,433	62,910	64,221	60,565	55,784	50,503
75~79歳	23,248	25,272	26,767	28,552	31,638	33,565	35,605	37,951	39,700	41,255	41,937	42,251	43,032	45,215	46,053	48,836	51,316	49,961	48,330	51,916	54,782	56,820
80~89歳	18,714	20,639	22,765	25,663	29,090	32,133	35,174	38,028	40,681	43,578	46,210	48,746	51,716	54,398	57,116	59,392	61,872	65,505	68,336	69,489	70,778	70,867
90歳~	1,550	1,824	2,100	2,363	2,636	2,924	3,301	3,762	4,036	4,314	4,736	5,005	5,560	6,095	6,674	7,499	8,161	8,862	9,535	10,121	10,556	10,868

(患者調査による集計)

補足表7 慢性透析患者 透析歴と性別、2024

透析歴	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)	記載なし	総計 (%)
5年未満	103,166 (47.4)	44,468 (41.8)	147,634 (45.6)	0	147,634 (45.6)
5年~	58,907 (27.0)	27,037 (25.4)	85,944 (26.5)	0	85,944 (26.5)
10年~	27,534 (12.6)	14,189 (13.4)	41,723 (12.9)	0	41,723 (12.9)
15年~	13,088 (6.0)	7,994 (7.5)	21,082 (6.5)	0	21,082 (6.5)
20年~	7,000 (3.2)	5,165 (4.9)	12,165 (3.8)	0	12,165 (3.8)
25年~	4,064 (1.9)	3,404 (3.2)	7,468 (2.3)	0	7,468 (2.3)
30年~	2,255 (1.0)	2,098 (2.0)	4,353 (1.3)	0	4,353 (1.3)
35年~	1,072 (0.5)	1,112 (1.0)	2,184 (0.7)	0	2,184 (0.7)
40年~	743 (0.3)	796 (0.7)	1,539 (0.5)	0	1,539 (0.5)
合計	217,829 (100.0)	106,263 (100.0)	324,092 (100.0)	0	324,092 (100.0)
不明	143	78	221	0	221
記載なし	2	0	2	0	2
総計	217,974	106,341	324,315	0	324,315
平均	7.03	8.59	7.54		7.54
標準偏差	7.24	8.68	7.78		7.78

(患者調査による集計)

最長透析歴	54年1か月
-------	--------

補足表8 慢性透析患者 透析歴分布の推移、1988-2024

透析歴	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	
～4年	47,087	46,617	52,327	63,584	65,835	71,547	77,690	82,757	89,049	93,402	97,230	99,120	106,993	107,803	113,075	117,116	120,159	121,803	
5～9年	22,423	22,238	24,472	27,709	29,775	31,340	33,162	35,145	37,524	39,781	42,163	43,365	47,792	50,888	53,766	56,169	58,357	59,295	
10～14年	11,783	12,285	13,704	15,418	16,438	17,102	18,228	18,934	19,820	20,604	21,052	21,150	22,826	24,050	25,376	26,710	27,738	28,550	
15～19年	2,441	3,485	5,089	6,974	8,429	9,479	10,436	11,142	11,755	12,193	12,600	12,594	13,199	13,765	14,206	14,463	14,453	14,605	
20～24年	28	95	242	566	1,170	2,001	3,035	4,202	5,364	6,308	6,952	7,342	8,024	8,450	8,765	8,992	9,034	8,838	
25年～	0	0	0	2	8	23	75	193	448	874	1,485	2,114	3,076	4,080	5,008	5,996	6,865	7,422	
透析歴	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
～4年	124,576	130,708	133,827	136,934	139,371	141,076	143,360	145,064	146,085	148,017	150,706	152,416	155,367	158,123	159,691	158,720	156,421	152,936	147,634
5～9年	62,117	66,076	68,617	71,251	73,320	75,073	75,991	77,197	77,862	77,801	79,145	79,590	81,119	82,416	84,239	84,961	85,766	86,165	85,944
10～14年	30,318	32,270	33,696	35,074	36,338	37,588	38,547	39,490	40,032	40,060	40,556	40,397	40,868	41,413	41,750	41,479	41,853	41,925	41,723
15～19年	15,419	16,472	17,265	18,111	18,852	19,534	20,238	20,874	21,213	21,555	22,094	22,239	22,358	22,380	22,275	21,996	21,702	21,499	21,082
20～24年	9,252	9,603	9,815	9,876	10,335	10,629	11,015	11,421	11,802	12,031	12,484	12,536	12,746	12,952	13,088	13,069	13,004	12,615	12,165
25年～	8,275	9,227	10,017	10,750	11,233	11,835	12,307	12,766	13,028	13,360	13,829	14,133	14,596	15,016	15,484	15,701	15,630	15,702	15,544

(患者調査による集計)

補足表9 慢性透析患者 原疾患と性別、2024

原疾患	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)	記載なし	総計 (%)
慢性糸球体腎炎	45,783 (21.0)	28,675 (27.0)	74,458 (23.0)	0	74,458 (23.0)
慢性腎孟腎炎	756 (0.3)	765 (0.7)	1,521 (0.5)	0	1,521 (0.5)
間質性腎炎	485 (0.2)	628 (0.6)	1,113 (0.3)	0	1,113 (0.3)
急速進行性糸球体腎炎	1,582 (0.7)	1,708 (1.6)	3,290 (1.0)	0	3,290 (1.0)
その他の分類不能の腎炎	763 (0.4)	524 (0.5)	1,287 (0.4)	0	1,287 (0.4)
多発性囊胞腎	6,843 (3.1)	5,498 (5.2)	12,341 (3.8)	0	12,341 (3.8)
遺伝性疾患	788 (0.4)	436 (0.4)	1,224 (0.4)	0	1,224 (0.4)
腎硬化症	32,709 (15.0)	14,170 (13.3)	46,879 (14.5)	0	46,879 (14.5)
悪性高血圧	2,141 (1.0)	834 (0.8)	2,975 (0.9)	0	2,975 (0.9)
妊娠高血圧症候群	0 (0.0)	1,029 (1.0)	1,029 (0.3)	0	1,029 (0.3)
糖尿病性腎症	93,434 (42.9)	33,792 (31.8)	127,226 (39.2)	0	127,226 (39.2)
自己免疫性疾患に伴う腎炎	588 (0.3)	1,199 (1.1)	1,787 (0.6)	0	1,787 (0.6)
アミロイドーシスによる腎障害	188 (0.1)	210 (0.2)	398 (0.1)	0	398 (0.1)
痛風腎	782 (0.4)	137 (0.1)	919 (0.3)	0	919 (0.3)
腎・尿路結核	43 (0.0)	54 (0.1)	97 (0.0)	0	97 (0.0)
ウイルス感染症に伴う腎疾患	122 (0.1)	59 (0.1)	181 (0.1)	0	181 (0.1)
腎・尿路結石	398 (0.2)	221 (0.2)	619 (0.2)	0	619 (0.2)
腎・尿路腫瘍	889 (0.4)	256 (0.2)	1,145 (0.4)	0	1,145 (0.4)
閉塞性尿路障害・排尿障害	635 (0.3)	238 (0.2)	873 (0.3)	0	873 (0.3)
パラプロテイン血症(骨髄腫等)	137 (0.1)	94 (0.1)	231 (0.1)	0	231 (0.1)
急性腎障害	531 (0.2)	344 (0.3)	875 (0.3)	0	875 (0.3)
外因性腎障害	463 (0.2)	246 (0.2)	709 (0.2)	0	709 (0.2)
先天性腎尿路異常	391 (0.2)	224 (0.2)	615 (0.2)	0	615 (0.2)
原疾患不明	19,770 (9.1)	10,601 (10.0)	30,371 (9.4)	0	30,371 (9.4)
移植後再導入	1,396 (0.6)	806 (0.8)	2,202 (0.7)	0	2,202 (0.7)
その他	6,342 (2.9)	3,585 (3.4)	9,927 (3.1)	0	9,927 (3.1)
合計	217,959 (100.0)	106,333 (100.0)	324,292 (100.0)	0	324,292 (100.0)
記載なし	15	8	23	0	23
総計	217,974	106,341	324,315	0	324,315

(患者調査による集計)

補足表 10 慢性透析患者 原疾患割合の推移、1983-2024

原疾患	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999
糖尿病性腎症	7.4	8.4	9.4	10.5	11.7	12.8	14.0	14.9	16.4	17.1	18.2	19.2	20.4	21.6	22.7	24.0	25.1
慢性糸球体腎炎	74.5	72.1	72.3	70.6	69.4	67.9	65.9	64.1	61.7	60.4	58.8	57.7	56.6	55.4	54.1	52.5	51.1
腎硬化症	1.5	1.7	1.9	2.0	2.1	2.1	2.3	2.6	2.9	3.1	3.4	3.6	3.8	4.0	4.2	4.4	4.5
多発性囊胞腎	2.7	2.9	3.0	3.1	3.1	3.2	3.2	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2
慢性腎孟腎炎、間質性腎炎	3.1	3.3	2.6	2.4	2.4	2.3	2.2	2.2	2.1	2.0	1.9	1.8	1.7	1.6	1.6	1.5	1.5
急速進行性糸球体腎炎	0.5	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6
自己免疫性疾患に伴う腎炎	0.8	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	1.0	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
不明	2.2	2.3	2.3	2.5	2.6	2.5	2.6	2.6	2.9	2.9	2.9	3.1	3.2	3.6	3.9	4.2	4.4
原疾患	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
糖尿病性腎症	26.0	27.2	28.1	29.2	30.2	31.4	32.3	33.4	34.2	35.1	35.9	36.7	37.1	37.6	38.1	38.4	38.8
慢性糸球体腎炎	49.7	49.6	48.2	46.6	45.1	43.6	42.2	40.4	39.0	37.6	36.2	34.8	33.6	32.4	31.3	29.8	28.8
腎硬化症	4.8	5.0	5.1	5.3	5.7	5.9	6.2	6.5	6.8	7.1	7.5	7.9	8.3	8.7	9.1	9.5	9.9
多発性囊胞腎	3.2	3.3	3.3	3.3	3.4	3.3	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.5	3.5	3.6	3.6
慢性腎孟腎炎、間質性腎炎	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9
急速進行性糸球体腎炎	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
自己免疫性疾患に伴う腎炎	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7
不明	5.0	5.6	5.9	6.3	6.4	6.6	7.0	7.4	7.6	7.7	8.0	8.2	8.5	8.7	8.9	9.5	9.8
原疾患	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024									
糖尿病性腎症	39.0	39.0	39.1	39.5	39.6	39.5	39.5	39.2									
慢性糸球体腎炎	27.8	26.8	25.7	25.3	24.6	24.0	23.4	23.0									
腎硬化症	10.3	10.8	11.4	12.1	12.8	13.4	14.0	14.5									
多発性囊胞腎	3.6	3.6	3.6	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8									
慢性腎孟腎炎、間質性腎炎	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8									
急速進行性糸球体腎炎	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0									
自己免疫性疾患に伴う腎炎	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6									
不明	10.2	10.7	11.1	10.2	9.7	9.5	9.4	9.4									

(患者調査による集計)

補足表 11 慢性透析患者 死亡原因と性別、2024

死因	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)	記載なし	総計 (%)
心不全	4,633 (18.7)	2,296 (19.7)	6,929 (19.0)	0	6,929 (19.0)
脳血管障害	1,187 (4.8)	679 (5.8)	1,866 (5.1)	0	1,866 (5.1)
感染症	6,241 (25.2)	2,549 (21.8)	8,790 (24.2)	0	8,790 (24.2)
消化管出血	318 (1.3)	175 (1.5)	493 (1.4)	0	493 (1.4)
悪性腫瘍	1,968 (8.0)	721 (6.2)	2,689 (7.4)	0	2,689 (7.4)
悪液質/尿毒症/老衰等	1,503 (6.1)	1,192 (10.2)	2,695 (7.4)	0	2,695 (7.4)
心筋梗塞	842 (3.4)	309 (2.6)	1,151 (3.2)	0	1,151 (3.2)
カリウム中毒/頸死	398 (1.6)	149 (1.3)	547 (1.5)	0	547 (1.5)
肝硬変症	140 (0.6)	40 (0.3)	180 (0.5)	0	180 (0.5)
自殺/拒否	163 (0.7)	45 (0.4)	208 (0.6)	0	208 (0.6)
腸閉塞	200 (0.8)	129 (1.1)	329 (0.9)	0	329 (0.9)
血液疾患	95 (0.4)	44 (0.4)	139 (0.4)	0	139 (0.4)
肺疾患	590 (2.4)	196 (1.7)	786 (2.2)	0	786 (2.2)
災害・事故死	112 (0.5)	36 (0.3)	148 (0.4)	0	148 (0.4)
その他	2,914 (11.8)	1,675 (14.4)	4,589 (12.6)	0	4,589 (12.6)
不明	3,418 (13.8)	1,433 (12.3)	4,851 (13.3)	0	4,851 (13.3)
合計	24,722 (100.0)	11,668 (100.0)	36,390 (100.0)	0	36,390 (100.0)
記載なし	23	10	33	0	33
総計	24,745	11,678	36,423	0	36,423

(患者調査による集計)

補足表 12 慢性透析患者 死亡原因割合の推移、1983-2024

死因	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
心不全	30.3	30.5	31.3	33.2	32.7	36.5	33.4	30.4	30.5	31.1	29.9	28.2	25.4	24.1	23.9	24.1	24.3	23.2	25.5	25.1	25.0
感染症	11.0	11.5	11.5	12.0	12.0	12.2	11.7	11.6	12.1	11.3	12.2	12.6	13.8	14.6	14.9	15.0	16.3	16.6	16.3	15.9	18.5
脳血管障害	14.2	15.4	14.2	14.0	14.2	12.9	13.2	13.9	13.7	13.6	13.5	14.1	13.5	12.9	12.6	12.1	11.3	11.3	11.6	11.2	10.7
悪性腫瘍	7.7	6.9	6.4	6.9	5.8	6.9	7.6	8.2	7.6	7.1	7.4	7.3	7.2	7.7	8.1	7.7	7.6	8.3	8.5	8.5	8.5
心筋梗塞	5.3	4.8	5.3	6.1	6.0	5.4	5.3	5.8	5.8	5.8	5.7	7.1	7.5	7.4	8.4	7.9	7.4	7.0	7.4	7.4	6.2
死因	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
心不全	25.1	25.8	24.9	24.0	23.7	23.6	27.0	26.6	27.2	26.8	26.3	26.0	25.7	24.0	23.5	22.7	22.4	22.4	21.0	20.4	19.0
感染症	18.8	19.2	19.9	18.9	19.9	20.7	20.3	20.3	20.4	20.8	20.9	22.0	21.9	21.1	21.3	21.5	21.5	22.0	22.6	22.7	24.2
脳血管障害	10.6	9.8	9.4	8.9	8.6	8.4	8.1	7.7	7.5	7.2	7.1	6.6	6.5	6.0	6.0	5.7	5.9	5.6	5.4	5.7	5.1
悪性腫瘍	9.0	9.0	9.2	9.2	9.2	9.4	9.8	9.1	9.1	9.4	9.0	9.3	9.7	9.0	8.4	8.7	9.0	8.4	7.6	7.6	7.4
心筋梗塞	5.4	5.1	4.4	4.4	4.1	4.0	4.7	4.6	4.5	4.3	4.3	4.3	3.9	3.8	3.6	3.9	3.8	3.5	3.3	3.2	3.2

(患者調査による集計)

補足表 13 慢性透析患者 粗死亡率の推移、1983-2024

年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999
粗死亡率(%)	9.0	8.9	9.1	9.0	8.5	9.2	7.9	9.6	8.9	9.7	9.4	9.5	9.7	9.4	9.4	9.2	9.7
年	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
粗死亡率(%)	9.2	9.3	9.2	9.3	9.4	9.5	9.2	9.4	9.8	9.6	9.8	10.2	10.0	9.8	9.7	9.6	9.7
年	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024									
粗死亡率(%)	9.8	10.0	10.1	9.9	10.4	11.0	11.0	11.3									

(施設調査による集計)

補足表 14 導入患者 年齢と性別、2024

年齢	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)	記載なし	総計 (%)
5歳未満	6 (0.0)	4 (0.0)	10 (0.0)	0	10 (0.0)
5歳~	3 (0.0)	4 (0.0)	7 (0.0)	0	7 (0.0)
10歳~	7 (0.0)	4 (0.0)	11 (0.0)	0	11 (0.0)
15歳~	11 (0.0)	5 (0.0)	16 (0.0)	0	16 (0.0)
20歳~	29 (0.1)	21 (0.2)	50 (0.1)	0	50 (0.1)
25歳~	70 (0.3)	31 (0.3)	101 (0.3)	0	101 (0.3)
30歳~	138 (0.6)	57 (0.6)	195 (0.6)	0	195 (0.6)
35歳~	261 (1.1)	102 (1.0)	363 (1.1)	0	363 (1.1)
40歳~	491 (2.1)	157 (1.6)	648 (1.9)	0	648 (1.9)
45歳~	772 (3.2)	280 (2.8)	1,052 (3.1)	0	1,052 (3.1)
50歳~	1,381 (5.8)	458 (4.5)	1,839 (5.4)	0	1,839 (5.4)
55歳~	1,642 (6.9)	532 (5.3)	2,174 (6.4)	0	2,174 (6.4)
60歳~	1,807 (7.6)	623 (6.2)	2,430 (7.2)	0	2,430 (7.2)
65歳~	2,195 (9.2)	832 (8.2)	3,027 (8.9)	0	3,027 (8.9)
70歳~	3,405 (14.3)	1,326 (13.1)	4,731 (14.0)	0	4,731 (14.0)
75歳~	4,421 (18.6)	1,794 (17.7)	6,215 (18.3)	0	6,215 (18.3)
80歳~	3,933 (16.6)	1,847 (18.2)	5,780 (17.1)	0	5,780 (17.1)
85歳~	2,404 (10.1)	1,460 (14.4)	3,864 (11.4)	0	3,864 (11.4)
90歳~	700 (2.9)	511 (5.0)	1,211 (3.6)	0	1,211 (3.6)
95歳~	87 (0.4)	77 (0.8)	164 (0.5)	0	164 (0.5)
合計	23,763 (100.0)	10,125 (100.0)	33,888 (100.0)	0	33,888 (100.0)
不明	0	0	0	0	0
記載なし	0	0	0	0	0
総計	23,763	10,125	33,888	0	33,888
平均	71.03	73.26	71.69		71.69
標準偏差	13.37	13.65	13.49		13.49

(患者調査による集計)

補足表 15 導入患者 平均年齢の推移、1983-2024

年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999
導入患者 平均年齢	51.92	53.18	54.41	55.09	55.93	56.89	57.40	58.09	58.15	59.52	59.80	60.43	61.01	61.51	62.22	62.68	63.38
年	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
導入患者 平均年齢	63.78	64.24	64.68	65.35	65.76	66.20	66.40	66.81	67.24	67.31	67.79	67.84	68.45	68.67	69.04	69.20	69.40
年	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024									
導入患者 平均年齢	69.68	69.99	70.42	70.88	71.09	71.42	71.59	71.69									

(患者調査による集計)

補足表 16 導入患者 原疾患と性別、2024

原疾患	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)	記載なし	総計 (%)
慢性系球体腎炎	3,026 (12.7)	1,533 (15.1)	4,559 (13.5)	0	4,559 (13.5)
慢性腎盂腎炎	57 (0.2)	43 (0.4)	100 (0.3)	0	100 (0.3)
間質性腎炎	58 (0.2)	62 (0.6)	120 (0.4)	0	120 (0.4)
急速進行性系球体腎炎	255 (1.1)	248 (2.5)	503 (1.5)	0	503 (1.5)
その他の分類不能の腎炎	61 (0.3)	46 (0.5)	107 (0.3)	0	107 (0.3)
多発性囊胞腎	519 (2.2)	340 (3.4)	859 (2.5)	0	859 (2.5)
遺伝性疾患	78 (0.3)	60 (0.6)	138 (0.4)	0	138 (0.4)
腎硬化症	4,663 (19.6)	1,810 (17.9)	6,473 (19.1)	0	6,473 (19.1)
悪性高血圧	191 (0.8)	70 (0.7)	261 (0.8)	0	261 (0.8)
妊娠高血圧症候群	0 (0.0)	17 (0.2)	17 (0.1)	0	17 (0.1)
糖尿病性腎症	9,530 (40.1)	3,222 (31.8)	12,752 (37.6)	0	12,752 (37.6)
自己免疫性疾患に伴う腎炎	65 (0.3)	110 (1.1)	175 (0.5)	0	175 (0.5)
アミロイドーシスによる腎障害	32 (0.1)	33 (0.3)	65 (0.2)	0	65 (0.2)
痛風腎	44 (0.2)	12 (0.1)	56 (0.2)	0	56 (0.2)
腎・尿路結核	2 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.0)	0	2 (0.0)
ウイルス感染症に伴う腎疾患	31 (0.1)	13 (0.1)	44 (0.1)	0	44 (0.1)
腎・尿路結石	49 (0.2)	12 (0.1)	61 (0.2)	0	61 (0.2)
腎・尿路腫瘍	149 (0.6)	39 (0.4)	188 (0.6)	0	188 (0.6)
閉塞性尿路障害・排尿障害	72 (0.3)	27 (0.3)	99 (0.3)	0	99 (0.3)
パラプロテイン血症(骨髄腫等)	35 (0.1)	22 (0.2)	57 (0.2)	0	57 (0.2)
急性腎障害	240 (1.0)	148 (1.5)	388 (1.1)	0	388 (1.1)
外因性腎障害	100 (0.4)	54 (0.5)	154 (0.5)	0	154 (0.5)
先天性腎尿路異常	21 (0.1)	12 (0.1)	33 (0.1)	0	33 (0.1)
原疾患不明	3,524 (14.8)	1,688 (16.7)	5,212 (15.4)	0	5,212 (15.4)
移植後再導入	125 (0.5)	76 (0.8)	201 (0.6)	0	201 (0.6)
その他	832 (3.5)	425 (4.2)	1,257 (3.7)	0	1,257 (3.7)
合計	23,759 (100.0)	10,122 (100.0)	33,881 (100.0)	0	33,881 (100.0)
記載なし	4	3	7	0	7
総計	23,763	10,125	33,888	0	33,888

(患者調査による集計)

補足表17 導入患者 原疾患割合の推移、1983-2024

原疾患	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999
糖尿病性腎症	15.6	17.4	19.6	21.3	22.1	24.3	26.5	26.2	28.1	28.4	29.9	30.7	31.9	33.1	33.9	35.7	36.2
慢性系球体腎炎	60.5	58.7	56.0	54.8	54.2	49.9	47.4	46.1	44.2	42.2	41.4	40.5	39.4	38.9	36.6	35.0	33.6
腎硬化症	3.0	3.3	3.5	3.7	3.9	3.9	4.1	5.4	5.5	5.9	6.2	6.1	6.3	6.4	6.8	6.7	7.0
多発性囊胞腎	2.8	2.8	3.1	2.9	3.2	3.1	3.1	2.9	3.0	2.7	2.6	2.5	2.4	2.5	2.4	2.4	2.2
慢性腎孟腎炎、間質性腎炎	2.4	2.2	2.1	2	1.8	1.8	1.5	1.5	1.7	1.6	1.1	1.4	1.2	1.1	1.2	1.1	1.1
急速進行性系球体腎炎	0.9	0.7	0.9	1.0	0.8	0.9	0.8	0.7	0.6	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	1.1	0.9	0.9
自己免疫性疾患に伴う腎炎	1.1	1.1	1.1	1.2	0.9	0.9	1.0	1.1	1.3	1.3	1.2	1.2	1.1	1.3	1.0	1.1	1.2
不明	4.4	4.0	4.8	4.2	4.1	3.8	4.0	3.3	3.7	3.7	3.3	3.9	4.5	5.0	5.5	5.6	6.1
原疾患	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
糖尿病性腎症	36.6	38.1	39.1	41.0	41.3	42.0	42.9	43.4	43.3	44.5	43.6	44.3	44.2	43.8	43.5	43.7	43.2
慢性系球体腎炎	32.5	32.4	31.9	29.1	28.1	27.4	25.6	23.8	22.8	21.9	21.0	20.2	19.4	18.8	17.8	16.9	16.6
腎硬化症	7.6	7.6	7.8	8.5	8.8	9.0	9.4	10.0	10.6	10.7	11.7	11.8	12.3	13.1	14.2	14.2	14.2
多発性囊胞腎	2.4	2.3	2.4	2.3	2.7	2.3	2.4	2.3	2.5	2.3	2.4	2.5	2.5	2.5	2.7	2.6	2.6
慢性腎孟腎炎、間質性腎炎	1.0	1.1	0.9	1.0	0.9	1.0	0.8	0.8	0.7	0.7	0.8	0.7	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7
急速進行性系球体腎炎	1.0	1.0	1.1	1.2	1.1	1.1	1.2	1.3	1.2	1.2	1.2	1.3	1.3	1.4	1.4	1.3	1.3
自己免疫性疾患に伴う腎炎	0.9	1.0	0.9	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6
不明	7.6	9.0	8.4	8.8	9.3	9.5	9.9	10.2	10.6	10.7	10.7	10.9	11.0	11.3	11.3	12.2	12.8
原疾患	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024									
糖尿病性腎症	42.5	42.3	41.6	40.7	40.2	38.7	38.3	37.6									
慢性系球体腎炎	16.3	15.6	14.9	15.0	14.2	14.0	13.6	13.5									
腎硬化症	14.7	15.6	16.4	17.5	18.2	18.7	19.3	19.1									
多発性囊胞腎	2.6	2.5	2.4	2.3	2.6	2.3	2.5	2.5									
慢性腎孟腎炎、間質性腎炎	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.7	0.6	0.6									
急速進行性系球体腎炎	1.6	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5									
自己免疫性疾患に伴う腎炎	0.5	0.5	0.5	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5									
不明	13.2	13.5	13.9	13.8	13.4	15.0	14.5	15.4									

(患者調査による集計)

補足表18 導入患者 死亡原因と性別、2024

死因	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)	記載なし	総計 (%)
心不全	283 (18.2)	159 (21.2)	442 (19.2)	0	442 (19.2)
脳血管障害	60 (3.9)	29 (3.9)	89 (3.9)	0	89 (3.9)
感染症	428 (27.6)	190 (25.3)	618 (26.8)	0	618 (26.8)
消化管出血	27 (1.7)	12 (1.6)	39 (1.7)	0	39 (1.7)
悪性腫瘍	160 (10.3)	71 (9.5)	231 (10.0)	0	231 (10.0)
悪液質/尿毒症/老衰等	80 (5.2)	48 (6.4)	128 (5.6)	0	128 (5.6)
心筋梗塞	44 (2.8)	13 (1.7)	57 (2.5)	0	57 (2.5)
カリウム中毒/顛死	19 (1.2)	1 (0.1)	20 (0.9)	0	20 (0.9)
肝硬変症	21 (1.4)	4 (0.5)	25 (1.1)	0	25 (1.1)
自殺/拒否	9 (0.6)	1 (0.1)	10 (0.4)	0	10 (0.4)
腸閉塞	14 (0.9)	10 (1.3)	24 (1.0)	0	24 (1.0)
血液疾患	15 (1.0)	4 (0.5)	19 (0.8)	0	19 (0.8)
肺疾患	38 (2.5)	22 (2.9)	60 (2.6)	0	60 (2.6)
災害・事故死	1 (0.1)	0 (0.0)	1 (0.0)	0	1 (0.0)
その他	227 (14.6)	129 (17.2)	356 (15.5)	0	356 (15.5)
不明	125 (8.1)	58 (7.7)	183 (7.9)	0	183 (7.9)
合計	1,551 (100.0)	751 (100.0)	2,302 (100.0)	0	2,302 (100.0)
記載なし	0	0	0	0	0
総計	1,551	751	2,302	0	2,302

(患者調査による集計)

補足表19 導入患者 死亡原因割合の推移、1990-2024

死因	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	
心不全	32.3	33.4	32.6	32.3	30.0	26.9	22.6	23.4	24.4	23.3	22.8	26.0	24.6	23.9	23.3	24.3	22.8	
感染症	14.1	15.7	12.6	14.2	14.5	16.6	18.7	17.8	18.3	19.8	19.7	19.4	21.1	23.8	23.6	23.7	26.4	
脳血管障害	10.8	9.5	8.8	8.9	8.6	9.5	8.2	9.2	7.4	7.1	7.3	8.2	7.4	7.6	6.3	6.5	5.9	
悪性腫瘍	8.6	7.4	7.5	7.5	8.4	7.8	9.1	9.0	6.4	8.3	9.2	9.3	9.3	9.5	9.1	9.4	10.4	
心筋梗塞	3.8	4.6	4.5	3.7	5.6	5.5	5.2	6.0	5.1	5.1	4.8	5.2	5.3	4.2	3.8	3.8	3.2	
死因	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
心不全	23.2	24.1	21.8	24.9	25.0	25.5	23.8	23.8	24.7	22.1	20.8	23.5	22.0	19.9	20.5	19.0	20.2	19.2
感染症	24.2	25.2	26.1	26.5	24.5	25.7	26.0	25.8	25.8	26.4	25.9	24.0	24.2	26.3	26.2	25.9	26.0	26.8
脳血管障害	5.5	5.1	5.4	4.8	5.4	5.2	6.1	4.5	5.7	5.9	4.5	4.7	4.7	5.3	4.1	4.7	4.3	3.9
悪性腫瘍	10.3	9.8	10.4	12.5	11.6	10.6	12.1	11.4	10.9	12.2	10.8	10.9	9.7	10.9	10.1	8.8	9.4	10.0
心筋梗塞	3.5	2.8	3.5	3.0	3.5	2.8	3.0	3.3	2.8	2.9	3.2	2.7	3.1	2.8	2.5	2.8	2.1	2.5

(患者調査による集計)

補足表20 透析施設における(a)透析液ET測定頻度と(b)ET濃度、2024

ET測定値	毎日	毎週	隔週	毎月	年数回	年1回	なし	合計	不明	記載なし	総計
0.001 EU/mL 未満 (%)	28 (0.7)	177 (4.4)	204 (5.1)	3,001 (74.9)	209 (5.2)	386 (9.6)	0 (0.0)	4,005 (100.0)	0	0	4,005
0.001~0.01 EU/mL 未満 (%)	3 (1.3)	11 (4.7)	13 (5.6)	179 (76.8)	15 (6.4)	12 (5.2)	0 (0.0)	233 (100.0)	0	0	233
0.01~0.05 EU/mL 未満 (%)	0 (0.0)	2 (2.5)	7 (8.6)	61 (75.3)	4 (4.9)	7 (8.6)	0 (0.0)	81 (100.0)	0	0	81
0.05~0.1 EU/mL 未満 (%)	0 (0.0)	1 (6.3)	2 (12.5)	11 (68.8)	2 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	16 (100.0)	0	0	16
0.1~0.25 EU/mL 未満 (%)	1 (3.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	28 (90.3)	1 (3.2)	1 (3.2)	0 (0.0)	31 (100.0)	0	0	31
0.25~0.5 EU/mL 未満 (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	9 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	9 (100.0)	0	0	9
0.5 EU/mL 以上 (%)	0 (0.0)	2 (20.0)	0 (0.0)	6 (60.0)	2 (20.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	10 (100.0)	0	0	10
合計 (%)	32 (0.7)	193 (4.4)	226 (5.2)	3,295 (75.1)	233 (5.3)	406 (9.3)	0 (0.0)	4,385 (100.0)	0	0	4,385
不明 (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (20.7)	3 (10.3)	1 (3.4)	19 (65.5)	29 (100.0)	15	0	44
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (100.0)	7 (100.0)	0	0	7
総計 (%)	32 (0.7)	193 (4.4)	226 (5.1)	3,301 (74.7)	236 (5.3)	407 (9.2)	26 (0.6)	4,421 (100.0)	15	0	4,436

(施設調査による集計)
集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表21 透析施設における透析液ET測定頻度の推移、2006-2024

ET測定頻度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
月1回以上 (%)	953 (27.3)	1,153 (31.5)	1,253 (33.1)	1,373 (36.0)	2,810 (70.6)	2,914 (71.9)	3,141 (76.3)	3,238 (77.7)	3,329 (78.7)	3,424 (80.9)	3,526 (82.9)	3,601 (83.6)	3,784 (86.6)	3,804 (86.9)	3,733 (84.8)	3,763 (85.1)	3,822 (86.2)	3,776 (85.1)	3,752 (84.9)
月1回未満 (%)	2,535 (72.7)	2,511 (68.5)	2,531 (66.9)	2,436 (64.0)	1,170 (29.4)	1,137 (28.1)	977 (23.7)	929 (22.3)	900 (21.3)	809 (19.1)	728 (17.1)	704 (16.4)	587 (13.4)	575 (13.1)	667 (15.2)	657 (14.9)	614 (13.8)	663 (14.9)	669 (15.1)
合計 (%)	3,488 (100.0)	3,664 (100.0)	3,784 (100.0)	3,809 (100.0)	3,980 (100.0)	4,051 (100.0)	4,118 (100.0)	4,167 (100.0)	4,229 (100.0)	4,233 (100.0)	4,254 (100.0)	4,305 (100.0)	4,371 (100.0)	4,379 (100.0)	4,400 (100.0)	4,420 (100.0)	4,436 (100.0)	4,439 (100.0)	4,421 (100.0)
不明	185	209	244	193	92	99	77	65	69	63	63	38	15	17	22	20	16	19	15
記載なし	312	179	53	48	52	27	8	3	6	7	1	3	2	0	0	2	1	1	0
総計	3,985	4,052	4,081	4,050	4,124	4,177	4,203	4,235	4,304	4,303	4,318	4,346	4,388	4,396	4,422	4,442	4,453	4,459	4,436

(施設調査による集計)
集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表22 透析施設における透析液ET濃度の推移、2006-2024

ET濃度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
0.001 EU/mL未満 (%)	817 (29.8)	1,688 (53.0)	—	1,865 (56.1)	2,343 (62.1)	2,549 (66.0)	2,787 (70.7)	2,963 (73.9)	3,167 (77.6)	3,268 (79.5)	3,406 (82.2)	3,446 (82.3)	3,645 (84.4)	3,647 (84.2)	3,746 (86.0)	3,889 (88.7)	3,938 (89.5)	3,961 (90.0)	4,005 (91.3)
0.001 EU/mL以上 0.05 EU/mL未満 (%)	1,627 (59.2)	1,295 (40.6)	—	933 (28.1)	1,115 (29.6)	1,042 (27.0)	938 (23.8)	849 (21.2)	759 (18.6)	718 (17.5)	619 (14.9)	600 (14.3)	554 (12.8)	556 (12.8)	502 (11.5)	431 (9.8)	391 (8.9)	361 (8.2)	314 (7.2)
0.05 EU/mL以上 (%)	302 (11.0)	203 (6.4)	—	527 (15.8)	314 (8.3)	271 (7.0)	216 (5.5)	195 (4.9)	153 (3.8)	123 (3.0)	119 (2.9)	142 (3.4)	121 (2.8)	126 (2.9)	110 (2.5)	65 (1.5)	71 (1.6)	80 (1.8)	66 (1.5)
合計 (%)	2,746 (100.0)	3,186 (100.0)	—	3,325 (100.0)	3,772 (100.0)	3,862 (100.0)	3,941 (100.0)	4,007 (100.0)	4,079 (100.0)	4,109 (100.0)	4,144 (100.0)	4,188 (100.0)	4,320 (100.0)	4,329 (100.0)	4,358 (100.0)	4,385 (100.0)	4,400 (100.0)	4,402 (100.0)	4,385 (100.0)
不明	—	215	—	253	105	112	197	148	164	131	128	131	49	56	56	48	44	49	44
記載なし	1,239	651	—	472	247	203	65	80	61	63	46	27	19	11	8	9	9	8	7
総計	3,985	4,052	—	4,050	4,124	4,177	4,203	4,235	4,304	4,303	4,318	4,346	4,388	4,396	4,422	4,442	4,453	4,459	4,436

※ 2008年は単位表記をEU/L→EU/mLに変更した年。誤記入が多かったと思われるため出力せず

(施設調査による集計)
集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表23 透析施設における(a)透析液生菌数の測定頻度と(b)生菌数、2024

生菌数	毎日	毎週	隔週	毎月	年数回	年1回	なし	合計	不明	記載なし	総計
0.1 cfu/mL未満 (%)	16 (0.4)	167 (4.4)	210 (5.5)	2,799 (73.9)	205 (5.4)	393 (10.4)	0 (0.0)	3,790 (100.0)	1	0	3,791
0.1 cfu/mL～ (%)	0 (0.0)	12 (4.6)	14 (5.4)	200 (76.6)	21 (8.0)	14 (5.4)	0 (0.0)	261 (100.0)	0	0	261
1 cfu/mL～ (%)	0 (0.0)	5 (3.0)	10 (6.0)	131 (78.9)	9 (5.4)	11 (6.6)	0 (0.0)	166 (100.0)	0	0	166
10 cfu/mL～ (%)	0 (0.0)	2 (2.1)	4 (4.3)	80 (85.1)	3 (3.2)	5 (5.3)	0 (0.0)	94 (100.0)	0	0	94
100 cfu/mL以上 (%)	0 (0.0)	1 (5.9)	0 (0.0)	14 (82.4)	0 (0.0)	2 (11.8)	0 (0.0)	17 (100.0)	0	0	17
合計 (%)	16 (0.4)	187 (4.3)	238 (5.5)	3,224 (74.5)	238 (5.5)	425 (9.8)	0 (0.0)	4,328 (100.0)	1	0	4,329
不明 (%)	1 (1.4)	0 (0.0)	3 (4.1)	23 (31.5)	3 (4.1)	4 (5.5)	39 (53.4)	73 (100.0)	19	0	92
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	15 (100.0)	15 (100.0)	0	0	15
総計 (%)	17 (0.4)	187 (4.2)	241 (5.5)	3,247 (73.5)	241 (5.5)	429 (9.7)	54 (1.2)	4,416 (100.0)	20	0	4,436

(施設調査による集計)
集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表24 透析施設における透析液生菌数の測定頻度の推移、2006-2024

生菌数測定頻度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
月1回以上 (%)	371 (11.5)	580 (16.9)	751 (20.8)	934 (25.8)	2,649 (67.8)	2,794 (70.0)	3,018 (73.7)	3,091 (74.7)	3,148 (74.8)	3,189 (75.7)	3,276 (77.3)	3,488 (81.3)	3,718 (85.3)	3,725 (85.2)	3,653 (83.2)	3,681 (83.4)	3,741 (84.5)	3,708 (83.6)	3,692 (83.6)
月1回未満 (%)	2,857 (88.5)	2,861 (83.1)	2,856 (79.2)	2,693 (74.2)	1,260 (32.2)	1,196 (30.0)	1,077 (26.3)	1,046 (25.3)	1,059 (25.2)	1,023 (24.3)	963 (22.7)	801 (18.7)	643 (14.7)	649 (14.8)	740 (16.8)	732 (16.6)	688 (15.5)	726 (16.4)	724 (16.4)
合計 (%)	3,228 (100.0)	3,441 (100.0)	3,607 (100.0)	3,627 (100.0)	3,909 (100.0)	3,990 (100.0)	4,095 (100.0)	4,137 (100.0)	4,207 (100.0)	4,212 (100.0)	4,239 (100.0)	4,289 (100.0)	4,361 (100.0)	4,374 (100.0)	4,393 (100.0)	4,413 (100.0)	4,429 (100.0)	4,434 (100.0)	4,416 (100.0)
不明	386	412	418	367	158	159	100	94	90	84	78	54	25	22	29	26	23	20	
記載なし	371	199	56	56	57	28	8	4	7	7	1	3	2	0	0	3	1	2	0
総計	3,985	4,052	4,081	4,050	4,124	4,177	4,203	4,235	4,304	4,303	4,318	4,346	4,388	4,396	4,422	4,442	4,453	4,459	4,436

(施設調査による集計)
集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表25 透析施設における透析液生菌数の推移、2006-2024

生菌数	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
0.1 cfu/mL 未満 (%)	508 (48.4)	750 (47.9)	915 (50.7)	1,123 (54.5)	1,819 (53.1)	2,017 (56.4)	2,397 (63.8)	2,570 (67.1)	2,811 (71.5)	2,905 (73.2)	3,057 (76.1)	3,129 (76.8)	3,361 (79.1)	3,364 (78.9)	3,481 (81.1)	3,668 (84.8)	3,766 (86.6)	3,791 (87.1)	3,791 (87.6)
0.1 cfu/mL 以上 100 cfu/mL 未満 (%)	509 (48.5)	775 (49.5)	847 (46.9)	901 (43.7)	1,542 (45.0)	1,498 (41.9)	1,305 (34.7)	1,214 (31.7)	1,079 (27.5)	1,037 (26.1)	930 (23.2)	902 (22.2)	853 (20.1)	869 (20.4)	789 (18.4)	643 (14.9)	572 (13.1)	544 (12.5)	521 (12.0)
100 cfu/mL 以上 (%)	32 (3.1)	40 (2.6)	43 (2.4)	38 (1.8)	62 (1.8)	62 (1.7)	55 (1.5)	46 (1.2)	40 (1.0)	24 (0.6)	28 (0.7)	41 (1.0)	34 (0.8)	28 (0.7)	23 (0.5)	16 (0.4)	12 (0.3)	17 (0.4)	
合計 (%)	1,049 (100.0)	1,565 (100.0)	1,805 (100.0)	2,062 (100.0)	3,423 (100.0)	3,577 (100.0)	3,757 (100.0)	3,830 (100.0)	3,930 (100.0)	3,966 (100.0)	4,015 (100.0)	4,072 (100.0)	4,248 (100.0)	4,261 (100.0)	4,293 (100.0)	4,327 (100.0)	4,350 (100.0)	4,352 (100.0)	4,329 (100.0)
不明	2,036	552	575	494	216	227	320	273	264	227	232	225	112	115	104	95	91	92	
記載なし	900	1,935	1,701	1,494	485	373	126	132	110	110	71	49	28	20	25	20	12	15	15
総計	3,985	4,052	4,081	4,050	4,124	4,177	4,203	4,235	4,304	4,303	4,318	4,346	4,388	4,396	4,422	4,442	4,453	4,459	4,436

(施設調査による集計)
集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表26 透析施設における透析液 ET 濃度と生菌数、2024

生菌数	0.001 EU/mL 未満	0.001~0.01 EU/mL 未満	0.01~0.05 EU/mL 未満	0.05~0.1 EU/mL 未満	0.1~0.25 EU/mL 未満	0.25~0.5 EU/mL 未満	0.5 EU/mL 以上	合計	不明	記載なし	総計
0.1 cfu/mL 未満 (%)	3,656 (96.5)	99 (2.6)	18 (0.5)	2 (0.1)	10 (0.3)	2 (0.1)	1 (0.0)	3,788 (100.0)	3	0	3,791
0.1 cfu/mL～ (%)	173 (66.5)	71 (27.3)	9 (3.5)	2 (0.8)	1 (0.4)	1 (0.4)	3 (1.2)	260 (100.0)	1	0	261
1 cfu/mL～ (%)	90 (54.2)	34 (20.5)	30 (18.1)	1 (0.6)	6 (3.6)	1 (0.6)	4 (2.4)	166 (100.0)	0	0	166
10 cfu/mL～ (%)	34 (36.2)	21 (22.3)	16 (17.0)	9 (9.6)	10 (10.6)	2 (2.1)	2 (2.1)	94 (100.0)	0	0	94
100 cfu/mL 以上 (%)	8 (47.1)	2 (11.8)	3 (17.6)	0 (0.0)	1 (5.9)	3 (17.6)	0 (0.0)	17 (100.0)	0	0	17
合計 (%)	3,961 (91.6)	227 (5.2)	76 (1.8)	14 (0.3)	28 (0.6)	9 (0.2)	10 (0.2)	4,325 (100.0)	4	0	4,329
不明 (%)	39 (73.6)	5 (9.4)	4 (7.5)	2 (3.8)	3 (5.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	53 (100.0)	39	0	92
記載なし (%)	5 (71.4)	1 (14.3)	1 (14.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (100.0)	1 (100.0)	1	7	15
総計 (%)	4,005 (91.3)	233 (5.3)	81 (1.8)	16 (0.4)	31 (0.7)	9 (0.2)	10 (0.2)	4,385 (100.0)	44	7	4,436

(施設調査による集計)
集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表27 透析施設における超純粹透析液および標準透析液達成率の推移、2009-2024

年	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
超純粹透析液 (ET濃度 0.001EU/mL未満かつ 生菌数 0.1cfu/mL未満) の施設 (%)	866 (43.1)	1,512 (44.4)	1,735 (48.7)	2,152 (57.5)	2,325 (60.8)	2,602 (66.4)	2,704 (68.3)	2,863 (71.4)	2,942 (72.4)	3,168 (74.6)	3,189 (74.9)	3,323 (77.5)	3,527 (81.6)	3,604 (82.9)	3,659 (84.1)	3,656 (84.5)
標準透析液 (ET濃度 0.05EU/mL未満かつ 生菌数 100cfu/mL未満) の施設 (%)	1,725 (85.9)	3,124 (91.8)	3,307 (92.8)	3,525 (94.2)	3,624 (94.8)	3,753 (95.8)	3,833 (96.8)	3,888 (97.0)	3,912 (96.3)	4,118 (97.0)	4,125 (96.9)	4,172 (97.3)	4,258 (98.5)	4,269 (98.3)	4,262 (98.0)	4,251 (98.3)

(施設調査による集計)

集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表28 透析施設における透析用水の供給水源の推移、2017-2024

供給水源	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
水道水 (%)	3,668 (85.2)	3,700 (84.6)	3,701 (84.6)	3,703 (84.1)	3,685 (83.6)	3,689 (83.3)	3,689 (83.2)	3,682 (83.4)
地下水 (%)	377 (8.8)	391 (8.9)	365 (8.3)	384 (8.7)	386 (8.8)	410 (9.3)	409 (9.2)	394 (8.9)
ブレンド (%)	251 (5.8)	273 (6.2)	301 (6.9)	305 (6.9)	318 (7.2)	315 (7.1)	318 (7.2)	326 (7.4)
その他 (%)	10 (0.2)	9 (0.2)	7 (0.2)	9 (0.2)	21 (0.5)	17 (0.4)	18 (0.4)	14 (0.3)
合計 (%)	4,306 (100.0)	4,373 (100.0)	4,374 (100.0)	4,401 (100.0)	4,410 (100.0)	4,431 (100.0)	4,434 (100.0)	4,416 (100.0)
不明	36	14	21	21	30	21	24	20
記載なし	4	1	4	0	2	1	1	0
総計	4,346	4,388	4,396	4,422	4,442	4,453	4,459	4,436

(施設調査による集計)

集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表29 透析施設における残留塩素の測定頻度の推移、2017-2024

残留塩素 測定頻度	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
毎日 (%)	2,377 (55.7)	2,587 (59.7)	2,691 (61.9)	2,803 (63.9)	2,846 (64.6)	2,983 (67.7)	3,045 (69.1)	3,088 (70.4)
週1回 (%)	927 (21.7)	913 (21.1)	895 (20.6)	889 (20.3)	858 (19.5)	878 (19.9)	865 (19.6)	846 (19.3)
月数回 (%)	74 (1.7)	67 (1.5)	68 (1.6)	64 (1.5)	57 (1.3)	61 (1.4)	42 (1.0)	50 (1.1)
月1回 (%)	225 (5.3)	215 (5.0)	196 (4.5)	171 (3.9)	180 (4.1)	185 (4.2)	177 (4.0)	156 (3.6)
年数回 (%)	120 (2.8)	103 (2.4)	92 (2.1)	93 (2.1)	80 (1.8)	103 (2.3)	92 (2.1)	91 (2.1)
年1回 (%)	34 (0.8)	35 (0.8)	30 (0.7)	27 (0.6)	26 (0.6)	31 (0.7)	32 (0.7)	21 (0.5)
なし (%)	510 (12.0)	410 (9.5)	375 (8.6)	337 (7.7)	356 (8.1)	166 (3.8)	154 (3.5)	134 (3.1)
合計 (%)	4,267 (100.0)	4,330 (100.0)	4,347 (100.0)	4,384 (100.0)	4,403 (100.0)	4,407 (100.0)	4,407 (100.0)	4,386 (100.0)
不明	75	56	49	38	37	45	51	50
記載なし	4	2	0	0	2	1	1	0
総計	4,346	4,388	4,396	4,422	4,442	4,453	4,459	4,436

(施設調査による集計)

集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表30 透析施設における残留塩素の測定方法の推移、2017-2024

残留塩素 測定方法	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
遊離塩素と総塩素 (%)	1,275 (32.2)	1,494 (36.6)	1,604 (38.7)	1,706 (40.6)	1,735 (41.0)	1,782 (42.3)	1,843 (43.6)	1,822 (43.1)
遊離塩素のみ (%)	1,812 (45.7)	1,652 (40.4)	1,566 (37.8)	1,468 (35.0)	1,463 (34.6)	1,426 (33.9)	1,425 (33.7)	1,404 (33.2)
総塩素のみ (%)	799 (20.2)	880 (21.5)	910 (22.0)	951 (22.7)	978 (23.1)	974 (23.1)	939 (22.2)	979 (23.2)
その他 (%)	79 (2.0)	61 (1.5)	60 (1.4)	73 (1.7)	55 (1.3)	27 (0.6)	23 (0.5)	22 (0.5)
合計 (%)	3,965 (100.0)	4,087 (100.0)	4,140 (100.0)	4,198 (100.0)	4,231 (100.0)	4,209 (100.0)	4,230 (100.0)	4,227 (100.0)
不明	328	221	201	174	169	188	177	167
記載なし	53	80	55	50	42	56	52	42
総計	4,346	4,388	4,396	4,422	4,442	4,453	4,459	4,436

(施設調査による集計)

集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表31 日本透析医学会化学的汚染基準の認知度の推移、2017-2024

化学的汚染基準の 認知度	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
よく知っている (%)	815 (19.2)	901 (20.9)	914 (21.2)	979 (22.5)	865 (19.8)	846 (19.4)	900 (20.6)	897 (20.6)
知っている (%)	2,638 (62.2)	2,780 (64.5)	2,777 (64.4)	2,803 (64.5)	2,865 (65.7)	2,902 (66.5)	2,843 (65.1)	2,802 (64.5)
あまり知らない (%)	677 (16.0)	544 (12.6)	550 (12.8)	491 (11.3)	549 (12.6)	547 (12.5)	540 (12.4)	559 (12.9)
全く知らない (%)	112 (2.6)	87 (2.0)	72 (1.7)	71 (1.6)	79 (1.8)	69 (1.6)	82 (1.9)	88 (2.0)
合計 (%)	4,242 (100.0)	4,312 (100.0)	4,313 (100.0)	4,344 (100.0)	4,358 (100.0)	4,364 (100.0)	4,365 (100.0)	4,346 (100.0)
不明	97	74	80	78	82	88	93	90
記載なし	7	2	3	0	2	1	1	0
総計	4,346	4,388	4,396	4,422	4,442	4,453	4,459	4,436

(施設調査による集計)

集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表32 日本透析医学会化学的汚染基準の測定頻度の推移、2017-2024

化学的汚染基準の測定頻度	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
月1回(%)	272(6.6)	243(5.8)	282(6.7)	304(7.2)	265(6.3)	265(6.3)	270(6.4)	258(6.2)
年数回(%)	374(9.1)	369(8.9)	379(9.1)	417(9.9)	453(10.8)	463(11.0)	504(11.9)	499(11.9)
年1回(%)	1,544(37.6)	1,769(42.6)	1,795(42.9)	1,777(42.3)	1,826(43.4)	1,867(44.3)	1,841(43.6)	1,860(44.5)
数年に1回(%)	378(9.2)	465(11.2)	509(12.2)	493(11.7)	489(11.6)	488(11.6)	506(12.0)	513(12.3)
その他(%)	190(4.6)	187(4.5)	179(4.3)	178(4.2)	184(4.4)	177(4.2)	170(4.0)	157(3.8)
なし(%)	1,348(32.8)	1,124(27.0)	1,042(24.9)	1,035(24.6)	987(23.5)	958(22.7)	932(22.1)	892(21.3)
合計(%)	4,106(100.0)	4,157(100.0)	4,186(100.0)	4,204(100.0)	4,204(100.0)	4,218(100.0)	4,223(100.0)	4,179(100.0)
不明	234	228	206	217	236	234	235	257
記載なし	6	3	4	1	2	1	1	0
総計	4,346	4,388	4,396	4,422	4,442	4,453	4,459	4,436

(施設調査による集計)
集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表33 バスキュラーアクセス（VA）管理におけるエコー使用状況 穿刺での使用の有無、2024

	なし	あり	合計	不明	記載なし	総計
施設数(%)	1,730(39.1)	2,694(60.9)	4,424(100.0)	12	0	4,436

(施設調査による集計)
集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表34 バスキュラーアクセス（VA）管理におけるエコー使用状況 VAの機能や形態評価での使用の有無、2024

	なし	あり	合計	不明	記載なし	総計
施設数(%)	969(22.0)	3,445(78.0)	4,414(100.0)	22	0	4,436

(施設調査による集計)
集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表35 エコーガイド下穿刺時のプローブヘッドカバー状況（穿刺での使用がありの場合）、2024

	カバーなし	未滅菌カバー使用	滅菌カバー使用	合計	不明	記載なし	総計
施設数(%)	855(31.9)	1,351(50.4)	473(17.7)	2,679(100.0)	15	0	2,694

(施設調査による集計)

補足表36 エコーガイド下穿刺後のプローブ消毒状況（穿刺での使用がありの場合）、2024

	高水準消毒 次亜塩素酸ナトリウム	ペルオキソ酸水素カリウム配合剤	アルコール系消毒薬（消毒用エタノール、70%イソブロパノール）	0.5%加速化過酸化水素水次亜塩素酸ナトリウム	クロルヘキシジン	ポビドンヨード	第四級アモニウム化合物	その他	消毒未施行	合計	不明	記載なし	総計	
施設数(%)	56(2.1)	218(8.2)	490(18.3)	923(34.5)	54(2.0)	140(5.2)	122(4.6)	323(12.1)	224(8.4)	124(4.6)	2,674(100.0)	19	1	2,694

(施設調査による集計)

補足表37 家庭での血圧測定の有無と治療方法、2024

治療方法	なし	あり	合計	不明	記載なし	総計
施設血液透析 (%)	21,983 (28.4)	55,351 (71.6)	77,334 (100.0)	5,854	23,709	106,897
血液透析濾過 (%)	40,410 (25.2)	119,898 (74.8)	160,308 (100.0)	8,196	37,820	206,324
血液濾過 (%)	11 (34.4)	21 (65.6)	32 (100.0)	192	5	229
在宅血液透析 (%)	61 (13.1)	404 (86.9)	465 (100.0)	30	252	747
腹膜透析 (%)	413 (9.5)	3,944 (90.5)	4,357 (100.0)	506	3,228	8,091
腹膜透析と血液透析の併用 (%)	218 (15.6)	1,182 (84.4)	1,400 (100.0)	97	530	2,027
合計 (%)	63,096 (25.9)	180,800 (74.1)	243,896 (100.0)	14,875	65,544	324,315
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0	0
総計 (%)	63,096 (25.9)	180,800 (74.1)	243,896 (100.0)	14,875	65,544	324,315

(患者調査による集計)

補足表38 血液透析と血液透析濾過患者 家庭での血圧測定の有無と透析前収縮期血圧、2024

透析前 収縮期血圧	なし	あり	合計	不明	記載なし	総計
60未満 (%)	10 (0.0)	18 (0.0)	28 (0.0)	2 (0.0)	2 (0.0)	32 (0.0)
60～ (%)	138 (0.2)	252 (0.1)	390 (0.2)	24 (0.2)	68 (0.2)	482 (0.2)
80～ (%)	1,073 (1.7)	2,197 (1.3)	3,270 (1.4)	323 (2.3)	608 (1.6)	4,201 (1.5)
100～ (%)	4,940 (8.0)	11,756 (6.8)	16,696 (7.1)	1,305 (9.4)	2,952 (7.8)	20,953 (7.3)
120～ (%)	13,416 (21.7)	37,727 (21.7)	51,143 (21.7)	3,034 (21.9)	8,476 (22.4)	62,653 (21.8)
140～ (%)	19,277 (31.1)	57,596 (33.1)	76,873 (32.6)	4,400 (31.8)	12,121 (32.1)	93,394 (32.5)
160～ (%)	14,681 (23.7)	42,101 (24.2)	56,782 (24.1)	3,104 (22.4)	8,755 (23.2)	68,641 (23.9)
180～ (%)	6,125 (9.9)	16,672 (9.6)	22,797 (9.7)	1,258 (9.1)	3,573 (9.5)	27,628 (9.6)
200～ (%)	1,814 (2.9)	4,412 (2.5)	6,226 (2.6)	328 (2.4)	962 (2.5)	7,516 (2.6)
220～ (%)	422 (0.7)	1,019 (0.6)	1,441 (0.6)	73 (0.5)	252 (0.7)	1,766 (0.6)
合計 (%)	61,896 (100.0)	173,750 (100.0)	235,646 (100.0)	13,851 (100.0)	37,769 (100.0)	287,266 (100.0)
記載なし	497	1,499	1,996	199	23,760	25,955
総計	62,393	175,249	237,642	14,050	61,529	313,221
平均	151.69	152.17	152.04	149.64	151.21	151.82
標準偏差	25.70	24.34	24.70	25.69	25.06	24.81

(患者調査による集計)

補足表39 血液透析と血液透析濾過患者 家庭での血圧測定の有無と透析前拡張期血圧、2024

透析前 拡張期血圧	なし	あり	合計	不明	記載なし	総計
20未満 (%)	24 (0.0)	53 (0.0)	77 (0.0)	1 (0.0)	6 (0.0)	84 (0.0)
20～ (%)	219 (0.4)	405 (0.2)	624 (0.3)	56 (0.4)	112 (0.3)	792 (0.3)
40～ (%)	5,090 (8.2)	12,976 (7.5)	18,066 (7.7)	1,292 (9.3)	3,009 (8.0)	22,367 (7.8)
60～ (%)	26,373 (42.6)	78,407 (45.1)	104,780 (44.5)	6,096 (44.0)	16,792 (44.5)	127,668 (44.4)
80～ (%)	14,895 (24.1)	43,697 (25.2)	58,592 (24.9)	3,257 (23.5)	9,267 (24.5)	71,116 (24.8)
90～ (%)	9,201 (14.9)	24,464 (14.1)	33,665 (14.3)	1,953 (14.1)	5,334 (14.1)	40,952 (14.3)
100～ (%)	5,558 (9.0)	12,695 (7.3)	18,253 (7.7)	1,073 (7.7)	2,959 (7.8)	22,285 (7.8)
120～ (%)	479 (0.8)	962 (0.6)	1,441 (0.6)	112 (0.8)	256 (0.7)	1,809 (0.6)
140～ (%)	45 (0.1)	83 (0.0)	128 (0.1)	12 (0.1)	27 (0.1)	167 (0.1)
合計 (%)	61,884 (100.0)	173,742 (100.0)	235,626 (100.0)	13,852 (100.0)	37,762 (100.0)	287,240 (100.0)
記載なし	509	1,507	2,016	198	23,767	25,981
総計	62,393	175,249	237,642	14,050	61,529	313,221
平均	79.50	78.93	79.08	78.48	79.03	79.04
標準偏差	15.45	14.44	14.71	15.34	14.85	14.76

(患者調査による集計)

補足表40 降圧薬使用の有無と治療方法、2024

治療方法	なし	あり	合計	不明	記載なし	総計
施設血液透析 (%)	22,779 (25.8)	65,562 (74.2)	88,341 (100.0)	1,117	17,439	106,897
血液透析濾過 (%)	42,754 (24.0)	135,546 (76.0)	178,300 (100.0)	1,582	26,442	206,324
血液濾過 (%)	210 (92.9)	16 (7.1)	226 (100.0)	0	3	229
在宅血液透析 (%)	260 (44.7)	322 (55.3)	582 (100.0)	0	165	747
腹膜透析 (%)	656 (12.0)	4,810 (88.0)	5,466 (100.0)	149	2,476	8,091
腹膜透析と血液透析の併用 (%)	261 (16.4)	1,328 (83.6)	1,589 (100.0)	47	391	2,027
合計 (%)	66,920 (24.4)	207,584 (75.6)	274,504 (100.0)	2,895	46,916	324,315
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0	0
総計 (%)	66,920 (24.4)	207,584 (75.6)	274,504 (100.0)	2,895	46,916	324,315

(患者調査による集計)

補足表 41 心血管疾患等の既往と各種降圧薬使用率、2024

各種降圧薬の使用率(%)*	虚血性心疾患		脳梗塞		脳出血		四肢切断	
	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし
カルシウム拮抗薬	47.5	52.7	51.0	51.2	51.7	51.0	46.6	51.3
レニン・アンジオテンシン系阻害薬	26.0	28.3	27.4	27.6	27.6	27.5	24.7	27.6
アンジオテンシン受容体ネブリライシン阻害薬	13.0	11.9	11.8	12.2	12.1	12.1	11.1	12.2
ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬	1.5	1.3	1.4	1.4	1.5	1.3	1.4	1.4
β遮断薬	39.0	24.0	31.3	27.4	29.5	27.9	33.0	27.9
その他の降圧薬	14.0	13.7	13.8	13.8	14.6	13.7	12.6	13.8

*上記の表は、それぞれの降圧薬に対する使用率です。使用率の合計は100%ではありません。

(患者調査による集計)

補足表 42 利尿薬使用の有無と種類と治療方法、2024

治療方法	なし	ループ利尿薬	パソブレシンV ₂ 受容体拮抗薬	サイアザイド系利尿薬	ループ利尿薬とパソブレシンV ₂ 受容体拮抗薬の併用	ループ利尿薬とサイアザイド系利尿薬の併用	その他(左記以外)	合計	不明	記載なし	総計
施設血液透析(%)	67,167 (80.2)	15,473 (18.5)	92 (0.1)	196 (0.2)	212 (0.3)	348 (0.4)	268 (0.3)	83,756 (100.0)	1,527	21,614	106,897
血液透析濾過(%)	139,017 (82.1)	28,599 (16.9)	111 (0.1)	330 (0.2)	239 (0.1)	621 (0.4)	395 (0.2)	169,312 (100.0)	2,173	34,839	206,324
血液濾過(%)	223 (98.7)	3 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	226 (100.0)	0	3	229
在宅血液透析(%)	515 (93.0)	37 (6.7)	0 (0.0)	1 (0.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.2)	554 (100.0)	0	193	747
腹膜透析(%)	1,882 (35.3)	2,438 (45.7)	87 (1.6)	42 (0.8)	454 (8.5)	277 (5.2)	157 (2.9)	5,337 (100.0)	165	2,589	8,091
腹膜透析と血液透析の併用(%)	990 (65.9)	368 (24.5)	11 (0.7)	6 (0.4)	62 (4.1)	45 (3.0)	21 (1.4)	1,503 (100.0)	82	442	2,027
合計(%)	209,794 (80.5)	46,918 (18.0)	301 (0.1)	575 (0.2)	967 (0.4)	1,291 (0.5)	842 (0.3)	260,688 (100.0)	3,947	59,680	324,315
記載なし	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0	0
総計(%)	209,794 (80.5)	46,918 (18.0)	301 (0.1)	575 (0.2)	967 (0.4)	1,291 (0.5)	842 (0.3)	260,688 (100.0)	3,947	59,680	324,315

(患者調査による集計)

補足表43 利尿薬使用の有無と種類と透析歴、2024

透析歴	なし	ループ利尿薬	パソブレシンV ₂ 受容体拮抗薬	サイアザイド系利尿薬	ループ利尿薬とパソブレシンV ₂ 受容体拮抗薬の併用	ループ利尿薬とサイアザイド系利尿薬の併用	その他(左記以外)	合計	不明	記載なし	総計
2年未満(%)	33,672(64.3)	16,946(32.4)	158(0.3)	216(0.4)	520(1.0)	545(1.0)	309(0.6)	52,366(100.0)	745	12,412	65,523
2年～(%)	48,830(73.6)	16,136(24.3)	95(0.1)	198(0.3)	334(0.5)	452(0.7)	272(0.4)	66,317(100.0)	929	14,865	82,111
5年～(%)	58,082(84.2)	10,249(14.9)	41(0.1)	126(0.2)	101(0.1)	256(0.4)	142(0.2)	68,997(100.0)	1,014	15,933	85,944
10年～(%)	30,772(91.8)	2,621(7.8)	5(0.0)	24(0.1)	9(0.0)	37(0.1)	51(0.2)	33,519(100.0)	541	7,663	41,723
15年～(%)	16,300(96.3)	604(3.6)	2(0.0)	5(0.0)	1(0.0)	0(0.0)	21(0.1)	16,933(100.0)	288	3,861	21,082
20年～(%)	9,670(97.9)	193(2.0)	0(0.0)	2(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	9(0.1)	9,874(100.0)	181	2,110	12,165
25年～(%)	5,960(98.7)	71(1.2)	0(0.0)	1(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	8(0.1)	6,040(100.0)	110	1,318	7,468
30年～(%)	3,474(98.5)	39(1.1)	0(0.0)	3(0.1)	0(0.0)	0(0.0)	11(0.3)	3,527(100.0)	86	740	4,353
35年～(%)	1,739(98.9)	12(0.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	7(0.4)	1,758(100.0)	31	395	2,184
40年～(%)	1,213(97.6)	17(1.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.1)	12(1.0)	1,243(100.0)	20	276	1,539
合計(%)	209,712(80.5)	46,888(18.0)	301(0.1)	575(0.2)	965(0.4)	1,291(0.5)	842(0.3)	260,574(100.0)	3,945	59,573	324,092
不明(%)	82(71.9)	30(26.3)	0(0.0)	0(0.0)	2(1.8)	0(0.0)	0(0.0)	114(100.0)	2	105	221
記載なし(%)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0	2	2
総計(%)	209,794(80.5)	46,918(18.0)	301(0.1)	575(0.2)	967(0.4)	1,291(0.5)	842(0.3)	260,688(100.0)	3,947	59,680	324,315
平均	8.52	3.60	2.24	3.43	1.93	2.80	5.14	7.55	8.32	7.43	7.54
標準偏差	8.17	3.95	2.70	4.04	2.12	2.96	7.93	7.79	8.36	7.69	7.78

(患者調査による集計)

補足表44 血液透析と血液透析濾過患者 利尿薬使用の有無と体重減少率、2024

体重減少率	なし	あり	合計	不明	記載なし	総計
1.0未満 (%)	6,397 (75.5)	2,074 (24.5)	8,471 (100.0)	152	1,300	9,923
1.0～ (%)	9,459 (77.0)	2,829 (23.0)	12,288 (100.0)	167	1,746	14,201
2.0～ (%)	22,331 (78.8)	5,997 (21.2)	28,328 (100.0)	378	3,926	32,632
3.0～ (%)	45,167 (80.5)	10,961 (19.5)	56,128 (100.0)	750	7,685	64,563
4.0～ (%)	57,206 (82.2)	12,427 (17.8)	69,633 (100.0)	910	9,202	79,745
5.0～ (%)	38,944 (83.6)	7,661 (16.4)	46,605 (100.0)	708	6,090	53,403
6.0～ (%)	16,745 (84.7)	3,031 (15.3)	19,776 (100.0)	318	2,676	22,770
7.0～ (%)	5,496 (84.0)	1,046 (16.0)	6,542 (100.0)	118	874	7,534
8.0～ (%)	1,647 (85.2)	287 (14.8)	1,934 (100.0)	41	275	2,250
9.0～ (%)	759 (85.2)	132 (14.8)	891 (100.0)	17	128	1,036
合計 (%)	204,151 (81.5)	46,445 (18.5)	250,596 (100.0)	3,559	33,902	288,057
記載なし (%)	2,033 (82.2)	439 (17.8)	2,472 (100.0)	141	22,551	25,164
総計 (%)	206,184 (81.5)	46,884 (18.5)	253,068 (100.0)	3,700	56,453	313,221
平均	4.22	3.99	4.18	4.24	4.14	4.18
標準偏差	1.60	1.63	1.61	1.73	1.64	1.61

(患者調査による集計)

補足表45 血液透析と血液透析濾過患者 利尿薬使用の有無と透析前収縮期血圧、2024

透析前 収縮期血圧	なし	あり	合計	不明	記載なし	総計
60未満 (%)	21 (80.8)	5 (19.2)	26 (100.0)	0	6	32
60～ (%)	379 (92.2)	32 (7.8)	411 (100.0)	6	65	482
80～ (%)	3,151 (87.2)	464 (12.8)	3,615 (100.0)	47	539	4,201
100～ (%)	15,253 (83.9)	2,919 (16.1)	18,172 (100.0)	192	2,589	20,953
120～ (%)	44,475 (81.6)	10,023 (18.4)	54,498 (100.0)	582	7,573	62,653
140～ (%)	65,986 (81.1)	15,339 (18.9)	81,325 (100.0)	845	11,224	93,394
160～ (%)	48,343 (80.9)	11,441 (19.1)	59,784 (100.0)	621	8,236	68,641
180～ (%)	19,562 (81.5)	4,445 (18.5)	24,007 (100.0)	289	3,332	27,628
200～ (%)	5,225 (80.4)	1,272 (19.6)	6,497 (100.0)	77	942	7,516
220～ (%)	1,214 (81.9)	268 (18.1)	1,482 (100.0)	19	265	1,766
合計 (%)	203,609 (81.5)	46,208 (18.5)	249,817 (100.0)	2,678	34,771	287,266
記載なし (%)	2,575 (79.2)	676 (20.8)	3,251 (100.0)	1,022	21,682	25,955
総計 (%)	206,184 (81.5)	46,884 (18.5)	253,068 (100.0)	3,700	56,453	313,221
平均	151.58	152.80	151.81	152.08	151.88	151.82
標準偏差	24.89	24.04	24.74	25.82	25.19	24.81

(患者調査による集計)

補足表46 腹膜透析単独患者 利尿薬使用の有無と透析前収縮期血圧、2024

透析前 収縮期血圧	なし	あり	合計	不明	記載なし	総計
60未満 (%)	1 (100.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0	0	1
60～ (%)	10 (71.4)	4 (28.6)	14 (100.0)	0	2	16
80～ (%)	55 (46.2)	64 (53.8)	119 (100.0)	0	5	124
100～ (%)	216 (36.4)	377 (63.6)	593 (100.0)	7	10	610
120～ (%)	534 (32.5)	1,108 (67.5)	1,642 (100.0)	6	46	1,694
140～ (%)	425 (31.1)	940 (68.9)	1,365 (100.0)	8	32	1,405
160～ (%)	165 (30.5)	376 (69.5)	541 (100.0)	3	15	559
180～ (%)	38 (33.0)	77 (67.0)	115 (100.0)	1	5	121
200～ (%)	8 (44.4)	10 (55.6)	18 (100.0)	0	0	18
220～ (%)	2 (50.0)	2 (50.0)	4 (100.0)	0	0	4
合計 (%)	1,454 (33.0)	2,958 (67.0)	4,412 (100.0)	25	115	4,552
記載なし (%)	428 (46.3)	497 (53.7)	925 (100.0)	140	2,474	3,539
総計 (%)	1,882 (35.3)	3,455 (64.7)	5,337 (100.0)	165	2,589	8,091
平均	136.55	139.08	138.25	138.40	137.89	138.24
標準偏差	22.61	20.54	21.27	20.47	23.81	21.33

(患者調査による集計)

補足表47 総コレステロール濃度(mg/dL)と性別、2024

性別	100未満	100～	120～	140～	160～	180～	200～	220～	240～	260～	合計	記載なし	総計	平均	標準偏差
男性 (%)	11,587 (7.0)	26,814 (16.3)	39,009 (23.7)	37,317 (22.7)	25,661 (15.6)	14,006 (8.5)	6,169 (3.7)	2,490 (1.5)	891 (0.5)	579 (0.4)	164,523 (100.0)	53,451	217,974	144.75	34.05
女性 (%)	2,525 (3.1)	6,614 (8.2)	13,258 (16.5)	17,321 (21.5)	16,088 (20.0)	11,626 (14.5)	7,056 (8.8)	3,357 (4.2)	1,474 (1.8)	1,074 (1.3)	80,393 (100.0)	25,948	106,341	162.89	38.23
合計 (%)	14,112 (5.8)	33,428 (13.6)	52,267 (21.3)	54,638 (22.3)	41,749 (17.0)	25,632 (10.5)	13,225 (5.4)	5,847 (2.4)	2,365 (1.0)	1,653 (0.7)	244,916 (100.0)	79,399	324,315	150.70	36.48
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0	0	0	0
総計 (%)	14,112 (5.8)	33,428 (13.6)	52,267 (21.3)	54,638 (22.3)	41,749 (17.0)	25,632 (10.5)	13,225 (5.4)	5,847 (2.4)	2,365 (1.0)	1,653 (0.7)	244,916 (100.0)	79,399	324,315	150.70	36.48

(患者調査による集計)

補足表48 LDL-C濃度(mg/dL)と性別、2024

性別	40未満	40~	60~	80~	100~	120~	140~	160~	180~	合計	記載なし	総計	平均	標準偏差
男性 (%)	10,686 (6.7)	37,900 (23.7)	48,815 (30.5)	34,923 (21.8)	17,915 (11.2)	6,856 (4.3)	2,104 (1.3)	564 (0.4)	267 (0.2)	160,030 (100.0)	57,944	217,974	75.06	26.93
女性 (%)	2,824 (3.6)	12,712 (16.3)	21,452 (27.5)	19,628 (25.2)	12,202 (15.7)	5,848 (7.5)	2,093 (2.7)	745 (1.0)	363 (0.5)	77,867 (100.0)	28,474	106,341	84.27	29.18
合計 (%)	13,510 (5.7)	50,612 (21.3)	70,267 (29.5)	54,551 (22.9)	30,117 (12.7)	12,704 (5.3)	4,197 (1.8)	1,309 (0.6)	630 (0.3)	237,897 (100.0)	86,418	324,315	78.08	28.02
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
総計 (%)	13,510 (5.7)	50,612 (21.3)	70,267 (29.5)	54,551 (22.9)	30,117 (12.7)	12,704 (5.3)	4,197 (1.8)	1,309 (0.6)	630 (0.3)	237,897 (100.0)	86,418	324,315	78.08	28.02

(患者調査による集計)

補足表49 Non-HDL-C濃度(mg/dL)と性別、2024

性別	50未満	50~	70~	90~	110~	130~	150~	170~	190~	210~	合計	記載なし	総計	平均	標準偏差
男性 (%)	4,874 (3.4)	21,669 (15.3)	36,997 (26.1)	33,762 (23.9)	22,773 (16.1)	12,194 (8.6)	5,639 (4.0)	2,235 (1.6)	850 (0.6)	528 (0.4)	141,521 (100.0)	76,453	217,974	97.48	31.99
女性 (%)	960 (1.4)	5,979 (8.7)	14,123 (20.4)	17,291 (25.0)	13,889 (20.1)	8,889 (12.9)	4,416 (6.4)	2,108 (3.1)	822 (1.2)	609 (0.9)	69,086 (100.0)	37,255	106,341	108.92	33.81
合計 (%)	5,834 (2.8)	27,648 (13.1)	51,120 (24.3)	51,053 (24.2)	36,662 (17.4)	21,083 (10.0)	10,055 (4.8)	4,343 (2.1)	1,672 (0.8)	1,137 (0.5)	210,607 (100.0)	113,708	324,315	101.23	33.04
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
総計 (%)	5,834 (2.8)	27,648 (13.1)	51,120 (24.3)	51,053 (24.2)	36,662 (17.4)	21,083 (10.0)	10,055 (4.8)	4,343 (2.1)	1,672 (0.8)	1,137 (0.5)	210,607 (100.0)	113,708	324,315	101.23	33.04

(患者調査による集計)

補足表50 HDL-C濃度(mg/dL)と性別、2024

性別	20未満	20~	30~	40~	50~	60~	70~	80~	90~	100~	合計	記載なし	総計	平均	標準偏差
男性 (%)	908 (0.5)	14,100 (8.5)	42,329 (25.5)	45,460 (27.3)	31,756 (19.1)	17,431 (10.5)	8,193 (4.9)	3,480 (2.1)	1,550 (0.9)	1,084 (0.7)	166,291 (100.0)	51,683	217,974	47.32	15.60
女性 (%)	338 (0.4)	3,219 (4.0)	12,925 (16.0)	19,499 (24.2)	17,878 (22.2)	12,648 (15.7)	7,389 (9.2)	3,723 (4.6)	1,755 (2.2)	1,338 (1.7)	80,712 (100.0)	25,629	106,341	54.11	17.64
合計 (%)	1,246 (0.5)	17,319 (7.0)	55,254 (22.4)	64,959 (26.3)	49,634 (20.1)	30,079 (12.2)	15,582 (6.3)	7,203 (2.9)	3,305 (1.3)	2,422 (1.0)	247,003 (100.0)	77,312	324,315	49.54	16.61
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
総計 (%)	1,246 (0.5)	17,319 (7.0)	55,254 (22.4)	64,959 (26.3)	49,634 (20.1)	30,079 (12.2)	15,582 (6.3)	7,203 (2.9)	3,305 (1.3)	2,422 (1.0)	247,003 (100.0)	77,312	324,315	49.54	16.61

(患者調査による集計)

補足表51 中性脂肪(mg/dL)と性別、2024

性別	30未満	30~	60~	90~	120~	150~	180~	210~	240~	270~	300~	合計	記載なし	総計	平均	標準偏差
男性 (%)	2,088 (1.2)	38,360 (21.6)	50,762 (28.5)	34,474 (19.4)	20,427 (11.5)	11,771 (6.6)	6,885 (3.9)	4,412 (2.5)	2,777 (1.6)	1,770 (1.0)	4,258 (2.4)	177,984 (100.0)	39,990	217,974	107.11	72.31
女性 (%)	332 (0.4)	12,771 (14.7)	25,188 (29.0)	20,200 (23.3)	11,991 (13.8)	6,742 (7.8)	3,646 (4.2)	2,121 (2.4)	1,293 (1.5)	799 (0.9)	1,636 (1.9)	86,719 (100.0)	19,622	106,341	111.62	65.53
合計 (%)	2,420 (0.9)	51,131 (19.3)	75,950 (28.7)	54,674 (20.7)	32,418 (12.2)	18,513 (7.0)	10,531 (4.0)	6,533 (2.5)	4,070 (1.5)	2,569 (1.0)	5,894 (2.2)	264,703 (100.0)	59,612	324,315	108.59	70.19
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
総計 (%)	2,420 (0.9)	51,131 (19.3)	75,950 (28.7)	54,674 (20.7)	32,418 (12.2)	18,513 (7.0)	10,531 (4.0)	6,533 (2.5)	4,070 (1.5)	2,569 (1.0)	5,894 (2.2)	264,703 (100.0)	59,612	324,315	108.59	70.19

(患者調査による集計)

補足表 52 スタチン使用の有無と性別、2024

性別	なし	あり	合計	不明	記載なし	総計
男性 (%)	115,333 (66.9)	57,082 (33.1)	172,415 (100.0)	2,669	42,890	217,974
女性 (%)	53,761 (64.0)	30,199 (36.0)	83,960 (100.0)	1,352	21,029	106,341
合計 (%)	169,094 (66.0)	87,281 (34.0)	256,375 (100.0)	4,021	63,919	324,315
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0	0
総計 (%)	169,094 (66.0)	87,281 (34.0)	256,375 (100.0)	4,021	63,919	324,315

(患者調査による集計)

補足表 53 エゼチミブ使用の有無と性別、2024

性別	なし	あり	合計	不明	記載なし	総計
男性 (%)	160,919 (94.7)	9,079 (5.3)	169,998 (100.0)	2,999	44,977	217,974
女性 (%)	78,012 (94.4)	4,613 (5.6)	82,625 (100.0)	1,537	22,179	106,341
合計 (%)	238,931 (94.6)	13,692 (5.4)	252,623 (100.0)	4,536	67,156	324,315
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0	0
総計 (%)	238,931 (94.6)	13,692 (5.4)	252,623 (100.0)	4,536	67,156	324,315

(患者調査による集計)

補足表 54 ペマフィブラート使用の有無と性別、2024

性別	なし	あり	合計	不明	記載なし	総計
男性 (%)	168,188 (99.0)	1,753 (1.0)	169,941 (100.0)	3,193	44,840	217,974
女性 (%)	81,827 (99.1)	752 (0.9)	82,579 (100.0)	1,652	22,110	106,341
合計 (%)	250,015 (99.0)	2,505 (1.0)	252,520 (100.0)	4,845	66,950	324,315
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0	0
総計 (%)	250,015 (99.0)	2,505 (1.0)	252,520 (100.0)	4,845	66,950	324,315

(患者調査による集計)

補足表 55 HBs 抗原と透析歴、2024

透析歴	HBs 抗原 -	HBs 抗原 +	合計	未測定	不明	記載なし	総計
2年未満 (%)	52,434 (98.9)	562 (1.1)	52,996 (100.0)	2,024	2,016	8,487	65,523
2年～ (%)	67,334 (98.9)	766 (1.1)	68,100 (100.0)	2,249	2,018	9,744	82,111
5年～ (%)	71,189 (98.8)	830 (1.2)	72,019 (100.0)	2,301	1,699	9,925	85,944
10年～ (%)	34,842 (98.7)	463 (1.3)	35,305 (100.0)	1,093	763	4,562	41,723
15年～ (%)	17,704 (98.6)	255 (1.4)	17,959 (100.0)	524	384	2,215	21,082
20年～ (%)	10,104 (98.5)	149 (1.5)	10,253 (100.0)	478	208	1,226	12,165
25年～ (%)	6,218 (98.7)	81 (1.3)	6,299 (100.0)	245	142	782	7,468
30年～ (%)	3,653 (98.5)	55 (1.5)	3,708 (100.0)	163	75	407	4,353
35年～ (%)	1,844 (98.2)	34 (1.8)	1,878 (100.0)	64	33	209	2,184
40年～ (%)	1,300 (98.6)	19 (1.4)	1,319 (100.0)	41	31	148	1,539
合計 (%)	266,622 (98.8)	3,214 (1.2)	269,836 (100.0)	9,182	7,369	37,705	324,092
不明 (%)	149 (98.0)	3 (2.0)	152 (100.0)	2	44	23	221
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0	2	2
総計 (%)	266,771 (98.8)	3,217 (1.2)	269,988 (100.0)	9,184	7,413	37,730	324,315
平均	7.63	8.46	7.64	7.73	6.33	7.02	7.54
標準偏差	7.81	8.30	7.82	8.17	7.33	7.44	7.78

(患者調査による集計)

補足表 56 HBs 抗体と透析歴、2024

透析歴	HBs 抗体 -	HBs 抗体 +	合計	未測定	不明	記載なし	総計
2 年未満 (%)	25,630 (85.9)	4,204 (14.1)	29,834 (100.0)	20,824	4,469	10,396	65,523
2 年～ (%)	32,887 (85.2)	5,722 (14.8)	38,609 (100.0)	26,226	5,225	12,051	82,111
5 年～ (%)	35,118 (84.9)	6,249 (15.1)	41,367 (100.0)	26,965	5,254	12,358	85,944
10 年～ (%)	17,528 (85.2)	3,040 (14.8)	20,568 (100.0)	13,009	2,427	5,719	41,723
15 年～ (%)	8,901 (84.7)	1,612 (15.3)	10,513 (100.0)	6,406	1,313	2,850	21,082
20 年～ (%)	5,244 (84.2)	987 (15.8)	6,231 (100.0)	3,647	707	1,580	12,165
25 年～ (%)	3,279 (85.5)	554 (14.5)	3,833 (100.0)	2,194	453	988	7,468
30 年～ (%)	1,920 (83.2)	387 (16.8)	2,307 (100.0)	1,272	267	507	4,353
35 年～ (%)	966 (83.6)	190 (16.4)	1,156 (100.0)	622	144	262	2,184
40 年～ (%)	636 (78.3)	176 (21.7)	812 (100.0)	434	108	185	1,539
合計 (%)	132,109 (85.1)	23,121 (14.9)	155,230 (100.0)	101,599	20,367	46,896	324,092
不明 (%)	78 (88.6)	10 (11.4)	88 (100.0)	23	66	44	221
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0	2	2
総計 (%)	132,187 (85.1)	23,131 (14.9)	155,318 (100.0)	101,622	20,433	46,942	324,315
平均	7.77	8.09	7.82	7.36	7.33	7.10	7.54
標準偏差	7.91	8.26	7.96	7.61	7.83	7.47	7.78

(患者調査による集計)

補足表 57 HBc 抗体と透析歴、2024

透析歴	HBc 抗体 -	HBc 抗体 +	合計	未測定	不明	記載なし	総計
2年未満 (%)	14,998 (84.3)	2,786 (15.7)	17,784 (100.0)	31,153	5,503	11,083	65,523
2年～ (%)	18,621 (84.1)	3,528 (15.9)	22,149 (100.0)	40,127	6,809	13,026	82,111
5年～ (%)	20,048 (84.9)	3,577 (15.1)	23,625 (100.0)	42,023	6,788	13,508	85,944
10年～ (%)	9,865 (86.2)	1,574 (13.8)	11,439 (100.0)	20,755	3,245	6,284	41,723
15年～ (%)	5,156 (86.8)	786 (13.2)	5,942 (100.0)	10,318	1,707	3,115	21,082
20年～ (%)	3,022 (85.9)	494 (14.1)	3,516 (100.0)	5,997	916	1,736	12,165
25年～ (%)	1,856 (85.9)	305 (14.1)	2,161 (100.0)	3,618	576	1,113	7,468
30年～ (%)	1,136 (85.5)	193 (14.5)	1,329 (100.0)	2,096	335	593	4,353
35年～ (%)	556 (85.9)	91 (14.1)	647 (100.0)	1,059	178	300	2,184
40年～ (%)	368 (79.5)	95 (20.5)	463 (100.0)	725	148	203	1,539
合計 (%)	75,626 (84.9)	13,429 (15.1)	89,055 (100.0)	157,871	26,205	50,961	324,092
不明 (%)	38 (88.4)	5 (11.6)	43 (100.0)	38	79	61	221
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0	2	2
総計 (%)	75,664 (84.9)	13,434 (15.1)	89,098 (100.0)	157,909	26,284	51,024	324,315
平均	7.77	7.43	7.72	7.58	7.40	7.19	7.54
標準偏差	7.94	8.00	7.95	7.75	7.80	7.53	7.78

(患者調査による集計)

補足表 58 HBs 抗原と年齢、2024

年齢	HBs 抗原 -	HBs 抗原 +	合計	未測定	不明	記載なし	総計
20歳未満 (%)	67 (97.1)	2 (2.9)	69 (100.0)	24	3	55	151
20歳～ (%)	3,517 (99.5)	18 (0.5)	3,535 (100.0)	138	97	529	4,299
40歳～ (%)	52,314 (99.0)	506 (1.0)	52,820 (100.0)	1,891	1,395	7,137	63,243
60歳～ (%)	144,168 (98.6)	2,013 (1.4)	146,181 (100.0)	4,898	3,923	19,885	174,887
80歳～ (%)	66,705 (99.0)	678 (1.0)	67,383 (100.0)	2,233	1,995	10,124	81,735
合計 (%)	266,771 (95.6)	3,217 (1.2)	279,172 (100.0)	9,184	7,413	37,730	324,315
不明	0	0	0	0	0	0	0
記載なし	0	0	0	0	0	0	0
総計 (%)	266,771 (95.6)	3,217 (1.2)	279,172 (100.0)	9,184	7,413	37,730	324,315
平均	70.24	70.76	70.24	69.57	70.75	70.56	70.27
標準偏差	12.55	10.94	12.53	13.16	12.77	12.90	12.60

(患者調査による集計)

補足表 59 HBc 抗体と年齢、2024

年齢	HBc 抗体 -	HBc 抗体 +	合計	未測定	不明	記載なし	総計
20歳未満 (%)	18 (100.0)	0 (0.0)	18 (100.0)	68	5	60	151
20歳～ (%)	1,164 (98.1)	22 (1.9)	1,186 (100.0)	2,058	340	715	4,299
40歳～ (%)	16,351 (94.8)	903 (5.2)	17,254 (100.0)	31,365	4,803	9,821	63,243
60歳～ (%)	40,654 (84.2)	7,622 (15.8)	48,276 (100.0)	85,138	14,308	27,165	174,887
80歳～ (%)	17,477 (78.1)	4,887 (21.9)	22,364 (100.0)	39,280	6,828	13,263	81,735
合計 (%)	75,664 (84.9)	13,434 (15.1)	89,098 (100.0)	157,909	26,284	51,024	324,315
不明	0	0	0	0	0	0	0
記載なし	0	0	0	0	0	0	0
総計 (%)	75,664 (84.9)	13,434 (15.1)	89,098 (100.0)	157,909	26,284	51,024	324,315
平均	69.38	75.47	70.30	70.16	70.67	70.36	70.27
標準偏差	12.73	9.64	12.50	12.60	12.45	12.82	12.60

(患者調査による集計)

補足表 60 HCV 抗体と透析歴、2024

透析歴	HCV 抗体 -	HCV 抗体 +	合計	未測定	不明	記載なし	総計
2年未満 (%)	51,031 (97.3)	1,417 (2.7)	52,448 (100.0)	2,526	1,953	8,596	65,523
2年～ (%)	65,357 (97.1)	1,932 (2.9)	67,289 (100.0)	2,857	2,043	9,922	82,111
5年～ (%)	68,813 (96.7)	2,349 (3.3)	71,162 (100.0)	3,008	1,638	10,136	85,944
10年～ (%)	33,625 (96.5)	1,223 (3.5)	34,848 (100.0)	1,446	823	4,606	41,723
15年～ (%)	17,101 (96.8)	566 (3.2)	17,667 (100.0)	688	442	2,285	21,082
20年～ (%)	9,810 (97.0)	304 (3.0)	10,114 (100.0)	575	228	1,248	12,165
25年～ (%)	6,052 (97.2)	177 (2.8)	6,229 (100.0)	298	143	798	7,468
30年～ (%)	3,507 (96.0)	148 (4.0)	3,655 (100.0)	207	78	413	4,353
35年～ (%)	1,592 (86.1)	256 (13.9)	1,848 (100.0)	89	43	204	2,184
40年～ (%)	936 (72.2)	360 (27.8)	1,296 (100.0)	68	42	133	1,539
合計 (%)	257,824 (96.7)	8,732 (3.3)	266,556 (100.0)	11,762	7,433	38,341	324,092
不明 (%)	146 (91.3)	14 (8.8)	160 (100.0)	2	36	23	221
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0	2	2
総計 (%)	257,970 (96.7)	8,746 (3.3)	266,716 (100.0)	11,764	7,469	38,366	324,315
平均	7.55	10.04	7.63	7.81	6.65	7.00	7.54
標準偏差	7.67	11.03	7.81	8.25	7.63	7.39	7.78

(患者調査による集計)

補足表 61 HCV 抗体と年齢、2024

年齢	HCV 抗体-	HCV 抗体+	合計	未測定	不明	記載なし	総計
20歳未満 (%)	70 (100.0)	0 (0.0)	70 (100.0)	22	4	55	151
20歳～ (%)	3,455 (99.4)	22 (0.6)	3,477 (100.0)	169	107	546	4,299
40歳～ (%)	51,015 (97.9)	1,081 (2.1)	52,096 (100.0)	2,438	1,433	7,276	63,243
60歳～ (%)	139,050 (96.2)	5,423 (3.8)	144,473 (100.0)	6,274	3,951	20,189	174,887
80歳～ (%)	64,380 (96.7)	2,220 (3.3)	66,600 (100.0)	2,861	1,974	10,300	81,735
合計 (%)	257,970 (96.7)	8,746 (3.3)	266,716 (100.0)	11,764	7,469	38,366	324,315
不明	0	0	0	0	0	0	0
記載なし	0	0	0	0	0	0	0
総計 (%)	257,970 (96.7)	8,746 (3.3)	266,716 (100.0)	11,764	7,469	38,366	324,315
平均	70.19	72.07	70.25	69.66	70.57	70.54	70.27
標準偏差	12.58	10.67	12.53	12.93	12.87	12.92	12.60

(患者調査による集計)

補足表 62 HCV 抗体陽性患者 HCV RNA 検査と透析歴、2024

透析歴	HCV RNA -	HCV RNA +	合計	未測定	不明	記載なし	総計
2年未満 (%)	394 (76.4)	122 (23.6)	516 (100.0)	676	102	123	1,417
2年～ (%)	601 (80.7)	144 (19.3)	745 (100.0)	926	141	120	1,932
5年～ (%)	679 (79.0)	180 (21.0)	859 (100.0)	1,129	192	169	2,349
10年～ (%)	384 (79.0)	102 (21.0)	486 (100.0)	571	83	83	1,223
15年～ (%)	186 (79.8)	47 (20.2)	233 (100.0)	258	35	40	566
20年～ (%)	104 (83.9)	20 (16.1)	124 (100.0)	127	30	23	304
25年～ (%)	58 (87.9)	8 (12.1)	66 (100.0)	96	7	8	177
30年～ (%)	57 (80.3)	14 (19.7)	71 (100.0)	60	10	7	148
35年～ (%)	87 (78.4)	24 (21.6)	111 (100.0)	109	17	19	256
40年～ (%)	115 (76.2)	36 (23.8)	151 (100.0)	144	42	23	360
合計 (%)	2,665 (79.3)	697 (20.7)	3,362 (100.0)	4,096	659	615	8,732
不明 (%)	1 (33.3)	2 (66.7)	3 (100.0)	6	1	4	14
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0	0	0
総計 (%)	2,666 (79.2)	699 (20.8)	3,365 (100.0)	4,102	660	619	8,746
平均	10.57	10.54	10.57	9.62	10.52	9.53	10.04
標準偏差	11.28	11.79	11.38	10.63	11.79	10.80	11.03

(患者調査による集計)

2024年調査 回答率一覧

施設調査	回答形態	集計対象	集計対象 施設数	回答あり (カテゴリ項目の場合、 不明回答含む)	回答なし	回答率	参考：回答ありのうち 「不明」回答数
ET測定頻度	カテゴリ	透析コンソールを1台以上を保有する施設	4,436	4,436	0	100.0	15
ET測定値	カテゴリ	✓	4,436	4,429	7	99.8	44
生菌数測定頻度	カテゴリ	✓	4,436	4,436	0	100.0	20
生菌数	カテゴリ	✓	4,436	4,421	15	99.7	92
透析用水のための供給水源	カテゴリ	✓	4,436	4,436	0	100.0	20
始業前残留塩素測定頻度	カテゴリ	✓	4,436	4,436	0	100.0	50
残留塩素測定方法	カテゴリ	✓	4,436	4,394	42	99.1	167
日本透析医学会水質基準（化学汚染基準）の認知	カテゴリ	✓	4,436	4,436	0	100.0	90
日本透析医学会水質基準（化学汚染基準）の測定頻度	カテゴリ	✓	4,436	4,436	0	100.0	257
VA管理におけるエコー使用状況 穿刺での使用の有無	カテゴリ	✓	4,436	4,436	0	100.0	12
VA管理におけるエコー使用状況 VAの機能や形態評価での使用の有無	カテゴリ	✓	4,436	4,436	0	100.0	22
エコーガイド下穿刺時のプローブヘッドカバー状況	カテゴリ	穿刺でのエコー使用ありの施設	2,694	2,694	0	100.0	15
エコーガイド下穿刺後のプローブ消毒状況	カテゴリ	✓	2,694	2,693	1	100.0	19
患者調査	回答形態	集計対象	集計対象 患者数	回答あり (カテゴリ項目の場合、 不明回答含む)	回答なし	回答率	参考：回答ありのうち 「不明」回答数
糖尿病の既往	カテゴリ	透析患者全体	324,315	284,231	40,084	87.6	777
虚血性心疾患の既往（PCL CABG 後を含む）	カテゴリ	✓	324,315	262,146	62,169	80.8	1,651
脳出血の既往	カテゴリ	✓	324,315	255,640	68,675	78.8	1,717
脳梗塞の既往	カテゴリ	✓	324,315	258,724	65,591	79.8	1,674
四肢切断の有無	カテゴリ	✓	324,315	256,868	67,447	79.2	1,038
大腿骨近位部骨折の既往	カテゴリ	✓	324,315	255,482	68,833	78.8	1,554
被囊性腹膜硬化症（EPS）の既往	カテゴリ	腹膜透析（PD）の経験があるか現在施行している患者	22,859	17,947	4,912	78.5	294
降圧薬使用の有無	カテゴリ	透析患者全体	324,315	277,399	46,916	85.5	2,895
アンジオテンシン受容体ネブリライシン阻害薬使用の有無	カテゴリ	✓	324,315	264,286	60,029	81.5	4,580
カルシウム拮抗薬使用の有無	カテゴリ	✓	324,315	269,110	55,205	83.0	4,182
レニン・アンジオテンシン系阻害薬使用の有無	カテゴリ	✓	324,315	265,401	58,914	81.8	4,013
ミネラルカルチコイド受容体拮抗薬使用の有無	カテゴリ	✓	324,315	262,170	62,145	80.8	4,495
β遮断薬使用の有無	カテゴリ	✓	324,315	265,632	58,683	81.9	3,903
その他の降圧薬使用の有無	カテゴリ	✓	324,315	263,291	61,024	81.2	6,305
利尿薬使用の有無と種類	カテゴリ	✓	324,315	264,635	59,680	81.6	3,947
喫煙の有無	カテゴリ	✓	324,315	258,951	65,364	79.8	21,383
治療方法	カテゴリ	✓	324,315	324,315	0	100.0	0
β ₂ ミクログロブリン吸着カラム使用の有無	カテゴリ	✓	324,315	260,320	63,995	80.3	881
腹膜透析の経験	カテゴリ	✓	324,315	254,448	69,907	78.4	2,775
レシピエントとしての腎移植の回数	カテゴリ	✓	324,315	243,660	80,655	75.1	3,023
ドナーとしての腎提供の既往	カテゴリ	✓	324,315	233,642	90,673	72.0	3,861
腎提供年	数量	腎提供の既往ありの患者	119	118	1	99.2	9
腎提供月	数量	✓	119	113	6	95.0	51
週透析回数	数量	PDを除く体外循環を用いた血液透析患者	314,197	294,530	19,667	93.7	
透析時間	数量	✓	314,197	294,455	19,742	93.7	
血流量	数量	✓	314,197	292,158	22,039	93.0	
HDF希釈方法	カテゴリ	HDF患者	206,324	187,011	19,313	90.6	54
Iセッションあたりの置換液量	数量	✓	206,324	175,378	30,946	85.0	
身長	数量	透析患者全体	324,315	287,845	36,470	88.8	
体重（透析後）	数量	PDを除く体外循環を用いた血液透析患者	314,197	288,823	25,374	91.9	
透析前収縮期血圧	数量	透析患者全体	324,315	294,267	30,048	90.7	
透析前拡張期血圧	数量	✓	324,315	294,201	30,114	90.7	
透析前脈拍	数量	✓	324,315	291,025	33,290	89.7	
家庭での血圧測定の有無	カテゴリ	✓	324,315	258,771	65,544	79.8	14,875
BUN（透析前）	数量	PDを除く体外循環を用いた血液透析患者	314,197	288,070	26,127	91.7	
クレアチニン濃度（透析前）	数量	✓	314,197	287,718	26,479	91.6	
透析前アルブミン濃度	数量	透析患者全体	324,315	294,067	30,248	90.7	
透析前CRP濃度	数量	✓	324,315	262,360	61,955	80.9	
透析前補正カルシウム濃度	数量	✓	324,315	293,284	31,031	90.4	
透析前リン濃度	数量	✓	324,315	295,977	28,338	91.3	
PTH測定方法	カテゴリ	✓	324,315	289,581	34,734	89.3	1,104
PTH値	数量	✓	324,315	283,697	40,618	87.5	
透析前ヘモグロビン濃度	数量	✓	324,315	293,719	30,596	90.6	
総コレステロール濃度	数量	✓	324,315	244,916	79,399	75.5	
HDL-C濃度	数量	✓	324,315	247,003	77,312	76.2	
LDL-C濃度	数量	✓	324,315	237,897	86,418	73.4	
中性脂肪	数量	✓	324,315	264,703	59,612	81.6	
スタチン使用の有無	カテゴリ	✓	324,315	260,396	63,919	80.3	4,021
エゼチミブ使用の有無	カテゴリ	✓	324,315	257,159	67,156	79.3	4,536
ベマフィブリート使用の有無	カテゴリ	✓	324,315	257,365	66,950	79.4	4,845
HBs抗原	カテゴリ	✓	324,315	286,585	37,730	88.4	7,413
HBs抗体	カテゴリ	✓	324,315	277,373	46,942	85.5	20,433
HBc抗体	カテゴリ	✓	324,315	273,291	51,024	84.3	26,284
HBV DNA検査	カテゴリ	✓	324,315	260,245	64,070	80.2	17,867
HCV抗体	カテゴリ	✓	324,315	285,949	38,366	88.2	7,469
HCV RNA検査	カテゴリ	✓	324,315	267,365	56,950	82.4	29,638
患者調査（PD調査）	回答形態	集計対象	集計対象 患者数	回答あり (カテゴリ項目の場合、 不明回答含む)	回答なし	回答率	参考：回答ありのうち 「不明」回答数
現在施行中のPD歴（月）	数量	PD患者	10,118	6,918	3,200	68.4	
PET施行の有無	カテゴリ	✓	10,118	6,938	3,180	68.6	151
PET Cr D/P比	数量	PET施行ありの患者	3,981	3,464	517	87.0	
イコデキストリオン透析液使用の有無	カテゴリ	PD患者	10,118	6,863	3,255	67.8	53
一日透析液使用量	数量	✓	10,118	6,646	3,472	65.7	
残存腎機能（一日尿量）	数量	✓	10,118	5,220	4,898	51.6	
一日平均除水量	数量	✓	10,118	6,194	3,924	61.2	
残存Kt/V	数量	✓	10,118	2,667	7,451	26.4	
PD Kt/V	数量	✓	10,118	2,928	7,190	28.9	
APD（自動腹膜灌流装置）使用の有無	カテゴリ	✓	10,118	7,566	2,552	74.8	131
PD透析液交換方法	カテゴリ	✓	10,118	6,917	3,201	68.4	106
2024年中の腹膜炎罹患回数	カテゴリ	✓	10,118	6,754	3,364	66.8	55
2024年中の出口部感染罹患回数	カテゴリ	✓	10,118	6,745	3,373	66.7	57

回答率 = [回答あり ÷ (回答あり + 回答なし)] × 100